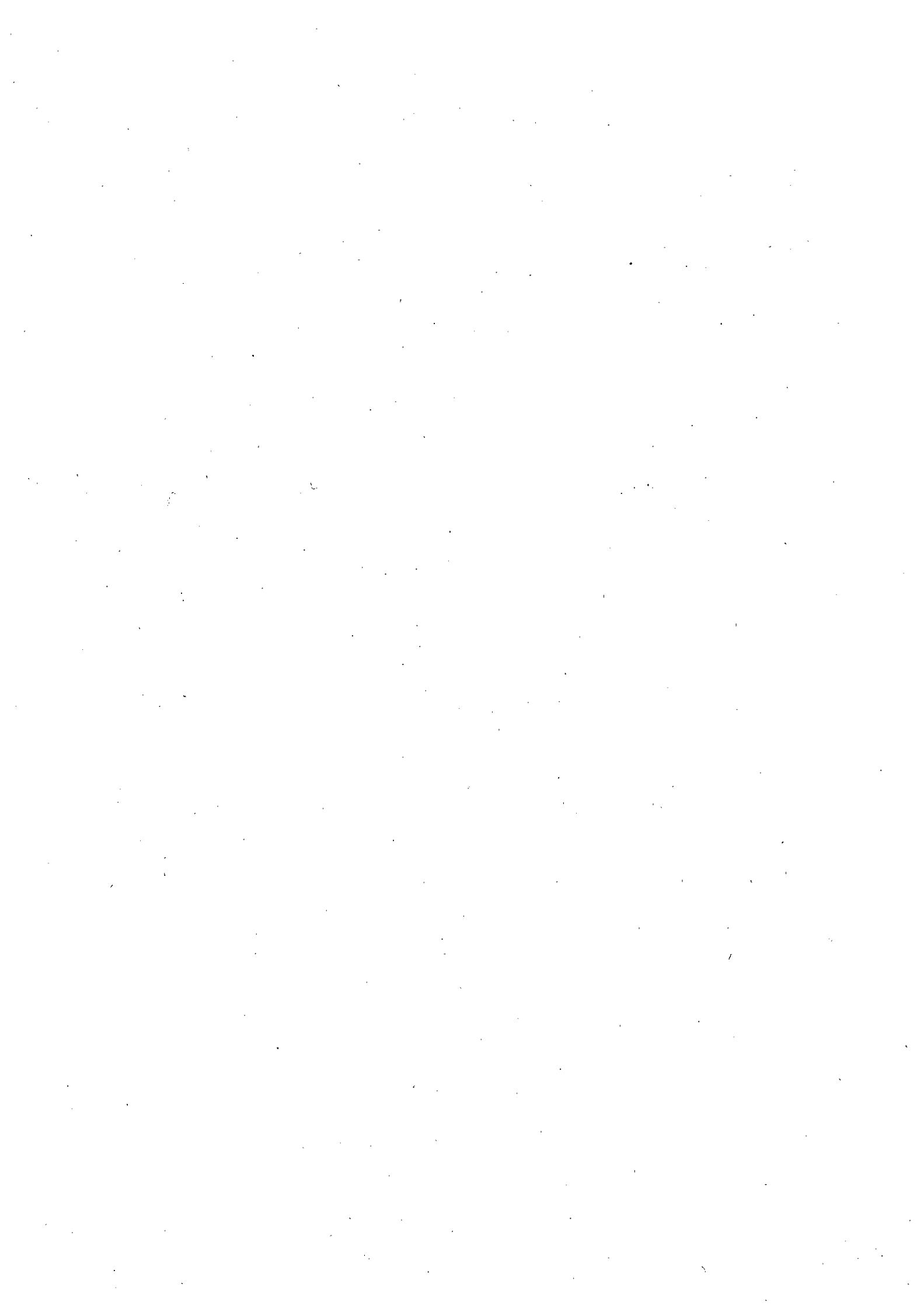


平成25年度
武藏野市子ども生活実態調査
報告書

平成26年3月

武藏野市



まえがき

平成15年3月、武藏野市教育委員会は、武藏野市の児童・生徒の意識と行動をとらえるため「武藏野市子ども生活実態調査」を実施し、学校教育や教育施策の検討資料としてきました。

調査後およそ10年が経過しましたが、その後も少子高齢化や、ICT機器をはじめとする情報化の進展、環境・防災意識の高まりなど、子どもたちを取り巻く環境は変容を続けており、児童・生徒の生活習慣や心理面などに影響を与えています。

武藏野市教育委員会では、本市における教育の現状と課題を整理するとともに、武藏野市の目指す教育の方向性を示す「武藏野市学校教育計画（平成22年度～26年度）」の次期計画策定の資料とするため、改めて子ども生活実態調査を実施いたしました。

なお、今回は、武藏野市で学んでいるすべての児童・生徒にとってよりよい教育活動の充実をめざし、その在り方を考えていくために、私立の学校にもご協力をいただきました。今回の調査にあたり、ご協力をいただきした小中学校の学校関係者、保護者の皆様に感謝申し上げます。

この調査結果をもとに、「知性・感性を磨き 未来を切り拓く 武藏野市の教育」の基本理念のもと、社会情勢の変化や、子どもの学校や家庭、地域での生活を踏まえた教育施策の実現を図ってまいります。

平成26年3月

武藏野市教育委員会



目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	4
5. 調査結果を見る上での注意事項	4
6. 調査結果の概要	5
(1) 学校生活について	5
(2) 家庭等での過ごし方について	6
(3) 心身の健康や悩みについて	7
(4) 将来の希望等について	7
(5) 地域・体験活動について	8
(6) 保護者の回答について	8
第2章 調査結果の詳細	11
I 子どもの生活や学校での状況・意識	13
1. 基本属性	13
(1) 学年	13
(2) 性別	13
(3) 学校	13
2. 人とのかかわりや言語活動について	15
(1) 家族とのあいさつ	15
(2) 地域や近所の人とのあいさつ	18
(3) 先生や友達との会話	20
(4) 言葉づかい	21
(5) 読書中の不明点について	23
(6) 授業中の質問について	25
(7) クラスの話し合いでの意見発表について	27
(8) 友達に相談したいときの方法	29
(9) よく使用する機器	31
3. 自然体験活動について	33
(1) 体験したことがある活動	33
(2) 自然体験をした機会	35
4. 学校について	37
(1) 学校の楽しさ	37
(2) パソコン室での授業について	46
(3) 電子黒板やプロジェクタを使用した授業について	48
5. 給食について	50

(1) 給食について	50
6. 部活動について	54
(1) 部活動の状況（中学校2年生のみ）	54
7. 家庭等での過ごし方について	56
(1) 普段よくする家の仕事	56
(2) 下校後の勉強について	59
(3) 土曜日や日曜日の過ごし方	62
(4) 放課後や休日に友だちとする遊び（小学校4・6年生のみ）	64
8. 体や心について	66
(1) 体力の自信について	66
(2) よくある症状について	68
(3) 心が休まるとき	70
(4) 悩んでいること	72
(5) 困ったときに相談する人	74
9. 地域での活動について	76
(1) 土曜日や日曜日に行くところ	76
(2) スポーツクラブやスポーツ教室への参加について	78
(3) 住んでいる町のグループ活動への参加について	80
10. 将来の希望について	82
(1) 将来についての希望	82
(2) 将来の仕事について	86
11. その他	88
(1) 先生が不在時に大地震が起きた場合に大切なこと	88
(2) 学校や地域の人たちとやってみたい活動	90
(3) 武藏野市に対する気持ち	92
II 子どもの生活や教育についての保護者の意識・要望	95
1. 基本属性	95
(1) 続き柄	95
(2) 学年	95
(3) 学校	95
(4) 子どもの人数	96
(5) 同居の家族	96
(6) 在住年数	96
2. 日常生活について	97
(1) 子どもの朝食と夕食のとり方	97
(2) 子どもの日常生活についての心配ごと	99
(3) 子どもの言葉の乱れについて	101
(4) 子どもの家事・手伝い	102
(5) 家庭内のあいさつ	103
(6) 家庭でよく使う機器	104

3. 学校への要望等について	105
(1) 学校に特に望んでいること	105
(2) 教師の指導について望むこと	107
(3) 学校週5日制について	109
(4) 学校の改善充実に向けた施策や取り組みへの関心	111
4. 子どもの成長について	113
(1) 子どもの体験活動について	113
(2) 体験活動と子どもの心身の成長について	113
5. 地域活動への参加について	115
(1) 保護者自身の地域活動への参加状況	115
6. その他	116
(1) 子どもの将来の進路について	116
(2) 武蔵野市に対する気持ち	117
第3章 調査票	119



第1章 調査の概要



1. 調査実施の目的

武蔵野市に関する児童・生徒について、学校や家庭、地域における生活等の実態やその変化を把握するため、平成15年度に実施した「武蔵野市子ども生活実態調査」を改めて実施し、その結果を平成27年度以降の武蔵野市の教育の方向性を定める第二期武蔵野市学校教育計画（仮称）策定の検討資料とする。

2. 調査の種類

調査の種類	調査対象
小学校4・6年生	○市内公立小学校全校の4年生及び6年生 学級を単位にして各学年2学級までを抽出 *学級を単位にして、学年が3学級の学校からは2学級、 学年が2学級又は1学級の学校からは1学級を抽出。 ○市内私立小学校2校の4年生及び6年生
中学校2年生	○市内公立中学校全校の2年生 ○市内私立中学校1校の2年生
保護者	サンプル学級の児童・生徒の保護者

3. 調査方法と回収状況

調査方法：質問紙によるアンケート調査

児童・生徒については、学校で回答を記入し、回収。

保護者については、児童・生徒が持ち帰った質問紙に在宅で回答を記入し、回収用封筒に入れ、学校を経由して回収。

調査期間：平成25年10月18日（金）～10月31日（木）

回収状況：下表のとおり

【児童・生徒】

調査の種類	配布数	回収数	回収率
小学校	4年生児童	662件	569件
	6年生児童	647件	602件
中学校	2年生	716件	681件

【保護者】

調査の種類	配布数	回収数	回収率
小学校	4年生保護者	662件	531件
	6年生保護者	647件	521件
	学年不明	—	14件
中学校	2年生保護者	716件	526件

4. 調査項目

調査の種類	調査項目
小学校4・6年生及び 中学校2年生	1. 学校・学年・性別について 2. 人とのかかわりや言語活動について 3. 自然体験活動について 4. 学校について 5. 給食について 6. 家庭等での過ごし方について 7. 体や心について 8. 地域での活動について 9. 将来の希望について 10. その他
保護者	1. 子どもの学校・学年について 2. 家庭について 3. 日常生活について 4. 学校への要望等について 5. 子どもの成長について 6. 地域活動への参加について 7. その他

5. 調査結果を見る上での注意事項

- 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- 百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- 複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

6. 調査結果の概要

(1) 学校生活について

先生や友達との会話については、小学校4年生・6年生の9割強が「とてもよくする」「することが多い」と回答しているが、中学校2年生では、88.7%とやや減少している。

言葉づかいについては、乱暴な言葉やきたない言葉を「よく使う」「使うことが多い」は小学校4年生1割、6年生2割、中学校2年生3割となっており、学年が上がるにつれ乱暴な言葉やきたない言葉を使う割合が高くなっている。中学2年生の結果を平成15年度調査と比較すると、「使うことが多い」が10ポイント程度減少し、一方で「ほとんど使わない」が10ポイント程度増加している。

読書中の不明点については、小学校4年生の過半数、6年生も約5割が「家族に聞く」と回答しているが、中学校2年生では3割強にとどまっている。また、小学6年生では「辞書などで調べる」が4割台後半で小学校4年生、中学校2年生の3割台半ばと比べて高い。なお、「インターネットなどで調べる」は学年が上がるにつれ割合が高くなり、中学校2年生では18.9%となっている。一方、「わからなくても気にしない」が中学校2年生27.0%、4年生と6年生では17%となっている。

授業中、わからないことがあったときの質問については、「よく質問する」「質問することが多い」は小学校4年生の3割が最も高く、学年が上がるにつれ減少している。「ほとんど質問しない」は小学校6年生と中学校2年生で3割近くになっている。

クラスの話し合いなどのときに、自分の意見を「よく意見を言う」「意見を言うことが多い」は小学校4年生と6年生では4割であるのに対し、中学2年生では2割超と20ポイント近い差となっている。中学校2年生では3割が「ほとんど意見を言わない」と回答しており、小学校4年生・6年生と比較すると10ポイント以上高くなっている。平成15年度調査と比較すると、「よく意見を言う」(平成15年度調査では「いつも言ったり発表したりする」)がすべての学年で増加し、「ほとんど意見を言わない」(同「ほとんど言ったり発表したりしない」)は10ポイント前後減少している。

学校が「とても楽しい」「まあまあ楽しい」という回答は、小学校4年生9割、6年生と中学生で8割台半ばと高い。平成15年度調査と比較すると、「とても楽しい」の割合がすべての学年で大きく増加している。学校が楽しい理由は、「友達がたくさんいるから」がすべての学年で8割前後と特に高くなっている。パソコン室や電子黒板、プロジェクタを使用した授業については、「とても楽しい」「もっとやりたい」「授業がよく分かる」などの意見が多くなっている。

また、給食については、「とても好き」「まあまあ好き」は小学校4年生8割、6年生7割台半ば、中学校2年生5割台半ばとなっており、学年が上がるにつれて給食を好きな児童・生徒の割合が低下する傾向がみられる。

中学校2年生の部活動への加入状況は、「運動部に入っている」が男子7割台半ば、女子5割、「文化部に入っている」が男子1割台半ば、女子3割台後半となっている。平成15年度調査と比較すると、文化部に入っている男子の割合が10ポイント程度高くなり、途中で退部したり、一度も入ったことがない生徒の割合は低下している。部活動に入っていない理由は、「学校外でやっている活動があるから」が3割強で最も多く、平成15年度調査より男女ともに10ポイント以上増加している。次いで「勉強と両立させることができないから」、「自分が入りたい部がないから」、「人間関係がうまくいかないから」と続いている。「人間関係がうまくいかないから」は1割と高くはないが、平成15年度はほとんど回答がなかったため、大きな増加となっている。

友達に相談したいときに「会って話す」は小学校4年生と6年生で6割前後、中学校2年生では約半数と高い割合になっており、特に女子に限るといずれの学年も6割を超えていている。しかし、平成15年度調査と比較すると、すべての学年で減少傾向にある。次いで、小学生では「電話をかける」が高く、中学生では、「メールを送る」、「LINE（ライン）などのメールアプリを使う」が3割前後で続いている、これらも男子よりも女子の方が高くなっている。

（2）家庭等での過ごし方について

家族とのあいさつについては、小学校4年生・6年生の約9割が「とてもよくする」「することが多い」と回答しているが、中学校2年生では7割台半ばにとどまっている。平成15年度調査と比較すると、あいさつをする児童・生徒の割合はいずれの学年も5ポイント以上増加している。

地域や近所の人とのあいさつは、「自分から進んであいさつする」の割合が小学校4年生で6割、6年生5割強、中学校2年生4割と家族間のあいさつ同様、成長に伴い減少している。

下校後の勉強については、「塾で勉強する」が小学校6年生で6割と最も高く、中学校2年生で過半数、4年生で3割台半ばとなっている。平成15年度調査では、小学校6年生は3割程度にとどまっており、大きく増加していることが分かる。「自分で予習や復習をする」は6年生で過半数、小学校4年生と中学生で4割台半ばとなっており、4年生では最も高い割合となっている。そのほか、小学校4年生では「家の人に教えてもらう」が約4割、「毎月送られてくる教材などで勉強する」が2割台半ばと他の学年と比較して高くなっている。一方、「学校以外で勉強はしない」は中学校2年生で1割、小学校4年生・6年生ではごくわずかである。

土曜日や日曜日の過ごし方は、「家族とすごす」が小学校4年生で5割台半ば、6年生で4割、中学校2年生で3割台半ばと学年が上がるにつれて割合は減少している。「勉強」は6年生で過半数と最も高く、次いで4年生3割台半ば、中学生2割強となっている。平成15年度調査では、小学校6年生は2割にとどまっており、大きく増加している。「友達と遊ぶ」は中学生が4割台半ばで最も高く、4年生3割台半ば、6年生2割台半ばとなっており、平成15年度調査と比較すると、すべての学年で減少している。「スポーツ」は、4年生男子が5割で最も高く、すべての学年で女子より男子の割合が高い。「自分の趣味」、「パソコン（インターネット）」、「携帯電話・スマートフォン」は中学生が他の学年と比べて高くなっている。

土曜日や日曜日に行くところは、「塾・習いごとの場所」が小学校6年生5割、4年生3割近く、中学校2年生2割となっている。「近くの公園・広場」は4年生で4割強、「友達の家」は中学生で2割台半ばと比較的高くなっている。また、「コミュニティセンター」は中学生男子が13.4%で最も高く、他の学年は1割未満となっている。

小学校4・6年生が放課後や休日に友だちとする遊びについては、「おしゃべり」が6年生女子6割台半ば、4年生女子5割と高くなっている。「かくれんぼやおにごっこ」も同様に女子の割合が高く、女子はどちらの学年も3割台半ばを超えており、男子では4年生2割台半ば、6年生男子2割にとどまっている。逆に「サッカー」「野球」は男子の割合が高く、「サッカー」は6年生男子で4割に近く、4年生男子で3割、「野球」は2割前後となっている。「テレビゲーム・携帯

「ゲーム機」は、4年生男子で4割を超える最も高く、次いで6年生男子3割台半ば、女子は2割台である。

(3) 心身の健康や悩みについて

体力について「自信がある」「まあまあ自信がある」は小学校4年生では6割台後半、6年生5割台半ば、中学校2年生約5割で学年が上がるにつれて減少している。また、すべての学年で女子よりも男子の方が割合が高い。一方、「自信がない」「あまり自信がない」は4年生3割、6年生4割強、中学生5割と成長に伴い増加している。特に「自信がない」は中学校2年生女子で約2割と高い割合となっている。平成15年度調査と比較すると、わずかではあるが、すべての学年で「自信がある」が増加傾向にある。

心身の不調に関する症状は、いずれの症状も学年が上がるについて割合が高くなる傾向にあり、中学校2年生では、「やる気が起きない」が3割、「頭が痛くなる」「おなかが痛くなる」「ぼうっとする」はいずれも4人に1人の割合となっている。しかし、平成15年度調査と比較すると、いずれの症状も割合は低下している。

心が休まるときについては、「家族と一緒にいるとき」が小学校4年生で過半数、6年生で4割、中学校2年生で3割弱とで学年が上がるにつれて減少している。「友達と一緒にいるとき」はいずれの学年も4割前後で同程度となっているが、6年生女子では過半数と高くなっている。「ぼうっとしているとき」「家でテレビやビデオを見ているとき」「スポーツをしているとき」は中学生女子の割合が高くなっている。

とくに悩んでいることについては、「勉強や成績のこと」が中学校2年生で最も高く、特に女子で6割を超えて高くなっている。「進路のこと・将来のこと」は学年別にみると、いずれの学年も2割台半ばから後半となっているが、6年生男子で3割を超えて特に高くなっている。また、「友達のこと」「自分のスタイルや顔だちのこと」は中学生女子、「自分の性格のこと」は4年生女子で比較的高くなっている。「とくにない」は小学校4・6年生では3割台、中学生では男子で2割、女子で1割となっている。

困ったときに一番よく相談する人については、「お父さんやお母さん」が小学校4年生では6割近く、6年生で4割台半ば、中学校2年生で3割台となっている。中学生では、「友達」も2割台後半となっているほか、「とくに相談したいと思わない」も中学生で4人に1人、男子では3割となっている。

(4) 将来の希望等について

大学進学（小学生選択肢「大学までいって社会でかつやくする人になりたい」、中学生選択肢「社会で活躍するために、大学や大学院で専門的な知識を身に付けたい」）の希望は、小学校6年生男女で約4割、中学2年生男女で3割程度となっている。中学生調査では、「自分がしたい仕事があるので、そのために必要な学歴が得られればよい」は女子2割台半ば、男子1割台後半である。一方、将来について「わからない」は小学校4年生で2割、6年生で1割台半ば、中学校2年生では男子2割、女子1割台半ばとなっている。

将来の仕事については、「はっきり決まっている」はいずれの学年も女子の方が高いのが特徴である。特に4年生・6年生女子で3割を超えており、「何となく考えている」は中学校2年生女子と6

第1章 調査の概要

年生男子で4割となっている。「はっきり決まっていない」は中学校2年生男子が2割台後半で最も高くなっている。

(5) 地域・体験活動について

自然体験活動について、特によくすることを3つまで選んでもらったところ、「山のぼり」が小学校4年生・6年生で6割前後、中学校2年生5割台半ば最も高く、次いで、「海水浴」で各学年とも4割台後半となっている。「川遊び」は小学校4年生で4割、「ハイキング・ピクニック」は小学校6年生で3割、「田植えや稻刈りなどの農業体験」は中学生で3割と高い割合となっている。

住んでいる町のグループ活動については、すべての学年で「とくにグループ活動はしていない」が7割を超えており、活動の中では「合唱・合奏・絵画・演劇などの文化クラブ」が小学校6年生女子で1割弱、4年生女子で「こども会」と並んで7.9%となっている。

学校や地域の人たちと一緒にやってみたい活動については、いずれの活動も女子の回答の割合が高くなっている。「地域のイベントやお祭りなどの活動に協力する活動」は6年生女子、中学生女子で4割を超えている。「自然や環境を守るための活動」は4・6年生で3割を超えている。「防災や被災地への助けになる活動」「子ども会など小さい子に関する活動」は6年生女子で比較的高い。「特にやってみたい活動はない」は、小学校4年生と中学生の男子で4割前後と高くなっている。

武藏野市に対する気持ちは、「緑や公園があつて過ごしやすい」が小学校6年生で過半数と特に高い。4年生では5割弱、中学生では約3割となっている。「いろいろなことができる施設や場所がたくさんあって楽しい」が4年生と6年生で4割を超えている。「好きなのでずっと住み続けたい」は4年生3割台半ば、6年生2割台後半、中学生2割強となっている。

(6) 保護者の回答について

子どもの食事については、朝食は「家を出る順に食べる」が中学校で6割台半ば、小学校で5割台半ばと最も多い。「家族とそろって食べる」は平成15年調査結果と比較すると10ポイント以上減少し、小学校38.8%、中学校28.4%となっている。夕食は、「家族全員がそろって家で食べる」が小学校、中学校の保護者とも約5割で最も多く、「帰宅した順に準備してあるものを食べる」は中学校で3割台、小学校で2割台となっている。

日常生活について特に心配していることは、小学校では「友達関係に関するここと」が2割台で最も高く、「勉強をしないこと」「テレビゲームのやりすぎ」「根気がないこと」の順に続いている。中学校では「勉強をしないこと」が3割で最も高く、次いで「携帯電話やスマートフォンのやりすぎ」「友達関係に関するここと」が続いている。

子どもの言葉の乱れについては、「友達の間で流行る一過性のもの」が小学校、中学校とも5割台で最も高く、次いで「マスコミやテレビの影響が大きい」が4割台後半である。「家庭での会話や言葉遣いも原因になっている」は小学校30.0%、中学校25.5%となっている。

学校に特に望んでいることについては、「国語力をつけてほしい」「感性を豊かにする教育に力を入れてほしい」が小学校で3割台、中学校で2割台と比較的高い。「英語を話せる力をつけてほしい」は中学校で3割近く、小学校で2割台半ばとなっている。「進学指導を充実してほしい」は中学

校で4人に1人の割合となっている。平成15年調査と比較すると、小学校、中学校ともに「国語力をつけてほしい」「道徳教育を徹底してほしい」「理数系の学力をもっと高めてほしい」が増加している。中学校保護者では「進学指導を充実して欲しい」が大きく増加している。

教師の指導について望むことは、「子どもをよく理解して指導して欲しい」と「わかる授業、楽しい授業をしてほしい」が小学校、中学校ともに6割を超える、特に高くなっている。「子どもに夢をもたせてほしい」は小学校で4割近くと中学校よりも約10ポイント高い。

学校の改善充実に向けた施策や取り組みへの関心については、「少人数指導の推進」が小学校、中学校ともに4割台後半と関心が高い。同様に「習熟度別学習の充実、外部評価による学校評価」、「PTA活動の在り方や組織の見直し」も関心が高くなっている。小学校では「一貫教育（小中学校・中高等学校）」が3割台半ば、「小学校への教科担任制の導入」が2割台後半と高くなっている。

子どもの将来の進路については、小学校、中学校ともに「大学」進学意向が4割台後半と高く、次いで「本人の意思に任せる」が4割前後となっている。平成15年調査結果と比較すると、大学進学意向は中学校、小学校ともに増加している。

子どもの体験活動と子どもの心身の成長については、「直接体験から得られる感動や成就感は、子どもの心を豊かにする」が小学校で8割台、中学校で7割台と高く、次いで「体験活動は、思いやりや助け合いの心を育む有効な場になる」は小学校、中学校ともに5割超となっている。

武藏野市に対する気持ちについては、「自然の豊かさがあつてよい」「好きなのでずっと住み続けたい」が小学校、中学校ともに2割台後半と高くなっている。



第2章 調査結果の詳細



I 子どもの生活や学校での状況・意識

1. 基本属性

(1) 学年

■小学校

	基数	構成比 (%)
4年生	569	48.6
6年生	602	51.4
合計	1,171	100.0

■中学校

	基数	構成比 (%)
2年生	681	100.0
合計	681	100.0

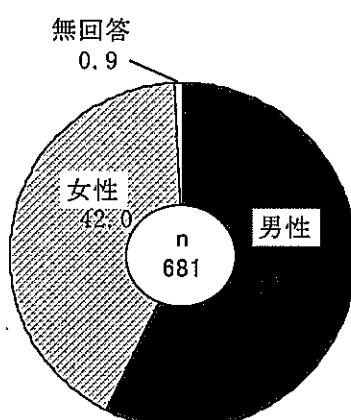
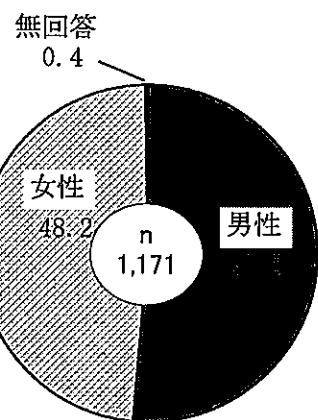
(2) 性別

■小学校

	基数	構成比 (%)
男	601	51.3
女	565	48.2
(無回答)	5	0.4
合計	1,171	100.0

■中学校

	基数	構成比 (%)
男	389	57.1
女	286	42.0
(無回答)	6	0.9
合計	681	100.0



(3) 学校

■小学校

	基数	構成比 (%)
市立小学校	957	81.7
私立小学校	213	18.2
(無回答)	1	0.1
合計	1,171	100.0

■中学校

	基数	構成比 (%)
市立中学校	597	87.7
私立中学校	84	12.3
合計	681	100.0

第2章 調査結果の詳細

■小学校

	学校名	基数	構成比 (%)
1	市立第一小学校	67	5.7
2	市立第二小学校	92	7.9
3	市立第三小学校	99	8.5
4	市立第四小学校	51	4.4
5	市立第五小学校	60	5.1
6	市立大野田小学校	157	13.4
7	市立境南小学校	77	6.6
8	市立本宿小学校	64	5.5
9	市立千川小学校	54	4.6
10	市立井之頭小学校	50	4.3
11	市立閔前南小学校	51	4.4
12	市立桜野小学校	135	11.5
13	私立成蹊小学校	115	9.8
14	私立聖徳学園小学校	98	8.4
	(無回答)	1	0.1
	合 計	1,171	100.0

■中学校

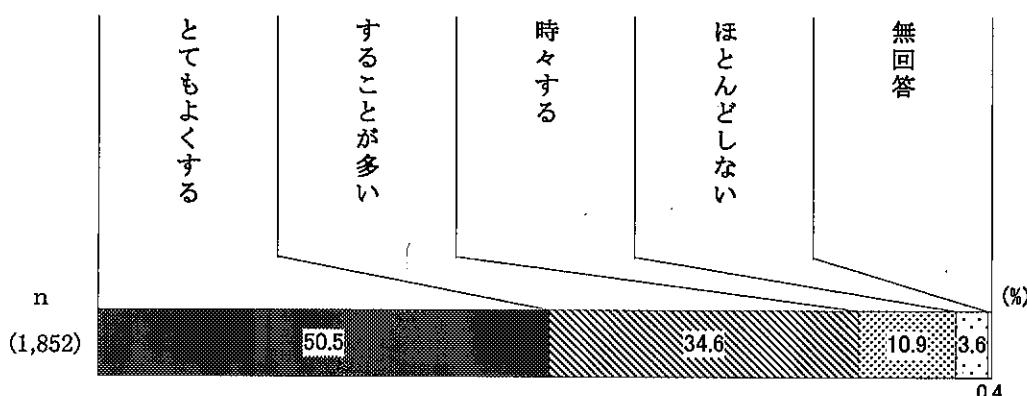
	学校名	基数	構成比 (%)
1	市立第一中学校	112	16.4
2	市立第二中学校	100	14.7
3	市立第三中学校	83	12.2
4	市立第四中学校	141	20.7
5	市立第五中学校	74	10.9
6	市立第六中学校	87	12.8
7	私立聖徳学園中学校	84	12.3
	合 計	681	100.0

2. 人とのかかわりや言語活動について

(1) 家族とのあいさつ

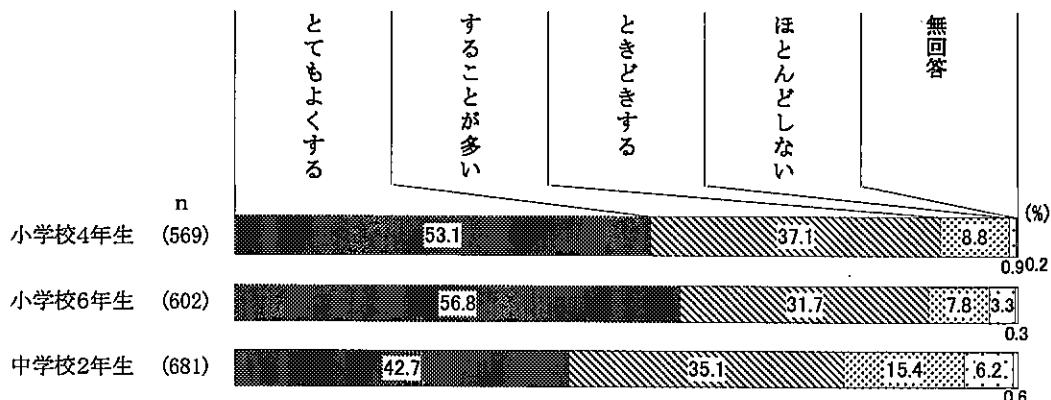
問4 あなたは、家族に「おはようございます」、「いただきます」、「おやすみなさい」などのあいさつをしていますか。(○は1つ)

図表1



学年別

図表2

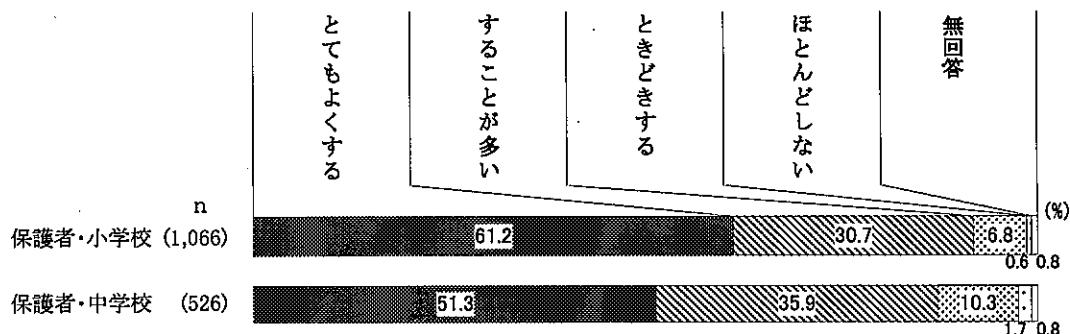


家族とのあいさつは「とてもよくする」「することが多い」は小学校4年生では90.2%、6年生は88.5%、中学校2年生は77.8%で小学生から中学生へと成長に伴い減少している。「ときどきする」は小学校4年生8.8%、6年生7.8%であるが、中学生では15.4%と増加している。

第2章 調査結果の詳細

【参考】保護者調査の結果

図表3



保護者の回答も同様の傾向となっており、「とてもよくする」「することが多い」は小学校保護者が91.9%、中学校では87.2%と減少している。「ときどきする」も同様に小学校保護者6.8%、中学校保護者10.3%と増加している。

図表4

性／学年別

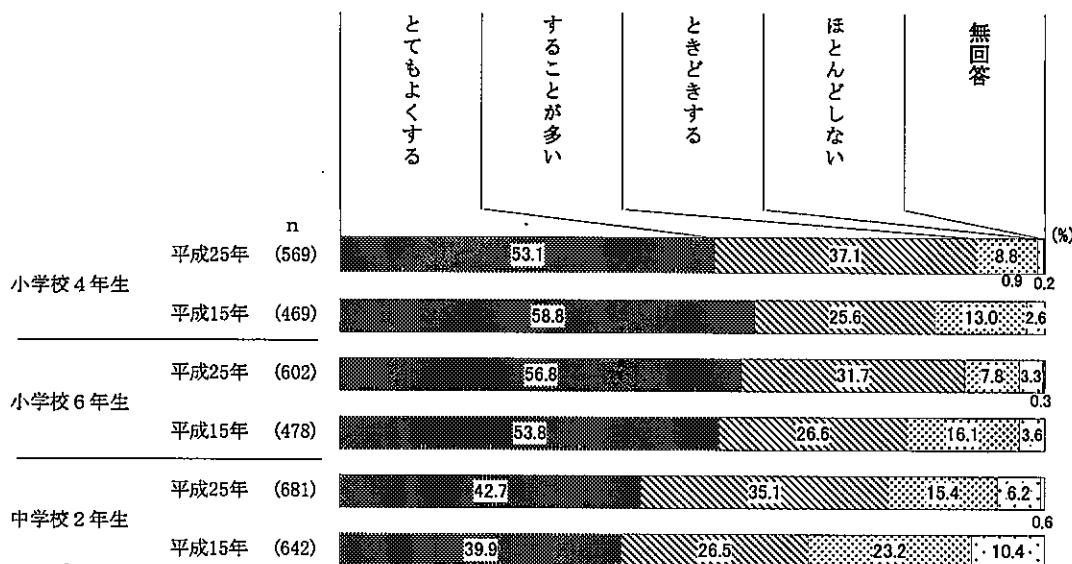
(%)

			調査数	とてもよくする	することが多い	時々する	ほとんどしない	無回答
小学校	4年生	男子	263	51.7	35.4	12.2	0.8	-
		女子	304	54.3	38.8	5.9	1.0	-
	6年生	男子	338	49.7	34.6	10.4	4.7	0.6
		女子	261	65.5	28.4	4.6	1.5	-
中学校	2年生	男子	389	38.0	36.2	18.5	6.9	0.3
		女子	286	50.0	33.6	11.5	4.9	-

性／学年別では、「とてもよくする」「することが多い」は小学校6年生女子が93.9%と最も高く、次いで4年生女子93.1%、中学校2年生女子が83.6%で学年を問わず女子が高くなっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表5



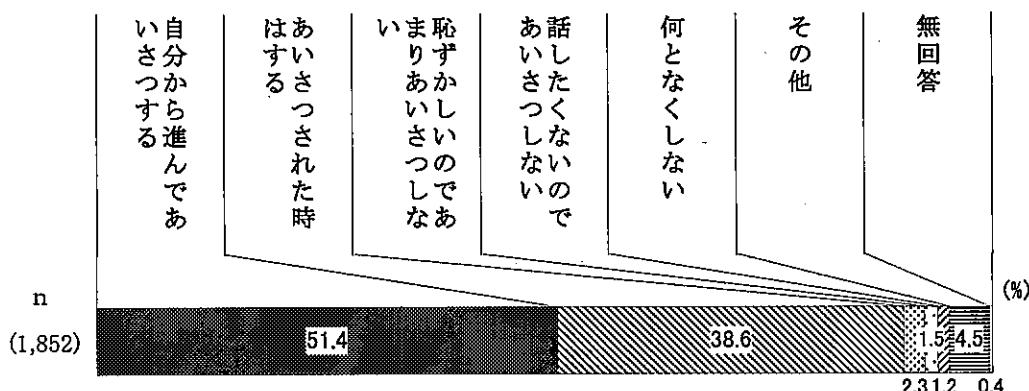
平成15年の調査結果と比較すると、家族とのあいさつは「とてもよくする」「することが多い」は小学校4年生、6年生、中学校2年生すべての学年で増加しており、中学校2年生は11.4ポイント増加している。

注：「とてもよくする」は平成15年調査では「いつもする」となっている。

(2) 地域や近所の人とのあいさつ

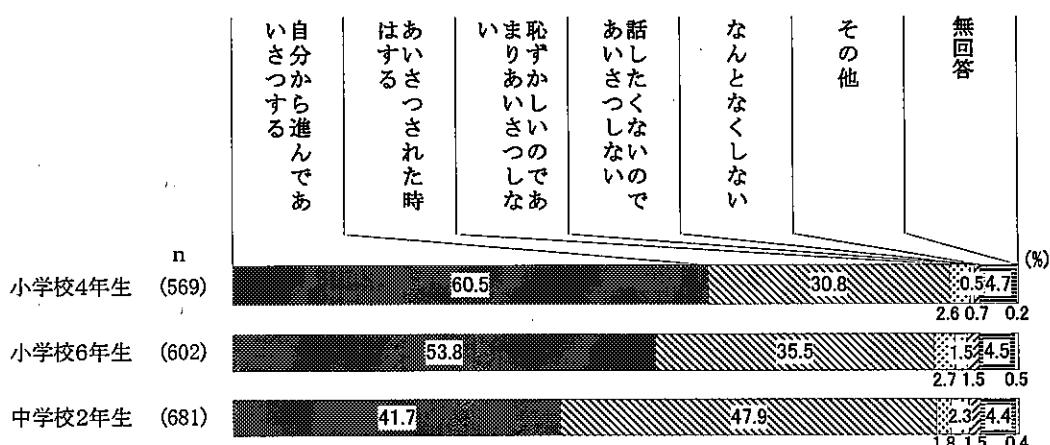
問5 あなたは、地域や近所の人に会ったとき、あいさつをしますか。(○は1つ)

図表6



学年別

図表7



地域や近所の人とのあいさつは、「自分から進んであいさつする」は小学校4年生60.5%、6年生53.8%、中学校2年生41.7%と家族間のあいさつ同様、成長に伴い減少している。一方で「あいさつされた時はする」は小学校4年生30.8%、6年生35.5%、中学校2年生47.9%と成長に伴い増加している。

図表8

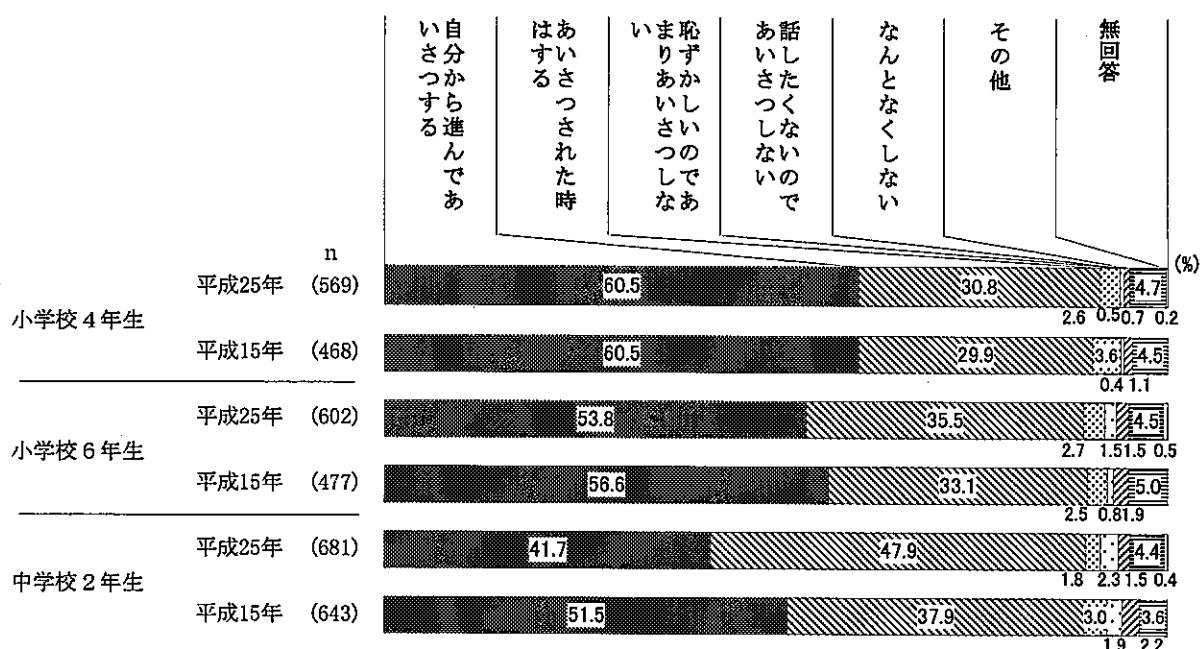
性／学年別

			調査数	自分から進んであいさつする	あいさつされた時はする	恥ずかしいのであまりあいさつしない	話したくないのあいさつしない	何となくしない	その他	無回答	(%)
小学校	4年生	男子	263	55.1	34.6	2.7	1.1	1.1	5.3	-	
		女子	304	65.1	27.6	2.6	-	0.3	4.3	-	
	6年生	男子	338	49.1	37.3	2.7	2.7	2.4	5.3	0.6	
		女子	261	60.2	33.0	2.7	-	0.4	3.4	0.4	
中学校	2年生	男子	389	38.3	51.7	2.6	3.3	1.8	2.3	-	
		女子	286	46.9	43.4	0.7	1	0.7	7.3	-	

性／学年別では、「自分から進んであいさつする」は小学校4年生の女子が65.1%と最も高く、次いで6年生の女子60.2%、中学校2年生の女子46.9%となっており、男子に比較してすべての学年で女子の割合が高い。「あいさつされた時はする」という消極的なあいさつは中学校2年生の男子が51.7%と最も高く、次いで小学校6年生37.3%、4年生34.6%となっている。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表9

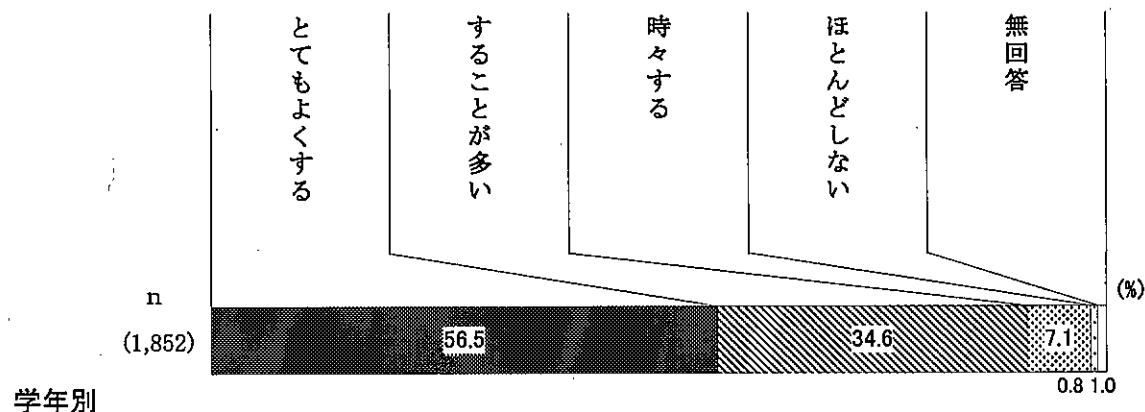


平成15年調査結果と比較すると、地域や近所の人とのあいさつは、「自分から進んであいさつする」は小学校4年生、6年生は大きな変化はないが、中学校2年生は9.8ポイント減少し、「されたときはする」が10ポイント増加している。

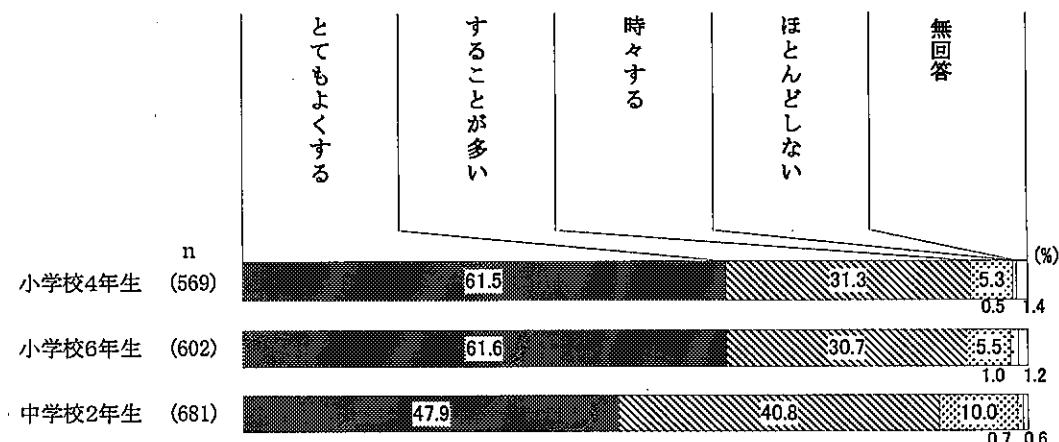
(3) 先生や友達との会話

問6 あなたは、先生や友だちとよく話をしますか。(○は1つ)

図表10



図表11



先生や友達との会話では、「とてもよくする」「することが多い」が小学校4年生で92.8%、6年生で92.3%と9割を超え、ほぼ同率となっている。中学校2年生では、88.7%と減少するが、年齢を問わず高い割合である。「時々する」は小学校4年生5.3%、6年生5.5%と差異はなく、中学校2年生が10.0%と約2倍になっている。

図表12

性／学年別

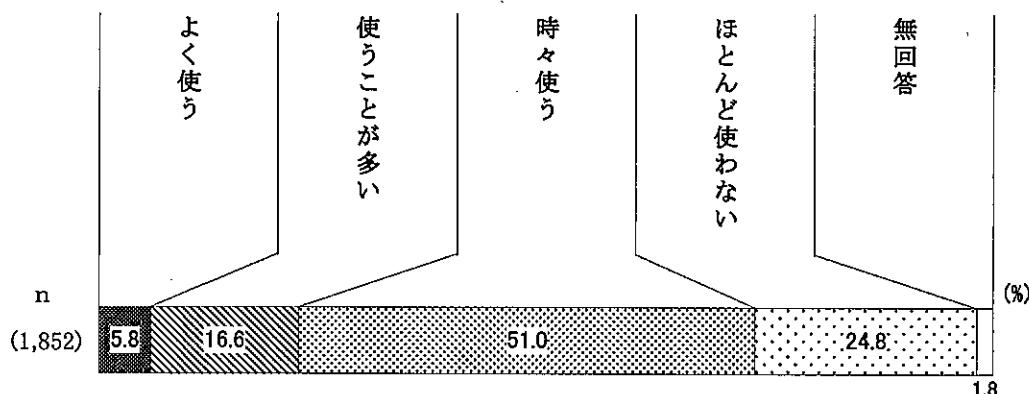
		調査数	とてもよくする (%)	することが多い (%)	時々する (%)	ほとんどしない (%)	無回答 (%)
小学校	4年生	男子	263	57.8	35.4	5.3	-
		女子	304	65.1	28.0	4.9	0.7
	6年生	男子	338	55.6	36.4	5.6	1.5
		女子	261	69.3	23.8	5.0	0.4
中学校	2年生	男子	389	38.3	48.3	12.1	1.0
		女子	286	61.9	30.8	7.0	0.3

性／学年別では、「とてもよくする」は小学校6年生女子が69.3%と最も高く、4年生女子65.1%、中学校2年生の女子61.9%となっており、年齢を問わず女子の割合が高い。「することが多い」は、中学校2年生男子が48.3%で最も高く、次いで小学校6年生男子の36.4%、4年生男子35.4%である。「時々する」は中学校2年生の男子が12.1%と他の学年に比較して高い割合となっている。

(4) 言葉づかい

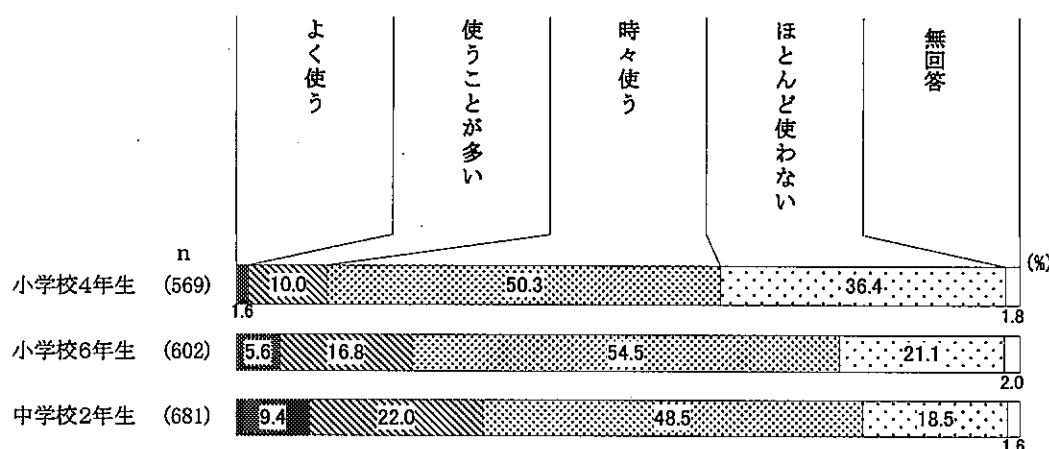
問7 あなたは、乱暴な言葉やきたない言葉を使うことがありますか。(○は1つ)

図表13



学年別

図表14



乱暴な言葉やきたない言葉を「よく使う」「使うことが多い」は小学校4年生11.6%、6年生22.4%、中学校2年生31.4%と中学生が最も高く、学年が上がるにつれ乱暴な言葉やきたない言葉を使う割合が高くなっている。「ほとんど使わない」は小学校4年生が36.4%であるが、6年生では15.3ポイント減少し21.1%、中学校2年生18.5%となっている。

第2章 調査結果の詳細

図表15

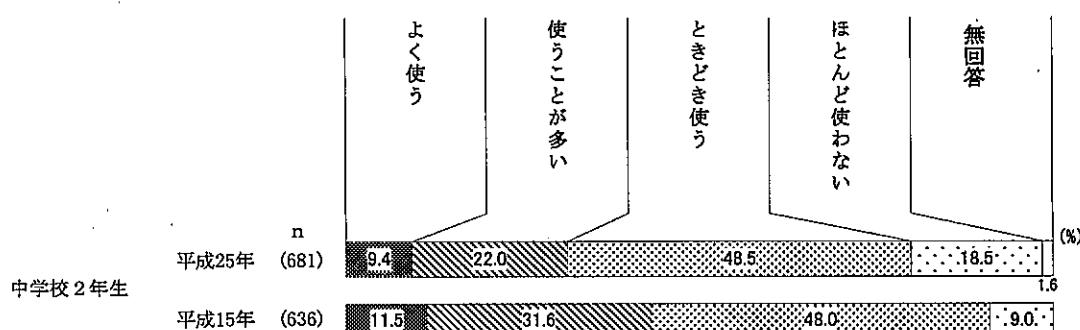
性／学年別

		調査数	よく使う	使うことが多い	ときどき使う	ほとんど使わない	無回答 (%)
小学校	4年生	男子	263	2.3	13.3	53.6	28.9 1.9
		女子	304	1.0	7.2	47.7	42.4 1.6
	6年生	男子	338	7.1	19.5	57.7	14.5 1.2
		女子	261	3.8	13.0	51.0	29.5 2.7
中学校	2年生	男子	389	7.2	24.7	47.6	18.8 1.8
		女子	286	12.6	18.5	49.7	18.5 0.7

性／学年別では、乱暴な言葉やきたない言葉を「よく使う」は中学校2年生の女子が12.6%と最も高く、同学年の男子より5.4ポイント高い。「使うことが多い」は中学校2年生の男子24.7%、小学校6年生男子19.5%、4年生男子13.3%とすべての学年で女子と比べて男子の割合が高い。「ほとんど使わない」は小学校4年生女子が42.4%で最も高い。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表16

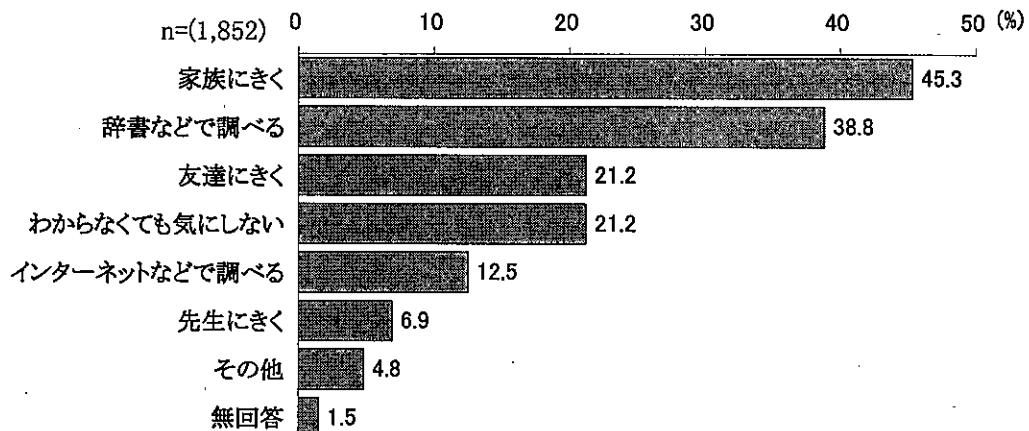


平成15年調査は中学校2年生のみの調査でその結果と比較すると、「使うことが多い」は9.6ポイント減少し、「ときどき使う」はほとんど変化がない。一方「ほとんど使わない」は9.5ポイント増加している。

(5) 読書中の不明点について

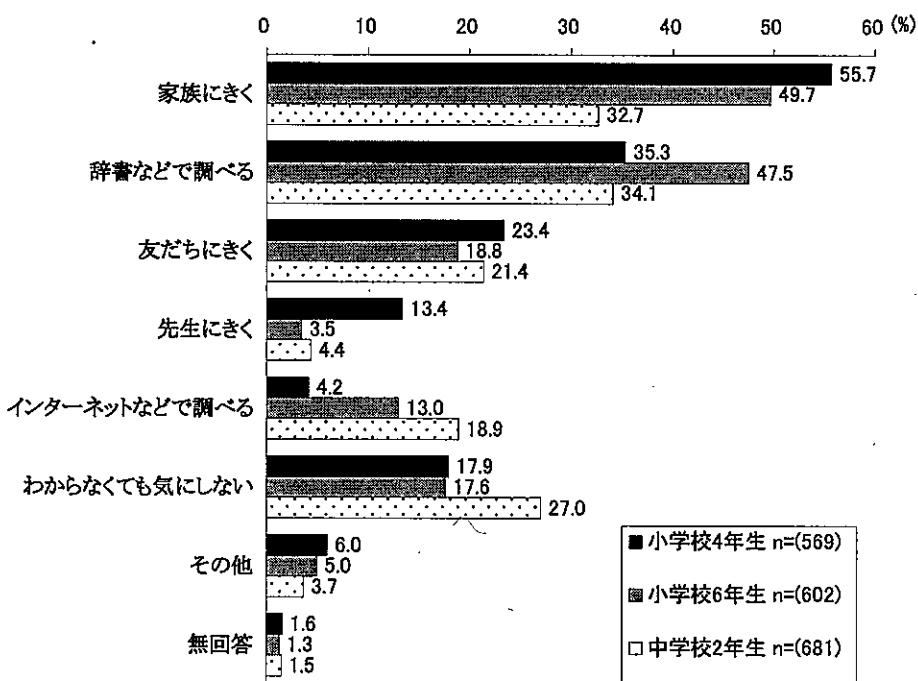
問8 あなたは、本を読んでいたりして、わからない文字や言葉があったとき、どうしますか。
(○は2つまで)

図表17



学年別

図表18



読書中の不明点については、「家族に聞く」は小学校4年生が55.7%で最も高く、次いで6年生49.7%、中学校2年生32.7%となっている。「辞書などで調べる」は6年生が最も高く47.5%、4年生35.3%、中学生34.1%となっている。「友だちに聞く」は4年生23.4%、中学生21.4%、6年生18.8%で、4年生は家族や友だちなど身近な人に聞く傾向がある。「インターネットなどで調べる」は学年が上がるにつれ割合が高くなり、中学校2年生では18.9%となっている。「先生に聞く」は4年生13.4%、6年生は3.5%、中学生は4.4%と低い。一方、「わからなくても気にしない」が中学生27.0%、4年生17.9%、6年生17.6%となっている。

第2章 調査結果の詳細

図表19

性／学年別

			調査数	先生に きく	家族に きく	友達に きく	辞書な どで調べ る	インター ネットな どで調べ る	わからな くても気に しない	その他	(%) 無回答
小学校	4年生	男子	263	14.4	49.4	19.8	35.7	3.4	20.2	6.8	1.9
		女子	304	12.2	60.9	26.6	35.2	4.9	16.1	4.9	1.3
	6年生	男子	338	5.3	41.4	16.3	46.7	13.9	21.0	5.3	1.2
		女子	261	1.1	60.5	21.5	48.3	11.9	13.4	4.6	1.5
中学校	2年生	男子	389	5.7	26.7	20.6	33.7	20.3	27.0	4.4	1.5
		女子	286	2.8	41.6	23.1	34.3	16.8	27.3	2.8	0.7

性／学年別では、「家族に聞く」は小学校4年生の女子が60.9%、6年生女子60.5%で高く、男子は4年生49.4%、6年生41.4%と減少している。中学生では女子は41.6%だが、男子では26.7%と14.9ポイント低い。「友達に聞く」はすべての学年で女子の割合が高い。「辞書などで調べる」は小学校6年生で割合が高く、女子48.3%、男子46.7%となっている。「インターネットなどで調べる」は中学校2年生男子が20.3%と最も高い。「先生に聞く」は小学校4年生男子14.4%、女子12.2%で1割を超えているが、他の学年では1割未満である。一方、「わからなくとも気にしない」は中学生女子27.3%、男子27.0%と高くなっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表20

(%)

		先生に 聞く	家族に 聞く	友達に 聞く	辞書など で調べる	気にしな い	その他
小学校	4年生	1.3	72.0	6.0	34.6	18.8	6.0
	6年生	0.6	68.1	5.7	45.2	24.8	3.8
中学校	2年生	0.8	48.8	5.6	44.4	32.1	5.5

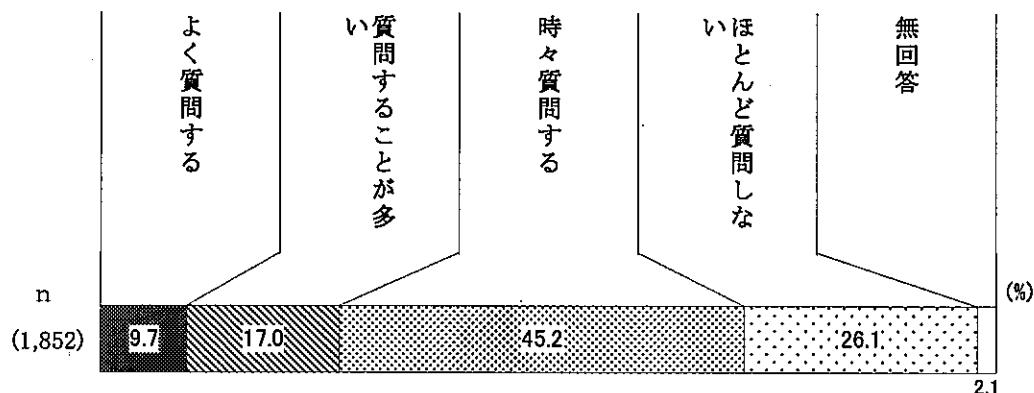
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、すべての学年で「家族に聞く」が大きく減少し、「友達に聞く」が増加している。また、小学校6年生、中学校2年生で「気にしない」の割合が減少している。

(6) 授業中の質問について

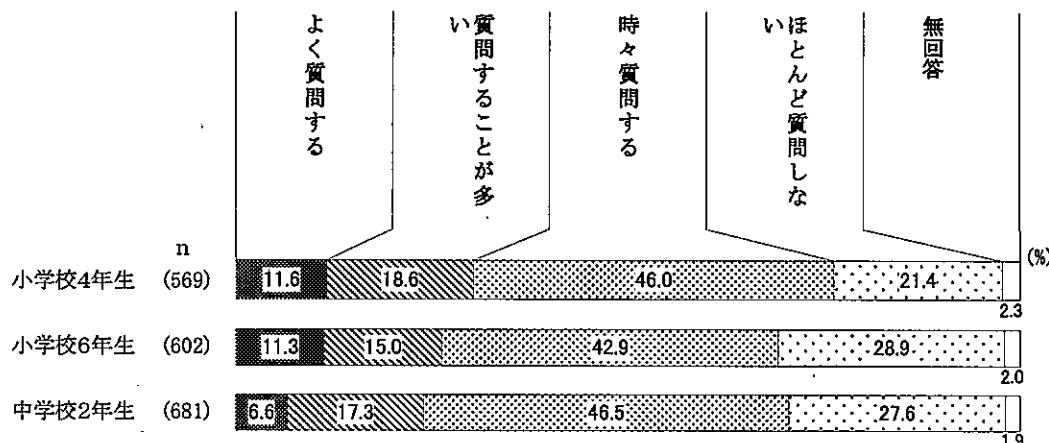
問9 授業中、わからないことがあったとき、質問しますか。(○は1つ)

図表21



学年別

図表22



授業中、わからぬことがあったときの質問については、「よく質問する」「質問することが多い」は小学校4年生30.2%、6年生26.3%、中学生23.9%で学年が上がるにつれ減少している。「時々質問する」は小学校4年生46.0%、6年生42.9%、中学生46.5%で大きな差はない、すべての学年で一番多い回答となっている。「ほとんど質問しない」は小学校6年生28.9%、中学生27.6%と30%近くになっている。

第2章 調査結果の詳細

図表23

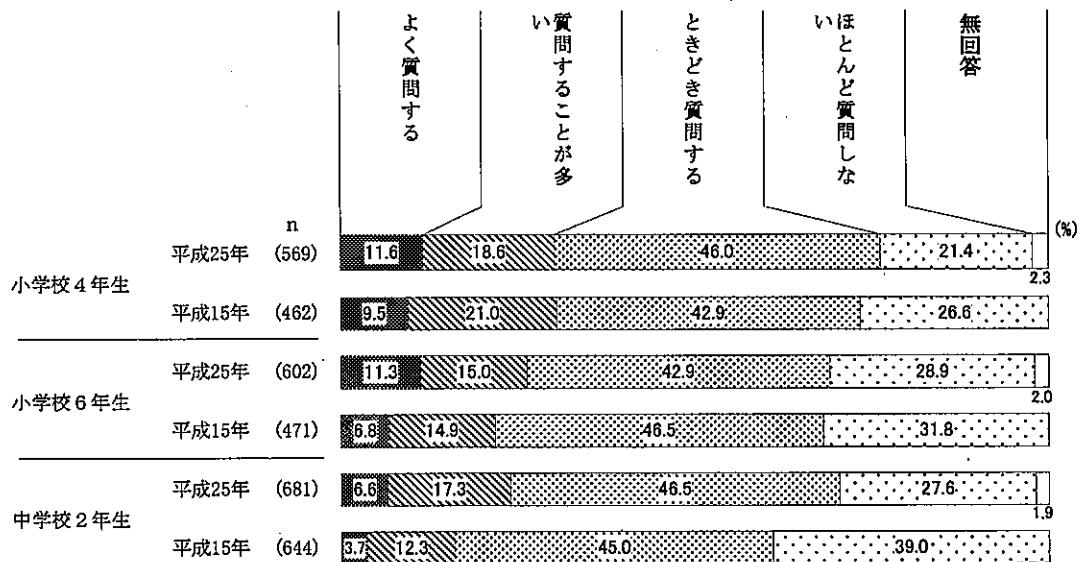
性／学年別

			調査数	よく質問する	質問することが多い	時々質問する	ほとんど質問しない	無回答	(%)
小学校	4年生	男子	263	13.7	18.3	47.5	18.6	1.9	
		女子	304	9.9	19.1	44.4	24.0	2.6	
	6年生	男子	338	11.5	18.0	43.5	25.1	1.8	
		女子	261	10.7	11.1	41.8	34.1	2.3	
中学校	2年生	男子	389	7.5	17.0	46.5	26.7	2.3	
		女子	286	5.6	17.5	47.2	29.0	0.7	

性／学年別では、「よく質問する」は小学校4年生男子が13.7%で最も高く、6年生男子11.5%、女子10.7%となっているが、中学生になると低くなり、男子7.5%、女子5.6%である。「時々質問する」はすべての学年で40%を超えて高い割合となっている。一方、「ほとんど質問しない」はすべての学年で女子の割合が高く、特に小学校6年生の女子が34.1%で高くなっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表24

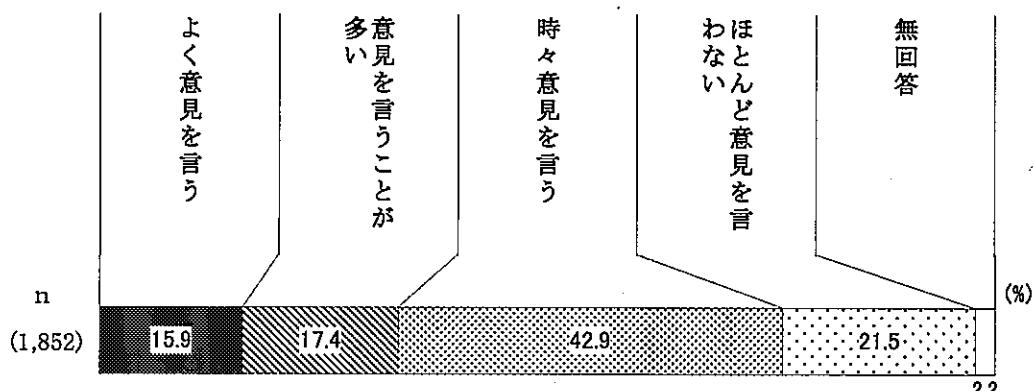


平成15年調査結果と比較すると、「よく質問する」はすべての学年で増加し、「質問することが多い」は中学校2年生が5.0ポイント増加している。「ほとんど質問しない」はすべての学年で減少しており、特に中学校2年生は11.4ポイント減少している。

(7) クラスの話し合いでの意見発表について

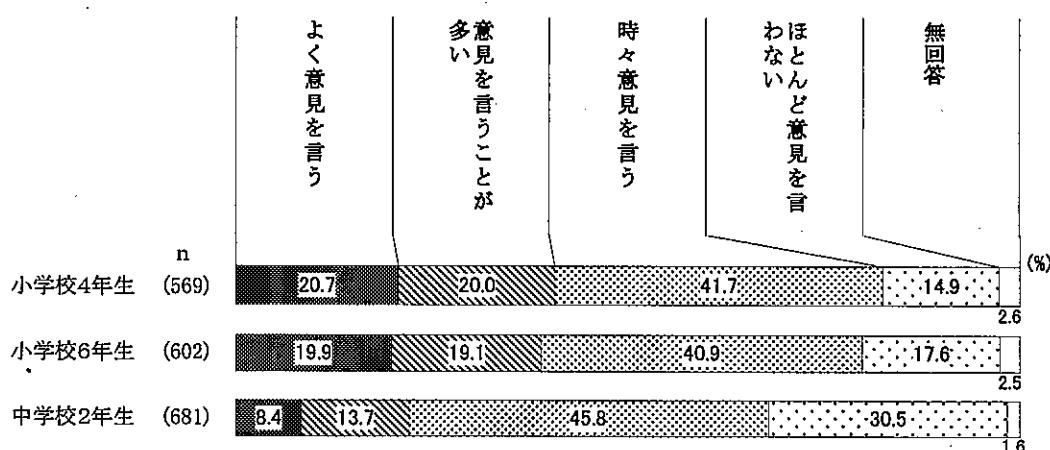
問10 クラスの話し合いなどのとき、自分の意見を言いますか。(○は1つ)

図表25



学年別

図表26



クラスの話し合いなどのとき、自分の意見を言うかについては、「よく意見を言う」「意見を言うことが多い」は小学校4年生40.7%、6年生39.0%でほとんど差はないが、中学2年生では22.1%で4年生と比較して18.6ポイント低い。「ほとんど意見を言わない」は4年生14.9%、6年生17.6%、中学校2年生30.5%で、6年生と比較すると12.9ポイント高い。

第2章 調査結果の詳細

図表27

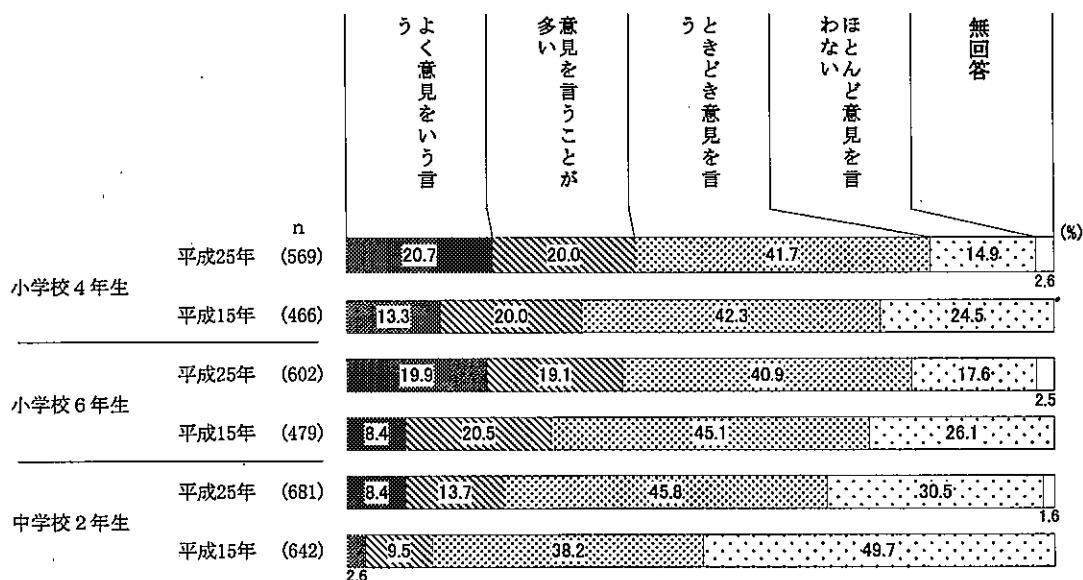
性／学年別

			調査数	よく意見を言う	意見を言うが多い	時々意見を言う	ほとんど意見を言わない	無回答	(%)
小学校	4年生	男子	263	20.5	20.2	43.0	12.9	3.4	
		女子	304	20.7	20.1	40.8	16.4	2.0	
	6年生	男子	338	23.4	20.4	38.2	15.7	2.4	
		女子	261	15.7	17.6	44.1	20.3	2.3	
中学校	2年生	男子	389	10.3	14.1	45.5	28.3	1.8	
		女子	286	5.9	12.2	46.9	34.3	0.7	

性／学年別では、「よく意見を言う」は小学校6年生男子が23.4%で最も高く、次いで4年生の女子20.7%、男子20.5%と2割台であるが、6年生の女子は15.7%と低い。中学生では男子10.3%、女子5.9%で他の学年と比較して低い。「意見を言うことが多い」は4年生の男女、6年生の男子が約20%となっている。「時々意見を言う」は中学生の男子45.5%、女子46.9%と高い。「ほとんど意見を言わない」は小学校4年生男子が12.9%で最も低く、学年が上がるにつれて高くなり、中学校2年生女子では34.3%となっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表28

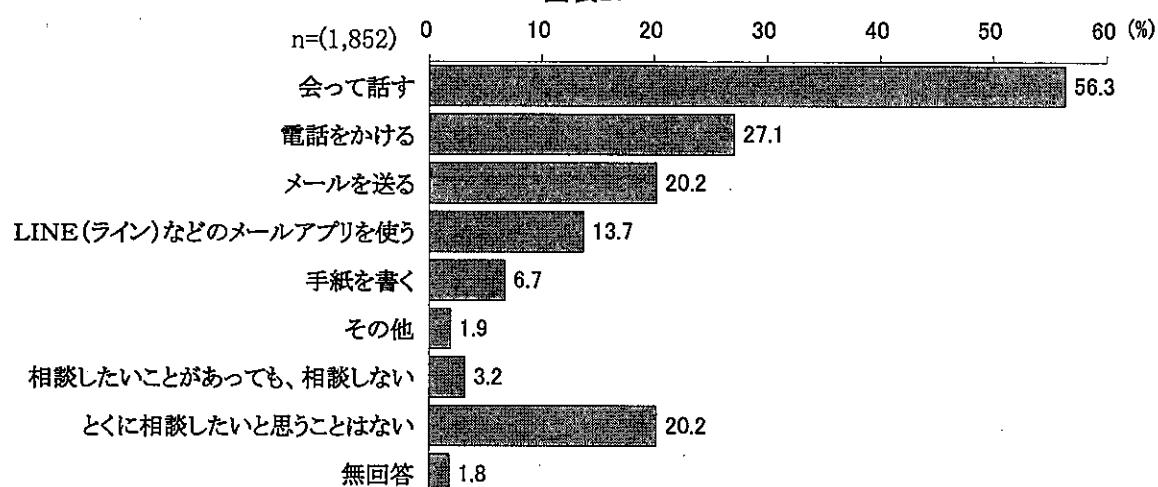


平成15年調査結果と比較すると、「よく意見を言う」はすべての学年で増加しており、小学校6年生は11.5ポイント、4年生は7.4ポイント、中学校2年生5.8ポイントの増加となっている。一方「ほとんど意見を言わない」は減少しており、特に中学校2年生は19.2ポイント、約2割減少している。

(8) 友達に相談したいときの方法

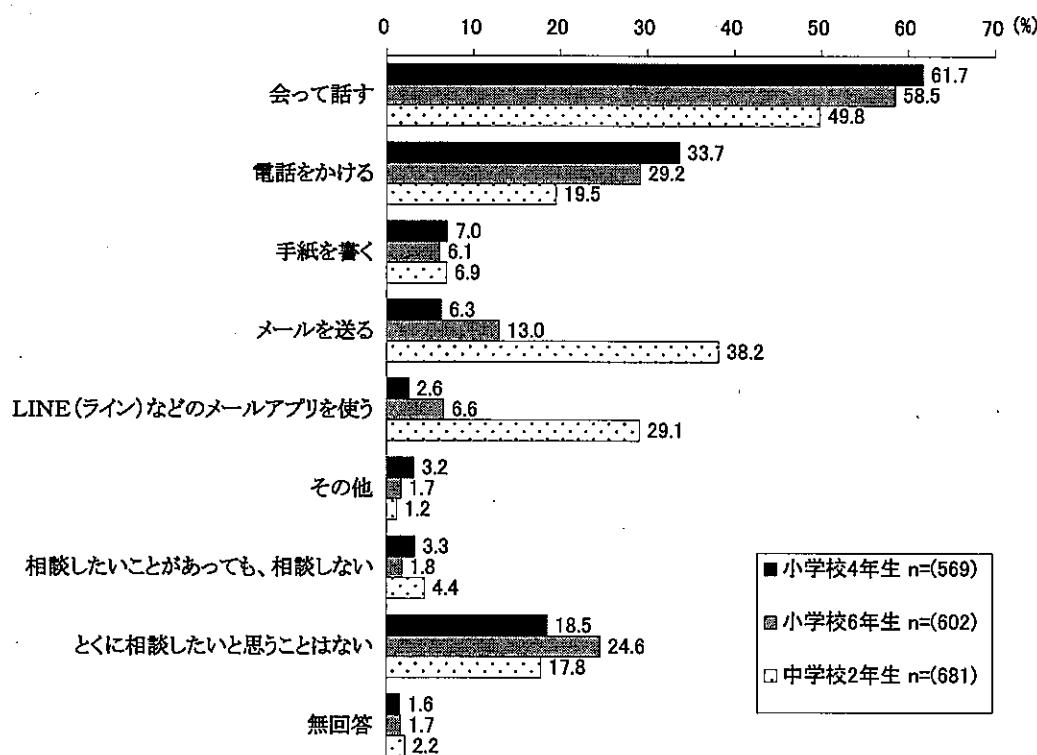
問11 あなたは、友だちに相談したいとき、どうすることが多いですか。(○はいくつでも)

図表29



学年別

図表30



友達に相談したいときは、「会って話す」が小学校4年生61.7%、6年生58.5%、中学校2年生49.8%で高い割合となっている。次いで、小学生では「電話をかける」が高く、4年生33.7%、6年生29.2%である。中学生では、「メールを送る」が38.2%と高く、「LINE(ライン)などのメールアプリを使う」が29.1%、「電話をかける」が19.5%と続いている。一方、「とくに相談したいと思うことはない」は小学校6年生24.6%、4年生18.5%、中学生17.8%となっている。

第2章 調査結果の詳細

図表31

性／学年別

			調査数	会って話す	電話をかける	手紙を書く	メールを送る	LINE(ライン)などのメールアプリを使う	その他	相談したいことがあっても、相談しない	とくに相談したいと思うことはない	(%) 無回答
小学校	4年生	男子	263	58.2	37.3	1.5	4.2	2.3	3.8	3.0	19.8	1.5
		女子	304	64.8	30.9	11.8	7.9	3.0	2.3	3.6	17.4	1.6
	6年生	男子	338	50.6	27.2	0.6	6.2	3.3	1.5	2.4	32.8	1.2
		女子	261	68.6	32.2	13.4	21.8	11.1	1.9	1.1	13.8	2.3
中学校	2年生	男子	389	39.3	18.8	1.5	30.6	27.5	1.5	3.9	24.2	2.8
		女子	286	64.3	20.3	14.3	48.3	31.1	0.7	5.2	9.4	0.7

性／学年別では、「会って話す」は小学校6年生の女子が68.6%と最も高く、4年生女子64.8%、中学校女子64.3%となっている。すべての学年で女子の割合が男子より高い。中学校2年生男子は39.3%で他の学年と比べて特に低い。「電話をかける」は小学校4年生の男子37.3%、女子30.9%、6年生の女子32.2%で高くなっている。中学生では、「メールを送る」が女子48.3%、男子30.6%と高く、「LINE(ライン)などのメールアプリを使う」は女子31.1%、男子27.5%と高くなっている。また、「とくに相談したいと思うことはない」は小学校6年生の男子が32.8%と高い。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表32

(%)

		直接会って話す	家の電話をかける	携帯電話で話す	メールを送る	ファックスを送る	手紙を書く	その他	相談したいことはない
小学校	4年生	64.1	24.8	1.7	6.0	1.3	8.4	1.5	22.2
	6年生	70.0	32.6	4.6	23.3	2.7	17.2	1.5	16.2
	中学校2年生	59.2	28.4	8.1	43.8	1.3	21.3	1.1	16.7

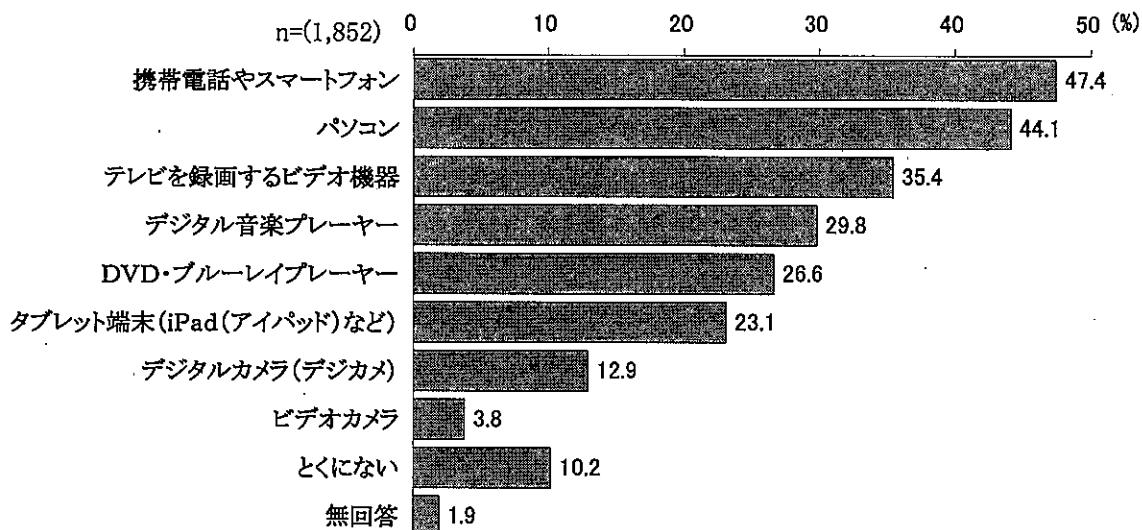
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、小学校6年生と中学校2年生で「(直接)会って話す」と「手紙を書く」が大きく減少している。

(9) よく使用する機器

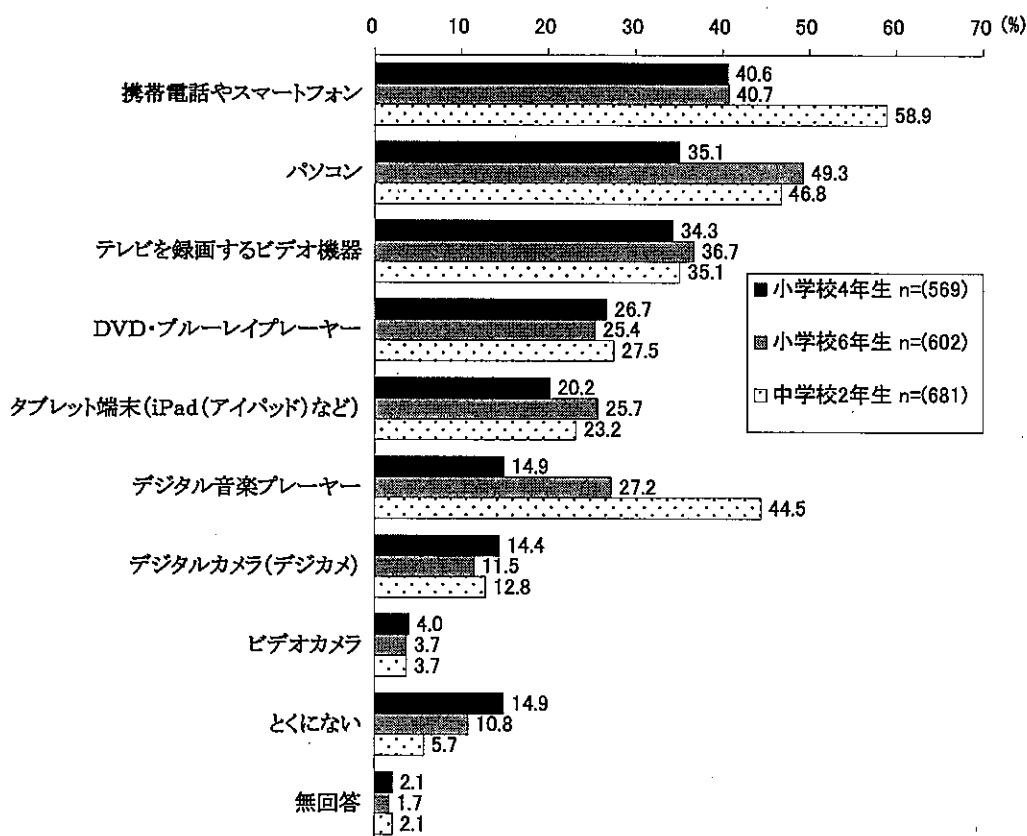
問12 あなたがよく使う機器は、どれですか。(○はいくつでも)

図表33



学年別

図表34



よく使用する機器は、「携帯電話やスマートフォン」が中学校2年生58.9%、小学校6年生40.7%、4年生40.6%と高く、「パソコン」は小学校6年生49.3%、中学生46.8%、小学校4年生35.1%、「テレビを録画するビデオ機器」は6年生36.7%、中学生35.1%、4年生34.3%で差はない。上記以外で中学生がよく使用する機器として「デジタル音楽プレーヤー」が44.5%と高い。

図表35

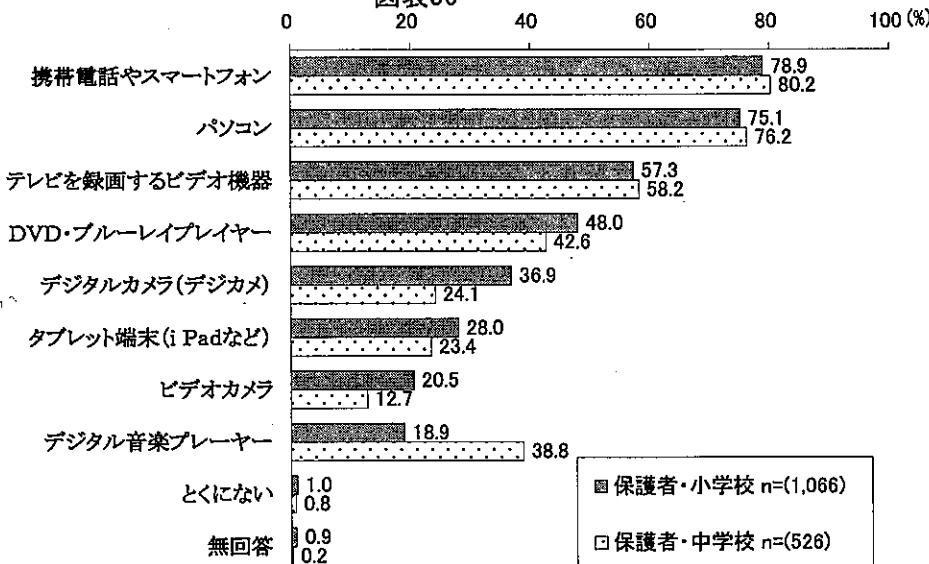
性／学年別

			調査数	携帯電話やスマートフォン	パソコン	タブレット端末(i Padなど)	デジタルカメラ(デジカメ)	ビデオカメラ	テレビを録画するビデオ機器	DVD・ブルーレイプレーヤー	デジタル音楽プレーヤー	とくにない	(%) 無回答
小学校	4年生	男子	263	37.3	39.5	16.3	15.6	4.9	37.3	28.9	8.0	15.6	2.3
		女子	304	43.8	31.3	23.7	13.5	3.3	31.6	24.7	21.1	14.5	2.0
	6年生	男子	338	39.1	52.1	23.1	11.2	4.1	38.5	26.6	21.0	11.2	1.5
		女子	261	42.9	45.6	28.7	11.9	3.1	34.5	24.1	35.2	10.3	1.9
中学校	2年生	男子	389	50.9	45.5	25.7	11.6	4.4	30.1	23.9	34.7	8.2	2.6
		女子	286	69.9	49.0	19.9	14.3	2.8	42.0	32.5	58.0	2.4	0.7

性／学年別では、「携帯電話やスマートフォン」は中学生女子が69.9%と最も高く、男子50.9%より19ポイント高い。「パソコン」は小学校6年生男子が52.1%で高く、次いで中学生女子が49.0%と高い。「デジタル音楽プレーヤー」「テレビを録画するビデオ機器」「DVD・ブルーレイプレーヤー」は中学校女子が各々58.0%、42.0%、32.5%と最も高く、中学校男子に比較しても高くなっている。

【参考】保護者調査の結果

図表36



保護者調査では、ほぼすべての機器について子どもの結果よりも高い割合となっており、特に「携帯電話やスマートフォン」「パソコン」は小学生、中学生ともに7割を超えている。

【参考】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査の結果

図表37

自分一人で使える機器類

		携帯電話	コンピュータ専用	ワープロ	デジタルカメラ	ビデオカメラ	コピー機	ファックス	テープレコーダー	(%)
小学校	4年生	52.2	66.0	14.6	36.1	22.5	20.5	29.2	29.4	
	6年生	58.7	69.7	19.0	44.3	30.5	33.3	44.5	45.0	
	中学校 2年生	59.8	65.4	21.4	34.9	34.9	60.3	53.5	57.6	

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

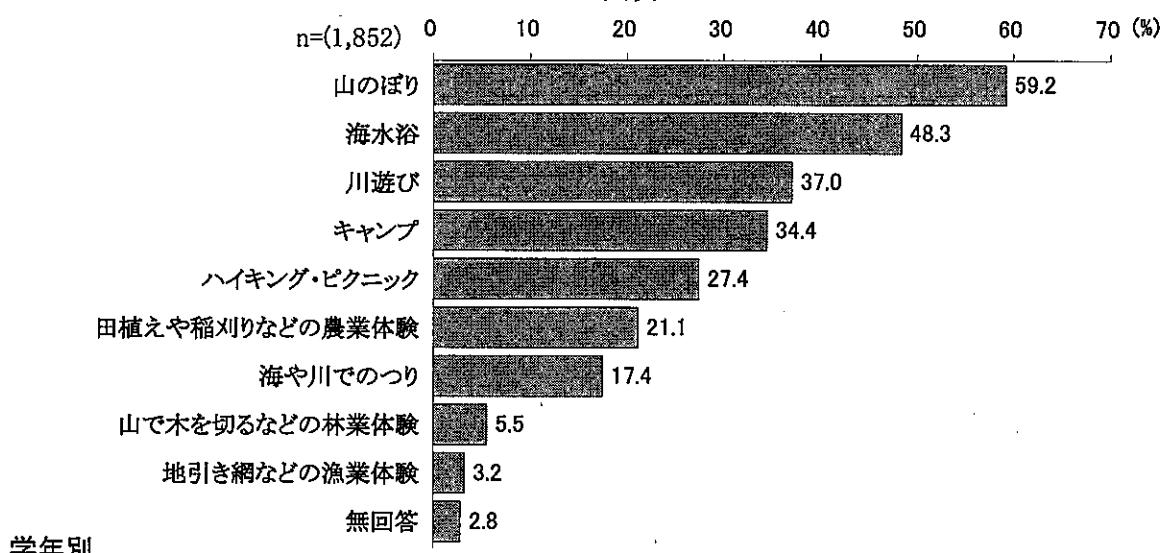
平成15年調査における「自分一人で使える機器類」の回答結果は上記の通りとなっている。

3. 自然体験活動について

(1) 体験したことがある活動

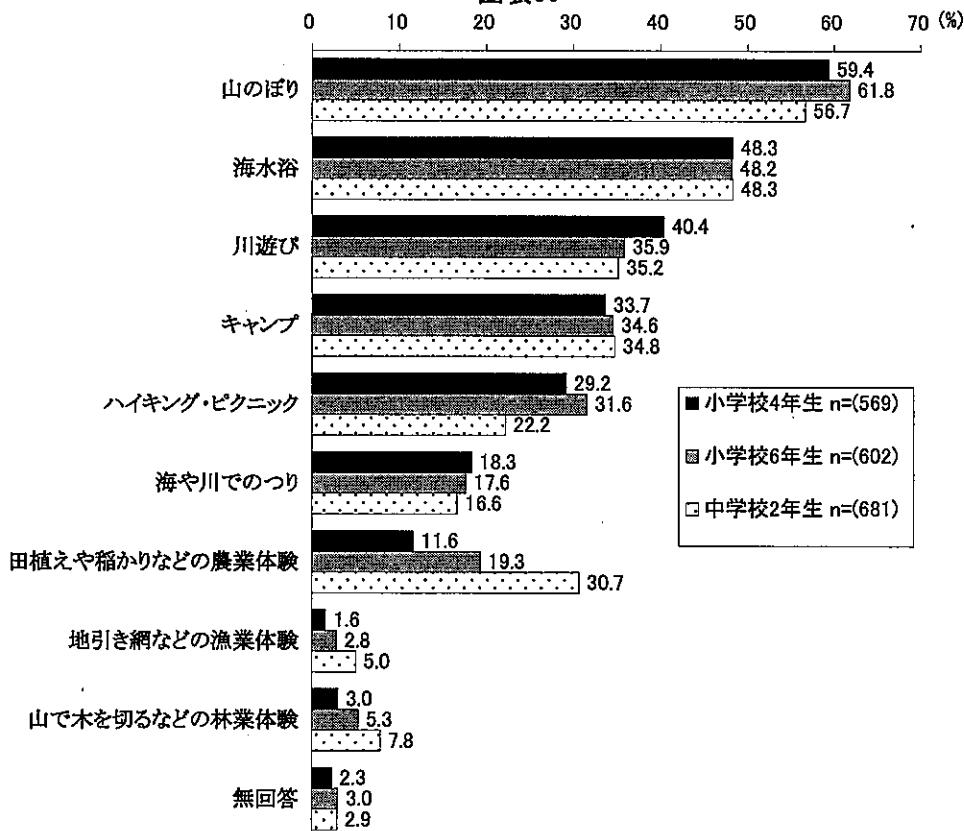
問13 あなたは、次の体験をしたことがありますか。(○は、とくによくすること3つまで)

図表38



学年別

図表39



体験したことがある活動は、「山のぼり」が小学校6年生61.8%、4年生59.4%、中学校2年生56.7%で高い。次いで、「海水浴」で小4、小6、中2で約48%となっている。「川遊び」は小学校4年生で高く、「ハイキング・ピクニック」は小学校6年生31.6%、「田植えや稻刈りなどの農業体験」は中学生30.7%で高い割合となっている。

第2章 調査結果の詳細

図表40

性／学年別

			調査数	山のぼり	海水浴	川遊び	キャンプ	ハイキング・ピクニック	海や川でのつり	田植えや稻刈りなどの農業体験	地引き網などの漁業体験	山で木を切るなどの林業体験	(%) 無回答
小学校	4年生	男子	263	59.7	48.7	40.3	35.4	28.1	26.2	10.3	1.5	3.8	2.3
		女子	304	59.2	48.4	40.5	31.9	30.3	11.5	12.8	1.6	2.3	2.3
	6年生	男子	338	63.3	50.0	37.3	34.9	25.1	22.2	16.0	2.7	6.5	3.0
		女子	261	59.8	46.0	34.5	33.7	39.5	11.5	23.8	2.7	3.8	3.1
中学校	2年生	男子	389	54.2	49.1	34.2	34.4	21.1	21.1	27.5	5.1	8.7	3.3
		女子	286	60.1	47.6	37.1	35.7	24.1	10.5	34.6	4.9	6.6	1.7

性／学年別では、「山のぼり」「海水浴」はすべての学年で高く、「川遊び」は小学校4年生男女で高い。「田植えや稻刈りなどの農業体験」は中学校女子が34.6%で高い割合となっている。

【参考】平成15年武藏野市子ども生活実態調査の結果

思い出に残っていること

図表41

(%)

		キャンプ、テントを張つて寝たこと	飯ごうでご飯を炊いた	原っぱを走り回った	夜空の星座を見た	虫や鳥の声に聞き入った	雪だるまをつくった	海や川で遊んだ	霜柱を踏んだ	山登りをした*	夕日・朝日に照られた山や海を見た*
小学校	4年生	51.0	30.2	23.5	52.5	20.3	51.4	66.7	34.8	54.9	20.5
	6年生	50.9	38.7	24.8	54.9	17.1	42.9	61.8	29.9	54.7	17.9
中学校	2年生	39.0	40.1	22.4	52.3	20.6	43.6	54.0	27.3	—	—
		虫をつかまえた	重い荷物を背負って歩いた**	日の出・日の入りを眺めた**	その他						
小学校	4年生	24.0	—	—	—	19.4					
	6年生	23.1	—	—	—	14.5					
	2年生	19.7	27.1	20.9	—	12.9					

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

* は小学生のみの選択肢

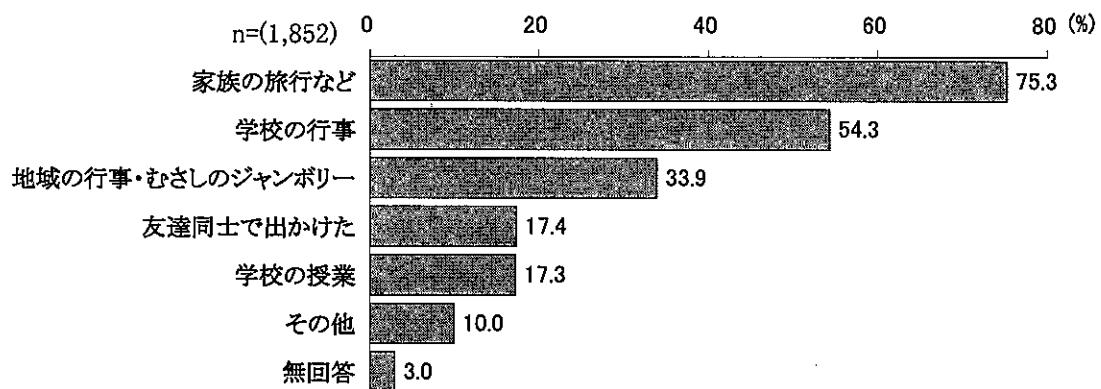
** は中学生のみの選択肢

平成15年調査における「思い出に残っていること」の回答結果は、上記のとおりとなっている。

(2) 自然体験をした機会

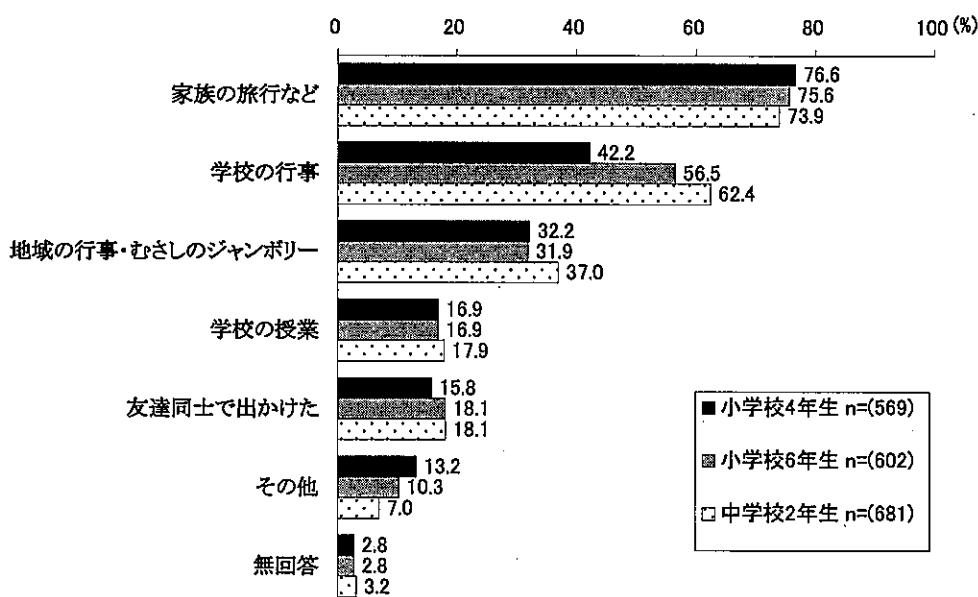
問14 前の質問での体験は、どこでしましたか。(○はいくつでも)

図表42



学年別

図表43



自然体験をどこでしたかについては、「家族の旅行など」がすべての学年で最も高く、小学校4年生76.6%、6年生75.6%、中学校2年生73.9%でほぼ同じ割合となっている。次いで、「学校の行事」で中学生62.4%、小学校6年生56.5%、4年生42.2%となっている。また、「地域の行事・むさしのジャンボリー」は中学生37.0%、小学校4年生32.2%、6年生31.9%となっている。

第2章 調査結果の詳細

図表44

性／学年別

			調査数	学校の授業	学校の行事	家族の旅行など	友達同士で出かけた	地域の行事・むさしのジャンボリー	その他	無回答	(%)
小学校	4年生	男子	263	15.2	44.5	76.0	12.9	33.5	12.5	3.4	
		女子	304	18.4	40.5	77.6	18.1	30.9	13.8	2.3	
	6年生	男子	338	16.3	51.5	76.6	20.4	29.3	10.4	3.3	
		女子	261	18.0	63.2	73.9	15.3	35.2	10.3	2.3	
中学校	2年生	男子	389	18.5	57.8	75.1	21.1	37.0	6.4	3.9	
		女子	286	17.5	69.2	73.1	14.3	37.4	7.7	1.7	

性／学年別では、「家族の旅行など」はすべての学年で70%を超えて高く、次いで「学校の行事」で中学校女子が69.2%、小学校6年生女子が63.2%と60%を超えていている。「地域の行事・むさしのジャンボリー」での体験とする回答は、小学校6年生の29.3%を除き30%を超え、中学生女子37.4%、男子37.0%と3割台後半となっている。「友達同士で出かけた」は中学校2年生男子21.1%、小学校6年生男子20.4%と20%台になっている。

【参考】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査の結果

山登りをどんなときに体験したか

図表45

(%)

			セカンドスクールで	セカンドスクール以外の学校行事で	地域の行事やジャンボリーで	友達同士で	家族で	土曜学校で	その他	したことがない
小学校	4年生	男子	2.3	49.2	48.9	4.2	43.9	0.0	13.3	5.3
		女子	0.0	47.8	45.4	5.3	51.7	1.0	17.9	3.9
	6年生	男子	90.7	42.2	58.2	5.8	49.3	0.4	12.0	0.4
		女子	88.6	52.9	54.1	6.3	42.7	0.0	9.0	0.0
中学校	2年生	男子	89.6	34.9	42.3	9.8	37.9	0.3	4.4	1.5
		女子	93.8	40.6	53.5	3.6	37.3	1.0	6.3	0.0

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査における「山登りをどんなときに体験したか」の回答結果は、上記のとおりとなっている。

農作業をどんなときに体験したか

図表46

(%)

			セカンドスクールで	学校行事や授業で	地域の行事で	友達同士で	家族で	その他	したことがない
小学校	4年生	男子	0	22.7	15.2	2.3	18.6	9.8	41.7
		女子	0	21.7	17.9	6.8	25.1	14.5	30.9
	6年生	男子	75.6	27.1	11.6	2.2	16	7.1	8.4
		女子	80.8	22	11	1.6	20.8	4.7	5.5
中学校	2年生	男子	87.7	17.8	5.3	1.5	14.8	3.8	4.1
		女子	88.4	16.2	7.3	2.6	15.5	8.9	5

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査における「農作業をどんなときに体験したか」の回答結果は、上記のとおりとなっている。

4. 学校について

(1) 学校の楽しさ

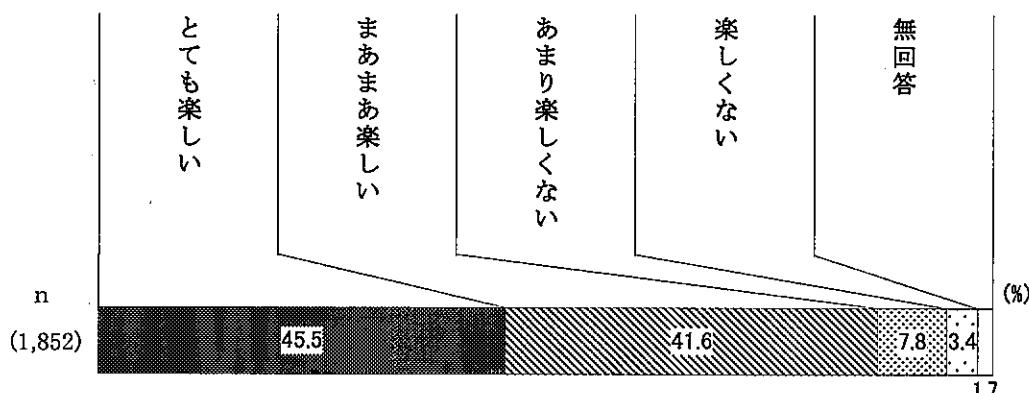
問15 あなたは、学校が楽しいですか。

問16 学校が楽しい理由は、何ですか。(○は3つまで)

問17 学校が楽しくない理由は、何ですか。(○は3つまで)

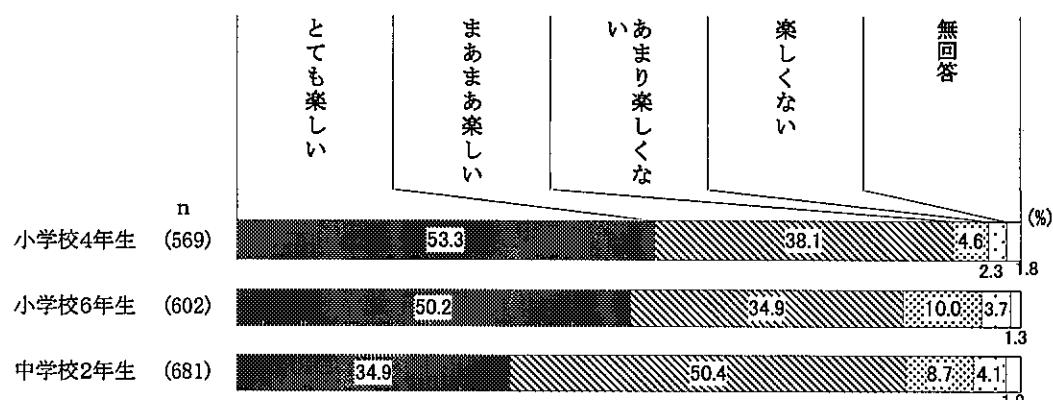
■学校の楽しさ

図表47



学年別

図表48



学校の楽しさについては、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」は小学校4年生91.4%、6年生85.1%、中学生85.3%で高い。「あまり楽しくない」「楽しくない」は小学校4年生6.9%、6年生13.7%、中学生12.8%となっている。

第2章 調査結果の詳細

図表49

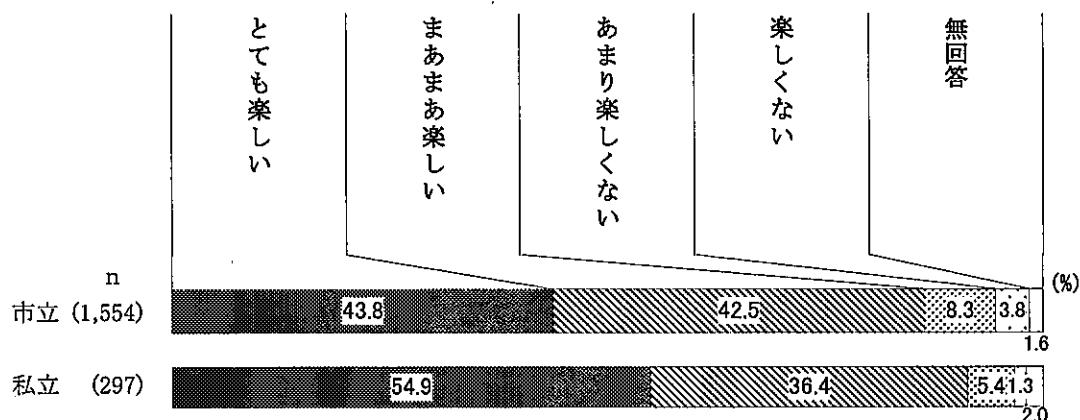
性／学年別

		調査数	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	(%)
小学校	4年生	男子	263	48.7	40.7	6.5	2.3
		女子	304	57.6	35.9	3.0	2.0
	6年生	男子	338	40.5	42.3	10.7	5.3
		女子	261	62.5	25.3	9.2	1.5
中学校	2年生	男子	389	30.6	53.7	9.0	4.6
		女子	286	41.6	45.5	8.4	3.5

性／学年別では、「とても楽しい」は小学校6年生女子の62.5%が高く、次いで4年生女子の57.6%と続く。中学生では女子が41.6%と男子30.6%より11ポイント高い。各々の学年の男女で比較すると、女子の方が「とても楽しい」の割合が高い。「まあまあ楽しい」は中学校男子が53.7%で最も高い。「あまり楽しくない」「楽しくない」は6年生男子がそれぞれ10.7%、5.3%で他の学年と比較して高い。

公立／私立別

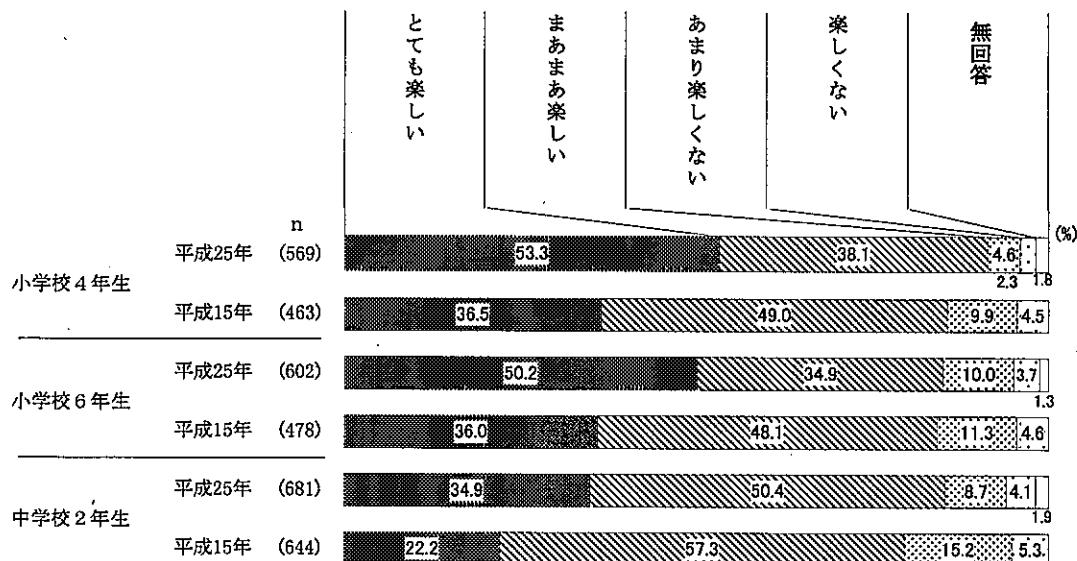
図表50



公立／私立別では、「とても楽しい」は私立の方が市立よりも11.1ポイント高く、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせると5ポイント私立の方が高くなっている。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

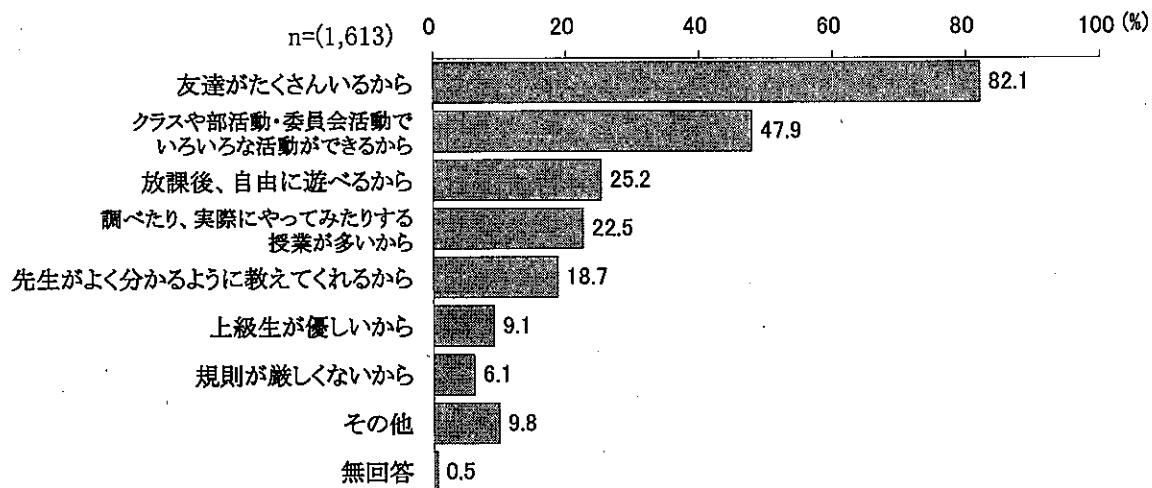
図表51



平成15年調査結果と比較すると、「とても楽しい」はすべての学年で増加しており、小学校4年生16.8ポイント、6年生14.2ポイント、中学校2年生12.7ポイントの増加となっている。一方「あまり楽しくない」はすべての学年で減少傾向にある。

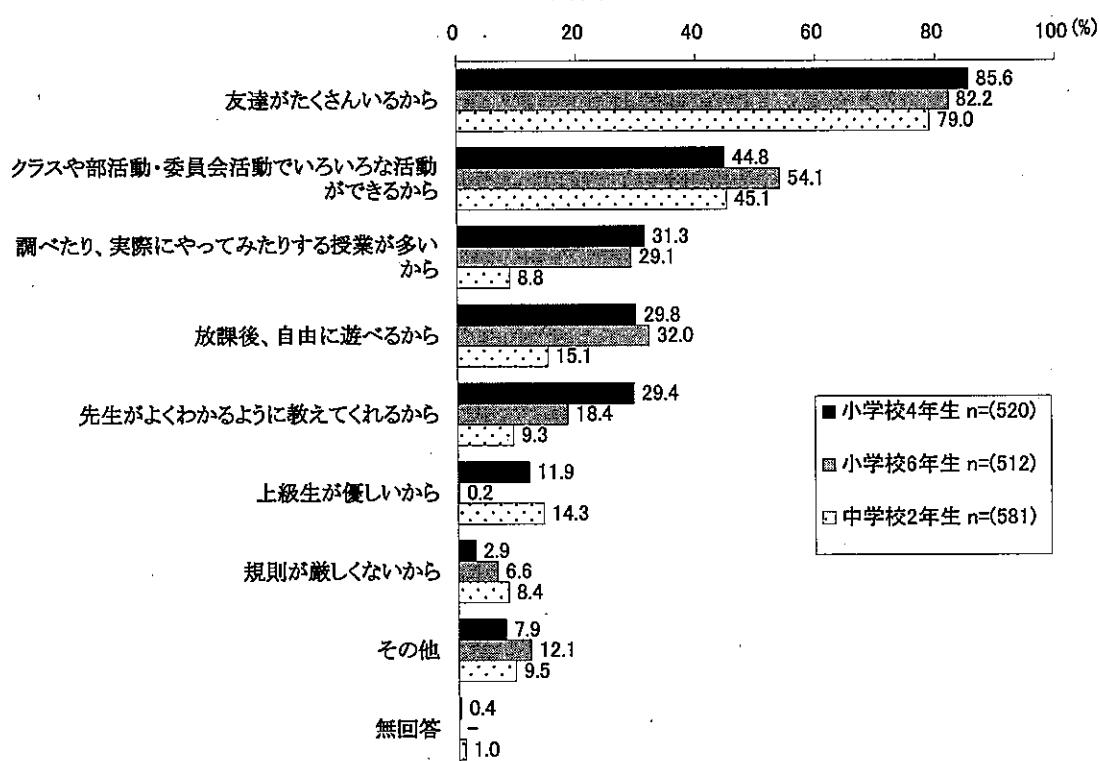
■学校が楽しい理由

図表52



学年別

図表53



注：「友達がたくさんいるから」は小学校4・6年生調査では、「なかのよい友だちがたくさんいるから」、「クラスや部活動・委員会活動でいろいろな活動ができるから」は「クラスやクラブ活動・委員会活動でいろいろな活動ができるから」となっている。

学校が楽しい理由は、「友達がたくさんいるから」が小学校4年生85.6%、6年生82.2%、中学生79.0%で最も高い。次いで、「クラスや部活動・委員会活動でいろいろな活動ができるから」が6年生54.1%、中学生45.1%、小学校4年生44.8%となっている。「放課後、自由に遊べるから」が6年生32.0%、4年生29.8%、「調べたり、実際にやってみたりする授業が多いから」が4年生31.3%、6年生29.1%、「先生がよくわかるように教えてくれるから」は4年生で29.4%と高い。

図表54

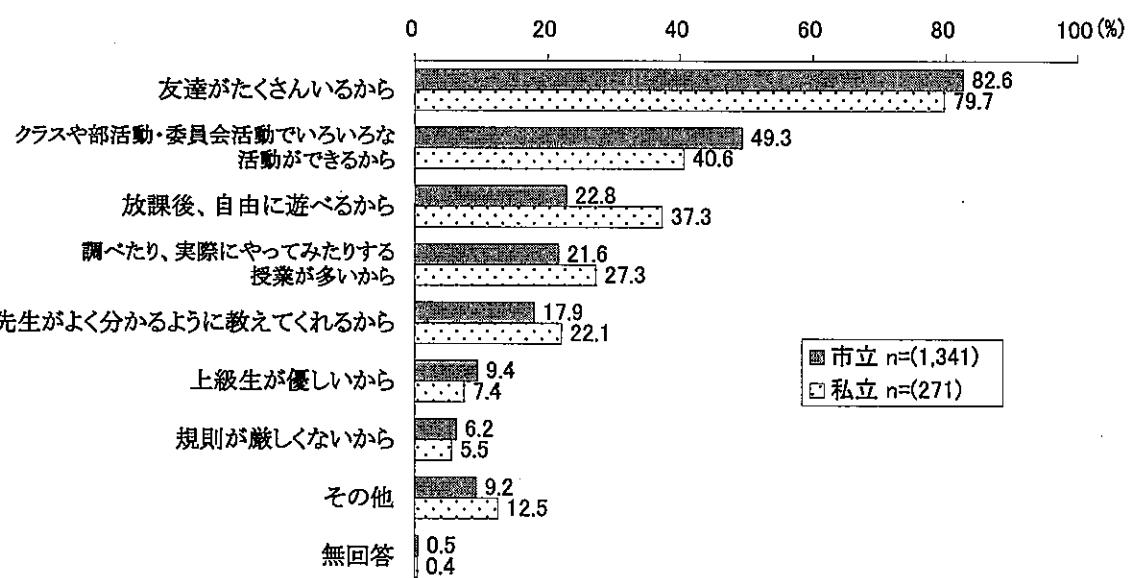
性／学年別

			調査数	友達がたくさんいるから	上級生が優しいから	放課後、自由に遊べるから	規則が厳しくないから	先生がよく分かるように教えてくれるから	調べたり、実際にやってみたりする授業が多いから	クラスや部活動・委員会活動でいろいろな活動ができるから	その他	(%)
小学校	4年生	男子	235	86.0	6.8	39.6	4.7	24.7	32.8	40.0	8.9	0.4
		女子	284	85.2	16.2	21.8	1.4	33.1	30.3	48.6	7.0	0.4
	6年生	男子	280	80.0	-	36.8	6.1	20.0	27.5	52.1	10.4	-
		女子	229	84.7	0.4	26.2	7.4	15.7	30.6	56.8	14.4	-
中学校	2年生	男子	328	77.4	12.8	17.7	7.9	9.8	11.0	44.2	7.0	1.5
		女子	249	81.1	16.1	11.6	8.8	8.8	6.0	45.8	12.9	0.4

性／学年別では、「友達がたくさんいるから」は中学校男子の77.4%を除き、他の学年では80%を超えており、小学校4年生男子86.0%、女子85.2%、6年生女子84.7%で高い。「クラスや部活動・委員会活動でいろいろな活動ができるから」は6年生女子が56.8%、男子52.1%で50%を超えて高い。「放課後、自由に遊べるから」は小学校4年生、6年生の男子が高く、それぞれ39.6%、36.8%となっている。「調べたり、実際にやってみたりする授業が多いから」は小学校4年生男子32.8%、6年生女子30.6%、4年生女子30.3%と小学校で高い割合だが、中学校は男子11.0%、女子6.0%と低い。

公立／私立別

図表55



公立／私立別では、「クラスや部活動・委員会活動でいろいろな活動ができるから」は市立の方が高くなっている。一方、「放課後、自由に遊べるから」「調べたり、実際にやってみたりする授業が多いから」は私立の方が高い。「友達がたくさんいるから」は同程度となっている。

第2章 調査結果の詳細

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表56

(%)

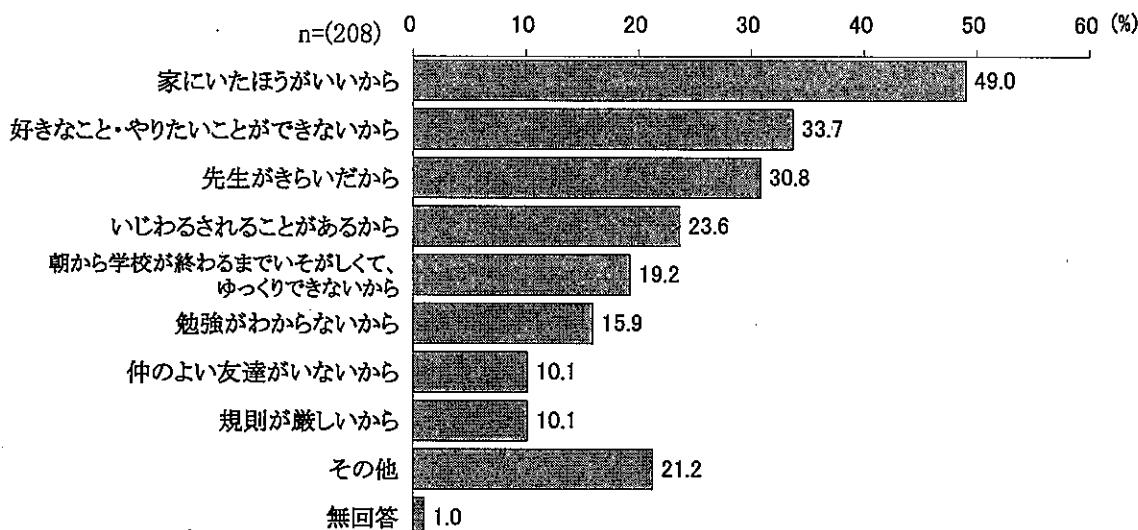
		全 体	仲よしの友達がたくさんいるから	上級生がやさしいから	放課後自由に遊べるから	規則がきびしくないから	勉強がよくわかるから	先生が好きだから	先生が何でも相談にのってくれるから	調べたり、実際にやってみたりする授業が多いから	クラスや児童会でいろいろな活動ができるから
小学校	4年生	396	86.9	12.6	35.9	3.8	19.2	18.9	8.6	21.7	13.1
	6年生	402	88.1	0.0	51.7	4.0	10.4	11.4	7.5	15.4	13.2
	中学校 2年生	509	88.8	6.5	15.3	6.9	3.7	3.5	1.0	3.3	4.9
		全 体	部活があるから (中学生のみ)	その他							
小学校	4年生	396	-	6.6							
	6年生	402	-	10.4							
	中学校 2年生	509	41.3	6.9							

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、小学生で「クラスや部活動・委員会活動でいろいろな活動ができるから」(平成15年調査では「クラスや児童会でいろいろな活動ができるから」)、「調べたり、実際にやってみたりする授業が多いから」、「先生がよくわかるように教えてくれるから」(平成15年調査では「勉強がよくわかるから」)が増加している。一方で「放課後、自由に遊べるから」は減少している。

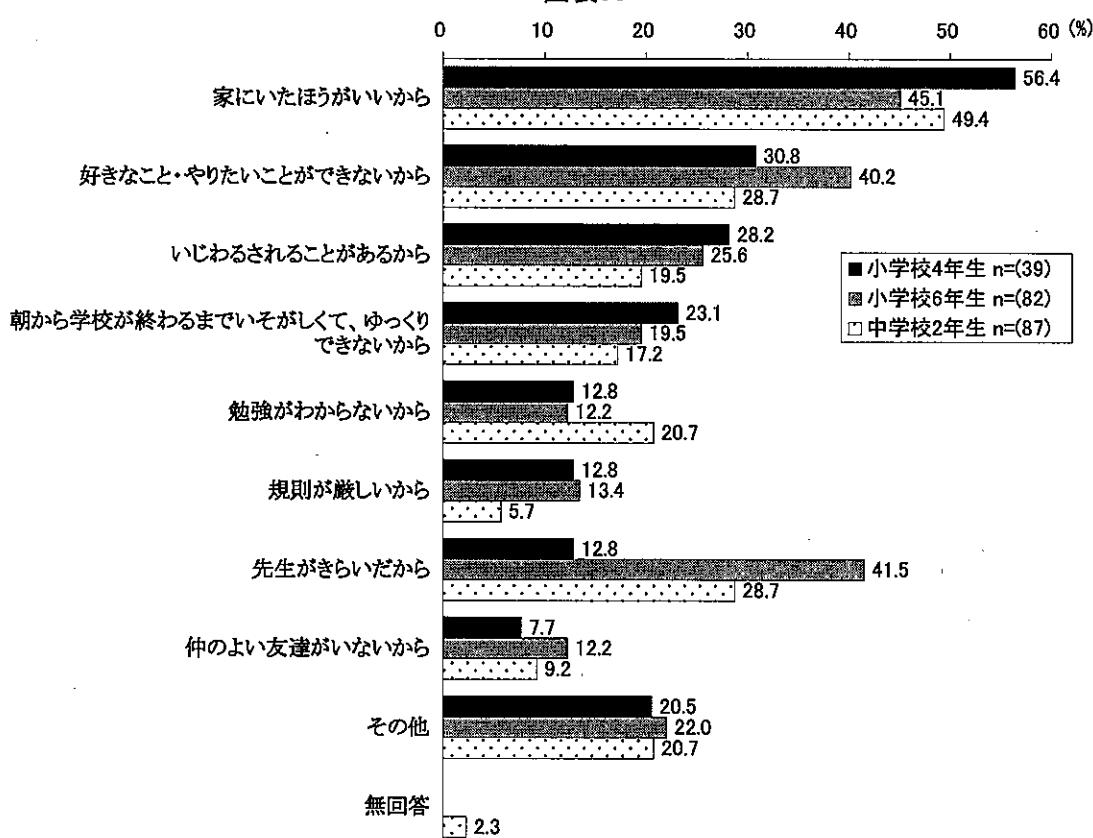
■学校が楽しくない理由

図表57



学年別

図表58



学校が楽しくない理由は、「家にいたほうがいいから」が小学校4年生56.4%、中学校2年生49.4%、小学校6年生45.1%と高くなっている。次いで、「好きなこと・やりたいことができないから」が小学校6年生40.2%、4年生30.8%、中学校2年生28.7%となっている。「先生がきらいだから」は小学校6年生が41.5%と最も高い。「いじわるされることがあるから」は小学校4年生28.2%、6年生25.6%、中学校では19.5%となっている。「勉強がわからないから」は中学校2年生が20.7%で高くなっている。

図表59

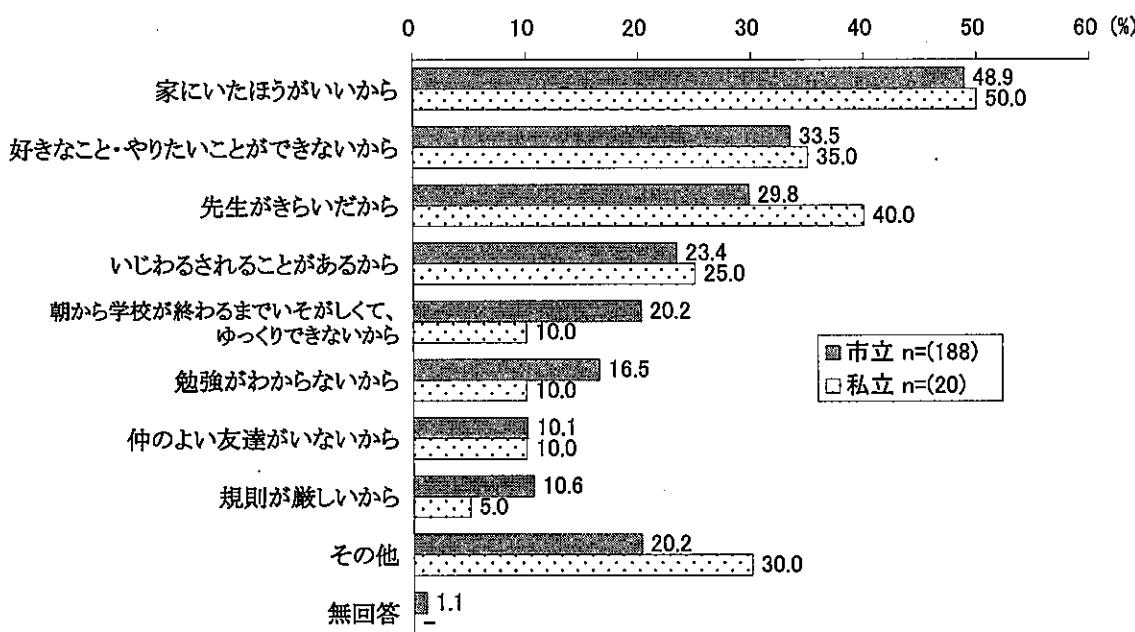
性／学年別

			調査数	仲のよい友達がいないから	勉強がわからないうから	いじわるされることがあるから	規則が厳しいから	好きなこと・やりたいことができないから	先生がきらいだから	朝から学校が終わるまでいそがしくて、ゆっくりできないから	家にいたほうがいいから	その他	(%)
小学校	4年生	男子	23	8.7	8.7	21.7	17.4	26.1	17.4	30.4	56.5	26.1	-
		女子	15	-	20.0	40.0	6.7	40.0	6.7	13.3	60.0	13.3	-
	6年生	男子	54	11.1	13.0	24.1	14.8	42.6	42.6	20.4	44.4	16.7	-
		女子	28	14.3	10.7	28.6	10.7	35.7	39.3	17.9	46.4	32.1	-
中学校	2年生	男子	53	7.5	15.1	15.1	3.8	26.4	28.3	18.9	52.8	18.9	3.8
		女子	34	11.8	29.4	26.5	8.8	32.4	29.4	14.7	44.1	23.5	-

性／学年別では、「家にいたほうがいいから」は小学校4年生女子が60.0%、男子56.5%、中学校男子52.8%で高い。「好きなこと・やりたいことができないから」は6年生男子42.6%、4年生女子40.0%で40%を超えており、「先生がきらいだから」は6年生の割合が高く、男子42.6%、女子39.3%となっている。「いじわるされることがあるから」は4年生女子が40.0%と最も高くなっている。「勉強がわからないから」は中学校女子が29.4%で最も高く、次いで小学校4年生女子20.0%となっている。

公立／私立別

図表60



公立／私立別では、「先生がきらいだから」は私立の方が高く、「朝から学校が終わるまでいそがしくて、ゆっくりできないから」「勉強がわからないから」「規則が厳しいから」は市立の方が高い。その他の項目は市立と私立で同程度となっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表61

		全 体	仲よしの友達がいないから	勉強がわからないうから	いじわるされることがあるから	規則がきびしいから	好きなこと・やりたいことができないから	好きな先生がいいない、先生がきらいだから	学校が忙しくて、ゆっくりできないから	家にいたほうがいいから	その他	(%)
小学校	中学校		4年生	6年生	2年生							
		66	9.1	18.2	33.3	1.5	27.3	21.2	28.8	45.5	15.2	
		74	16.2	12.2	20.3	10.8	31.1	44.6	25.7	45.9	24.3	
		130	6.9	27.7	10.0	18.5	40.8	17.7	33.1	49.2	22.3	

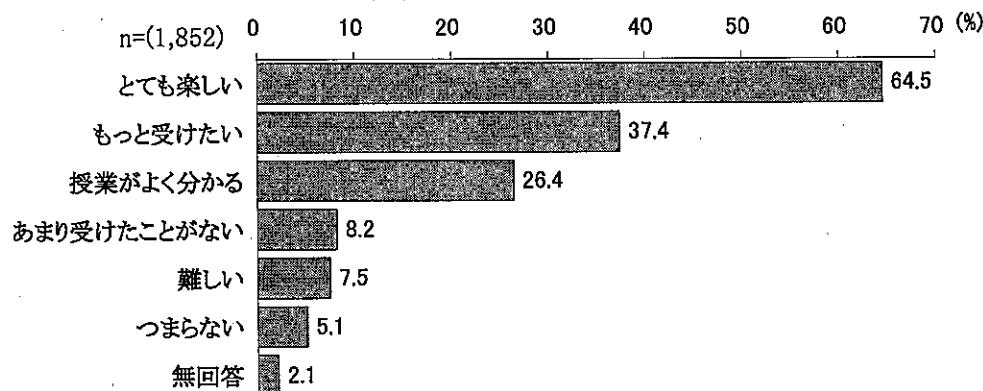
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、「学校が忙しくて、ゆっくりできないから」はすべての学年で減少している。小学校4年生では「家にいたほうがいいから」が増加しており、「規則が厳しいから」が小学校4年生、6年生ともに増加している。中学校2年生では、「好きなこと・やりたいことができないから」と「規則が厳しいから」が減少し、「先生がきらいだから」が増加している。

(2) パソコン室での授業について

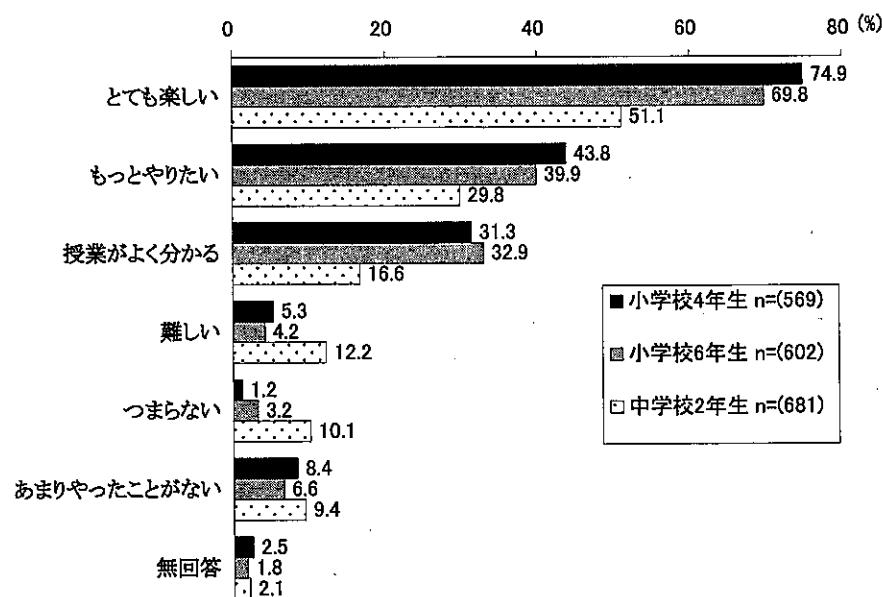
問18 パソコン室での授業についてどう思いますか。(○はいくつでも)

図表62



学年別

図表63



注:「もっとやりたい」「あまりやったことがない」は小学校4・6年生調査では、「もっと受けたい」「あまり受けたことがない」となっている。

パソコン室での授業については、「とても楽しい」が小学校4年生74.9%、6年生69.8%、中学校2年生51.1%と高い。次いで「もっとやりたい」は小学校4年生43.8%、6年生39.9%、中学校2年生29.8%となっている。「授業がよく分かる」は小学校6年生32.9%、4年生31.3%、中学校2年生は、16.6%となっている。「難しい」は中学校2年生で12.2%となっている。

図表64

性／学年別

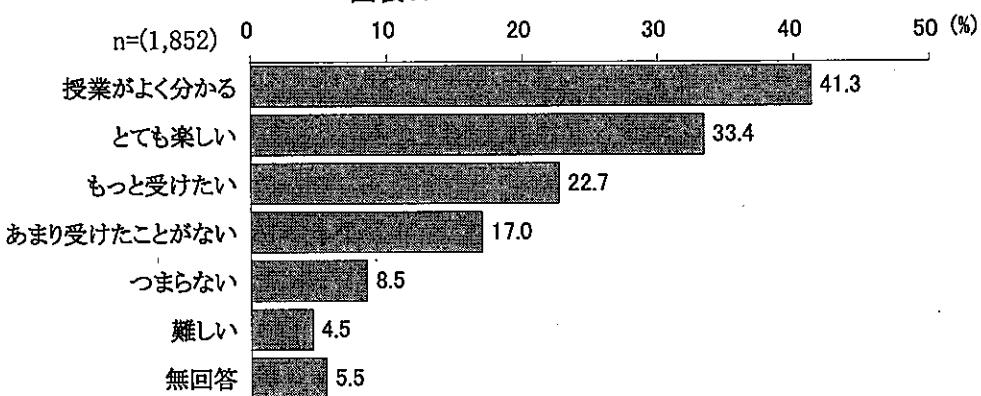
		調査数	とても楽しい	授業がよく分かる	もっとやりたい	難しい	つまらない	あまりやったことがない	(%)	
小学校	4年生	男子	263	73.8	27.4	36.9	4.2	1.5	11.4	3.0
		女子	304	76.0	34.5	50.0	6.3	1.0	5.9	2.0
	6年生	男子	338	66.9	29.6	39.6	5.0	4.4	5.9	2.4
		女子	261	73.2	37.2	40.2	3.1	1.5	7.7	1.1
中学校	2年生	男子	389	51.7	17.7	29.8	11.6	8.7	9.3	2.1
		女子	286	51.0	15.4	29.7	13.3	11.9	9.4	1.4

性／学年別では、「とても楽しい」は小学校4年生女子が76.0%、男子73.8%と高く、6年生では女子が73.2%、男子66.9%となっている。中学生では男子51.7%、女子51.0%で差はない。「もっとやりたい」は4年生女子が50.0%で最も高い。「授業がよく分かる」は6年生女子37.2%、4年生女子34.5%で高く、中学生は男子17.7%、女子15.4%と低い。「難しい」は中学校女子13.3%、男子11.6%で10%を超え、他の学年より高い。また、「つまらない」は中学校女子11.9%で、他の学年が1割未満に対して高い割合となっている。

(3) 電子黒板やプロジェクタを使用した授業について

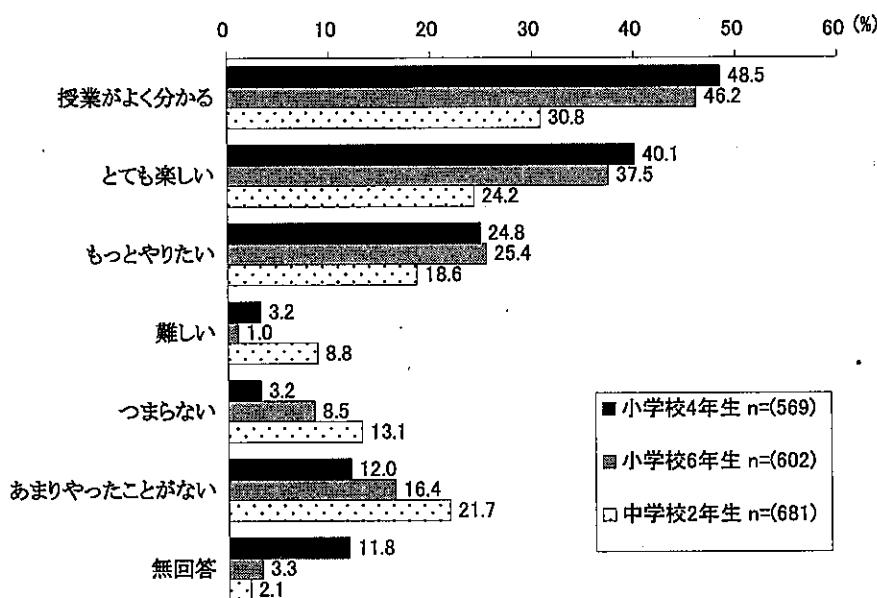
問19 教室で電子黒板やプロジェクタを使った授業についてどう思いますか。
(○はいくつでも)

図表65



学年別

図表66



注:「もっとやりたい」「あまりやったことがない」は小学校4・6年生調査では、「もっと受けたい」「あまり受けたことがない」となっている。

電子黒板やプロジェクタを使用した授業については、「授業がよく分かる」は小学校4年生48.5%、6年生46.2%、中学校2年生30.8%となっている。次いで、「とても楽しい」は4年生40.1%、6年生37.5%、中学生24.2%となっている。「もっとやりたい」は6年生25.4%、4年生24.8%、中学生18.6%で、学年が上がるにつれて減少している。一方、「あまりやったことがない」は中学生21.7%、6年生16.4%、4年生12.0%となっている。「つまらない」は中学生が13.1%で1割を超え、他の学年に比較して高い。

図表67

性／学年別

		調査数	とても楽しい	授業がよく分かる	もっとやりたい	難しい	つまらない	あまりやったことがない	(%)	
小学校	4年生	男子	263	40.3	46.0	24.3	3.8	4.2	12.9	11.0
		女子	304	39.8	50.3	25.0	2.3	2.0	11.2	12.5
	6年生	男子	338	35.8	42.0	25.4	1.8	10.9	16.3	3.3
		女子	261	39.1	51.7	25.3	-	5.4	16.9	3.4
中学校	2年生	男子	389	24.4	28.5	19.8	10.3	14.7	20.1	2.1
		女子	286	23.8	34.6	17.1	6.6	11.2	24.1	1.4

性／学年別では、「授業がよく分かる」は6年生女子51.7%、4年生女子50.3%で5割を超えていている。「とても楽しい」は小学校4年生、6年生が男女を問わず3割台半ばから約4割と高く、中学生は男女とも2割台前半となっている。「もっとやりたい」は「とても楽しい」と同様に小学生が高い割合となっている。「あまりやったことがない」は中学生の男女で20%を超え高くなっている。「つまらない」は中学校の男子、女子、小学校6年生の男子で1割を超えて高い。

5. 給食について

(1) 給食について

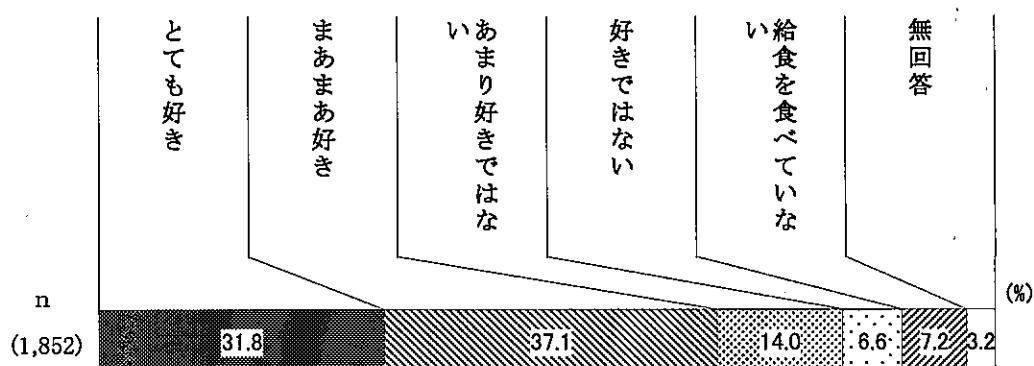
問20 学校の給食は、すきですか。

問21 給食がすきな理由は、何ですか。 (○は3つまで)

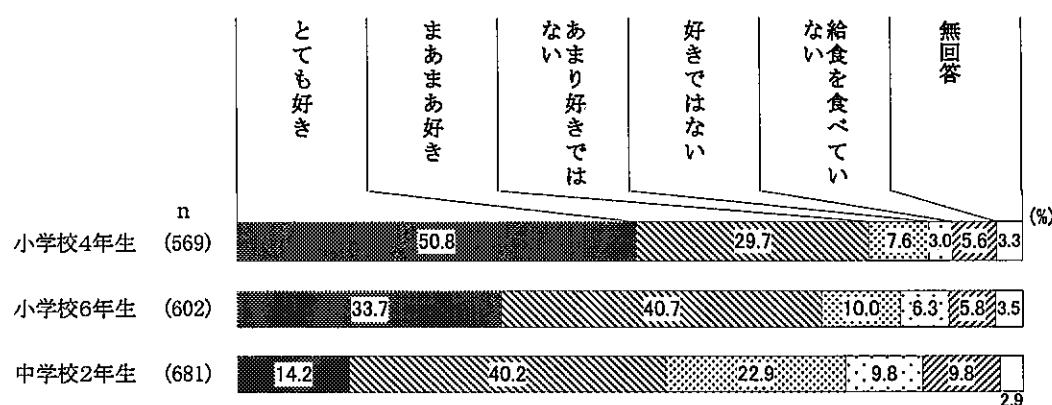
問22 給食がすきではない理由は、何ですか。 (○は3つまで)

■給食について

図表68



図表69



給食については、「とても好き」「まあまあ好き」は小学校4年生80.5%、6年生74.4%、中学校2年生54.4%で学年が上がるにつれて低くなっている。一方、「あまり好きではない」「好きではない」は小学校4年生10.6%、6年生16.3%、中学生32.7%と学年が上がるにつれて、好きではない割合が増加している。また、「食べていない」は中学生で9.8%となっている。

図表70

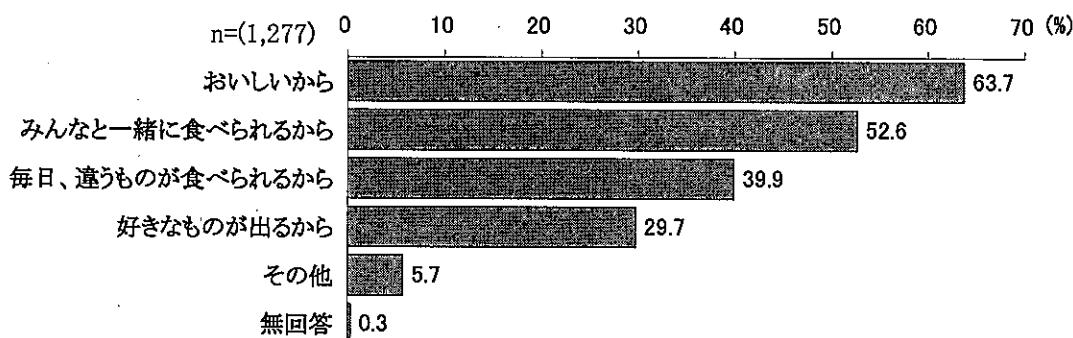
性／学年別

		調査数	とても好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない	給食を食べていない	(%) 無回答
小学校	4年生	男子	263	54.0	28.1	4.6	1.9	7.6 3.8
		女子	304	48.0	31.3	9.9	3.9	3.9 3.0
	6年生	男子	338	37.3	34.6	10.7	7.1	6.2 4.1
		女子	261	29.1	48.7	9.2	5.0	5.4 2.7
中学校	2年生	男子	389	15.4	39.1	21.1	10.0	10.5 3.9
		女子	286	12.9	42.7	25.2	9.1	9.1 1.0

性／学年別では、「とても好き」は小学校4年生男子が54.0%、女子48.0%と高く、6年生では男子37.3%、女子29.1%、中学校2年生男子15.4%、女子12.9%で、学年が上がるにつれて低くなっている。一方、「あまり好きではない」は中学校2年生女子25.2%、男子21.1%で2割を超えて高い。「好きではない」は中学校2年生男子10.0%、女子9.1%で高い。

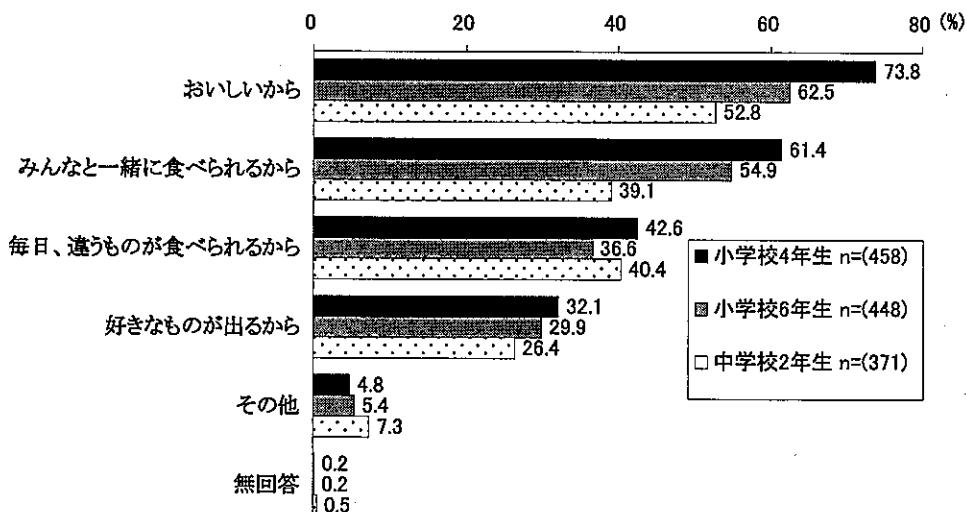
■給食が好きな理由

図表71



学年別

図表72



給食が好きな理由は、「おいしいから」が小学校4年生73.8%、6年生62.5%、中学校2年生52.8%と高い。次いで「みんなと一緒に食べられるから」が4年生61.4%、6年生54.9%、中学生39.1%となっている。「毎日、違うものが食べられるから」は4年生42.6%、中学生40.4%、6年生36.6%となっている。「好きなものが出るから」は4年生32.1%、6年生29.9%、中学生26.4%となっている。

図表73

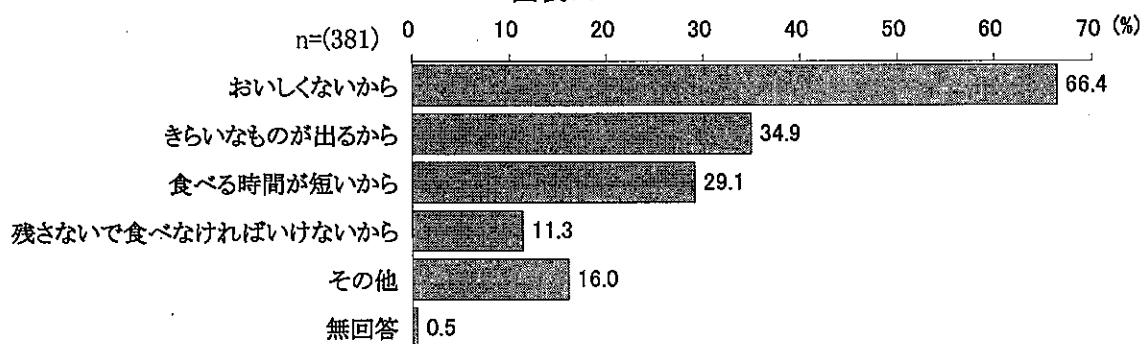
性／学年別

			調査数	(%)				
				おいしいから	好きなものが出来るから	毎日、違うものが食べられるから	みんなと一緒に食べられるから	その他
小学校	4年生	男子	216	79.6	38.0	44.4	54.2	4.6
		女子	241	68.9	26.6	41.1	68.0	5.0
	6年生	男子	243	66.7	32.1	36.2	52.3	3.7
		女子	203	57.1	27.1	36.9	58.6	7.4
中学校	2年生	男子	212	55.2	25.9	38.2	33.0	5.7
		女子	159	49.7	27.0	43.4	47.2	9.4

性／学年別では、「おいしいから」は4年生男子が79.6%で最も高く、次いで4年生女子68.9%、6年生男子66.7%、女子57.1%となっている。「みんなと一緒に食べられるから」は、4年生の女子68.0%が最も高く、中学校2年生男子の33.0%が最も低い。「毎日、違うものが食べられるから」は4年生の男女、中学校2年生女子が4割台前半、他の学年も3割台後半で学年による差は少ない。

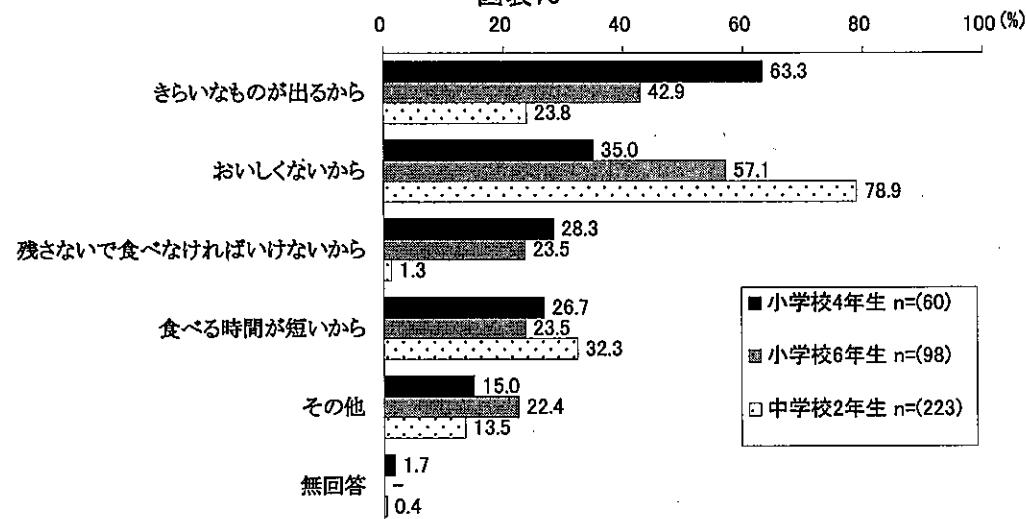
■給食が好きではない理由

図表74



学年別

図表75



給食が好きではない理由は、「おいしくないから」が中学校2年生78.9%と最も高く、小学校6年生57.1%、4年生35.0%となっている。次いで、「きらいなものが出来るから」は4年生63.3%、6年生42.9%、中学生23.8%、「食べる時間が短いから」は中学生32.3%、小学校4年生26.7%、6年生23.5%となっている。「残さないで食べなければいけないから」は4年生が28.3%、6年生23.5%、中学生はわずか1.3%である。

図表76

性／学年別

			調査数	おいしくないから	きらいなものが出来るから	残さないで食べなければいけないから	食べる時間が短いから	その他	(%) 無回答
小学校	4年生	男子	17	41.2	76.5	29.4	17.6	17.6	-
		女子	42	33.3	57.1	28.6	31.0	14.3	2.4
	6年生	男子	60	60.0	36.7	21.7	20.0	26.7	-
		女子	37	51.4	54.1	27.0	29.7	16.2	-
中学校	2年生	男子	121	84.3	20.7	0.8	26.4	15.7	-
		女子	98	71.4	28.6	2.0	40.8	10.2	1

性／学年別では、「おいしくないから」は中学校2年生の男子が84.3%と最も高く、次いで中学校女子の71.4%となっており、中学校と学年が上がるにつれて「おいしくない」の回答が増加している。「きらいなものが出来るから」「残さないで食べなければいけないから」は中学生と比較して小学生の割合が高い。「食べる時間が短いから」は中学生女子が40.8%と最も高くなっている。

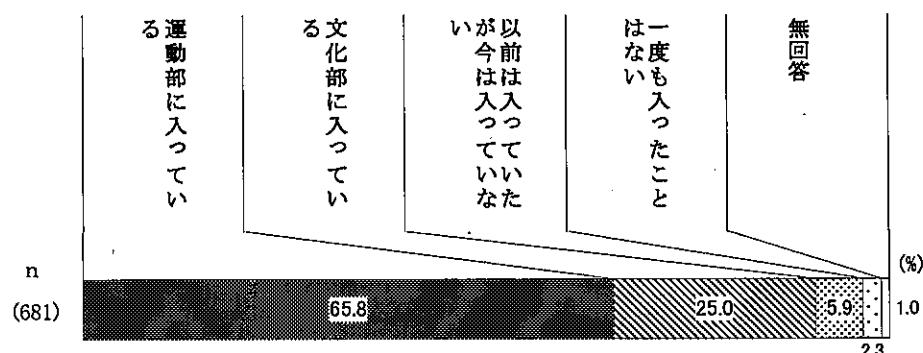
6. 部活動について

(1) 部活動の状況（中学校2年生のみ）

問22 あなたは部活動に入っていますか。（○は1つ）

問23 あなたが部活動に入っていない一番大きな理由は、何ですか。（○は1つ）

図表77



部活動については、「運動部に入っている」が65.8%で最も多く、次いで「文化部に入っている」が25.0%となっている。一方、「一度も入ったことはない」「以前は入っていたが今は入っていない」は8.2%である。

図表78

性別

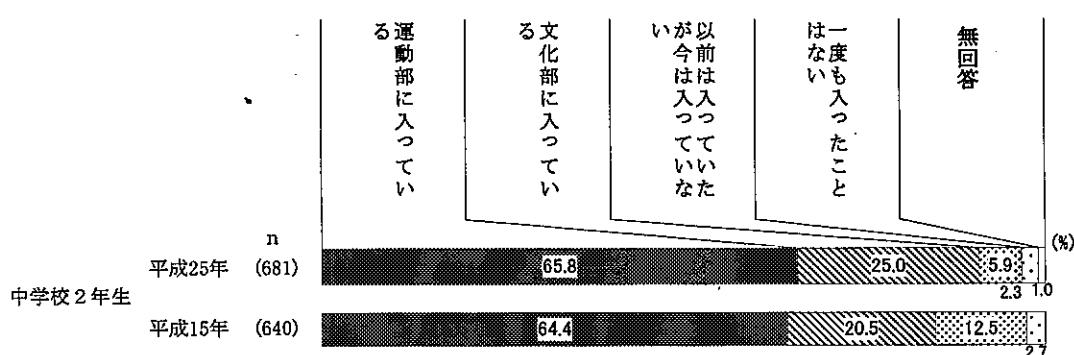
(%)

		調査数	運動部に入っている	文化部に入っている	以前は入っていたが今は入っていない	一度も入ったことはない	無回答
中学校	2年生	男子	389	75.1	15.4	5.4	3.1
		女子	286	53.1	38.5	6.6	1.4

性別では、「運動部に入っている」は男子75.1%、女子53.1%で男子が22.0ポイント高い。「文化部に入っている」は女子38.5%、男子15.4%で女子が23.1ポイント高い。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表79

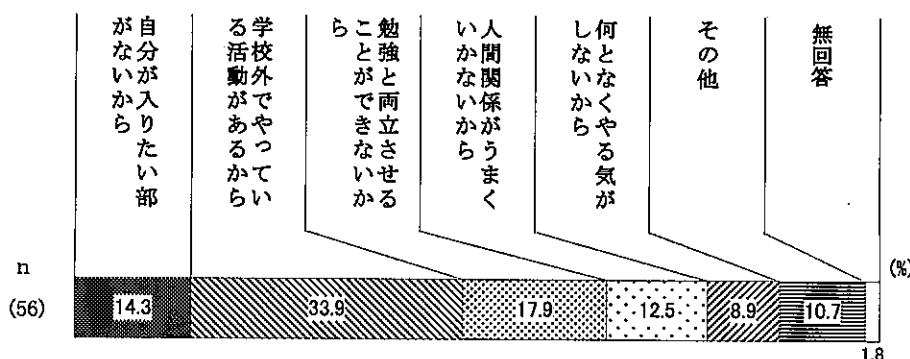


平成15年調査結果と比較すると、「文化部に入っている」は4.5ポイント増加し、「以前は入っていたが今は入っていない」は6.6ポイント減少している。

注：「文化部に入っている」は平成15年調査では「運動部以外の部に入っている」となっている。

■部活動に入っていない理由

図表80



部活動に入っていない理由は、「学校外でやっている活動があるから」が33.9%で最も多く、次いで「勉強と両立させることができないから」17.9%、「自分が入りたい部がないから」14.3%、「人間関係がうまくいかないから」12.5%となっている。「何となくやる気がしない」は8.9%である。

図表81

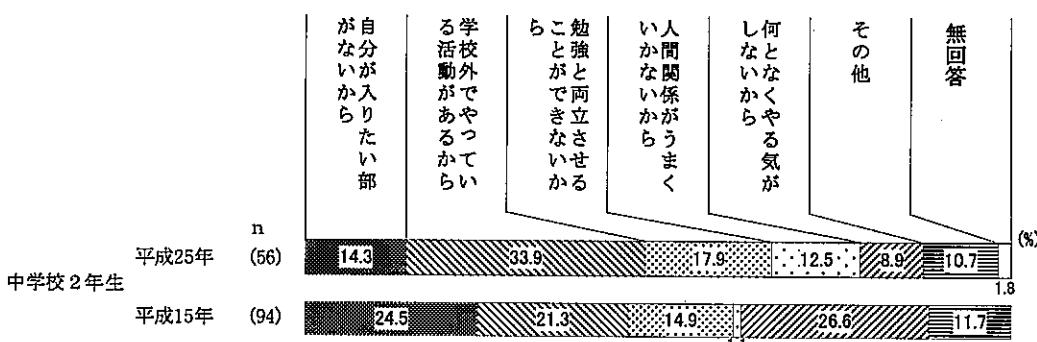
性別

		調査数	自分が入りたい部がないから	学校外でやっている活動があるから	勉強と両立させることができないから	人間関係がうまくいかないから	何となくやる気がしないから	その他	無回答
中学校	2年生	男子	33	15.2	36.4	12.1	12.1	9.1	3.0
		女子	23	13.0	30.4	26.1	13.0	4.3	13.0

性別では、「学校外でやっている活動があるから」は男子36.4%、女子30.4%で男女差は少ない。「勉強と両立させることができないから」は女子26.1%、男子12.1%で女子が14ポイント高い。また、「何となくやる気がしない」は男子12.1%、女子4.3%で7.8ポイント男子が高くなっている。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表82



平成15年調査結果と比較すると、「学校外でやっている活動があるから」が12.6ポイント増加し、一方「何となくやる気がしない」は17.7ポイント減少している。

注：「学校外でやっている活動があるから」は平成15年調査では「個人的にやっていることがある」、「何となくやる気がしない」は「やる気がしない」となっている。

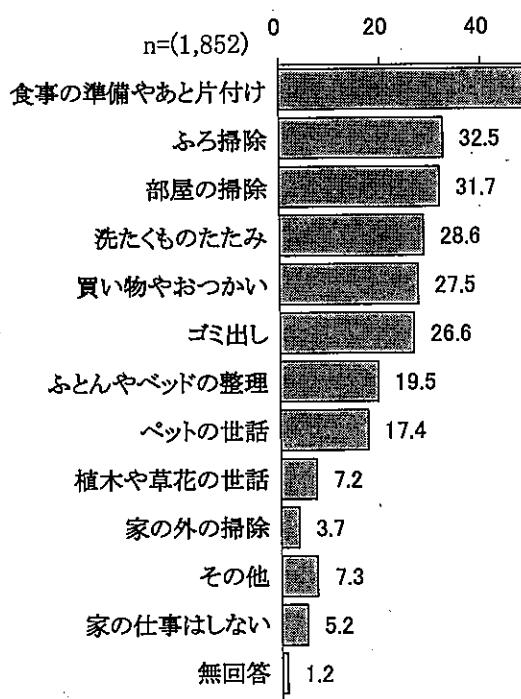
7. 家庭等での過ごし方について

(1) 普段よくする家の仕事

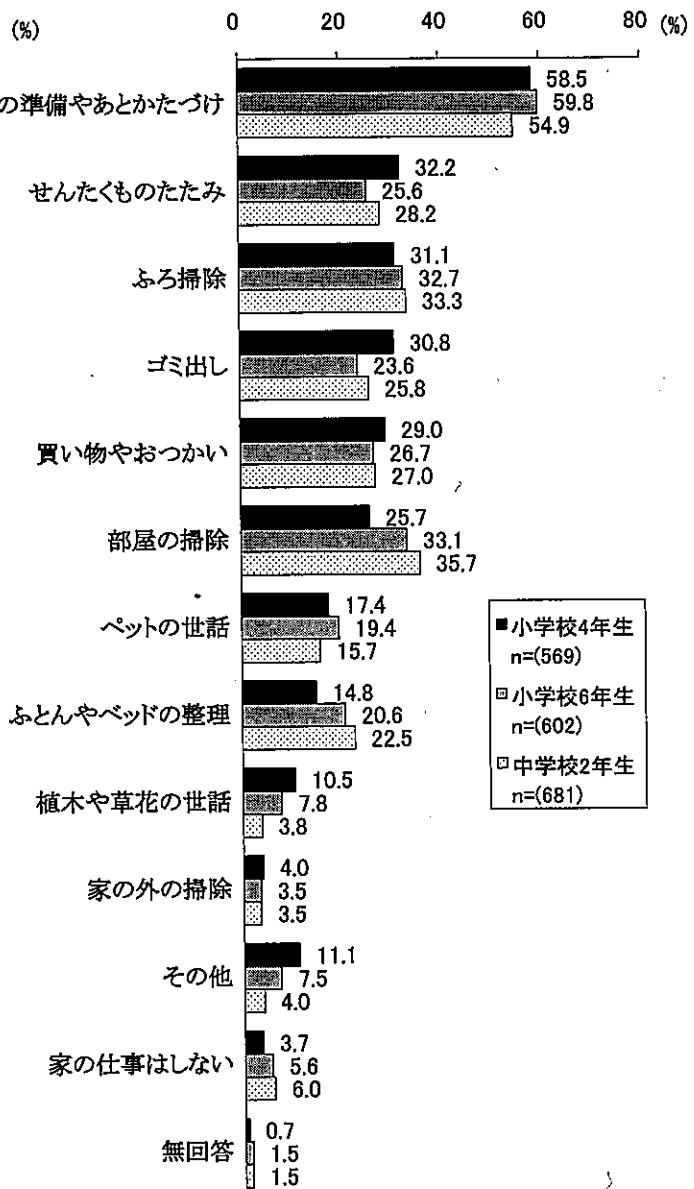
問23 あなたが家でふだんよくする家の仕事は、何ですか。(○は4つまで)

【学年別】

図表83



図表84



ふだんよくする家の仕事については、「食事の準備やあとかたづけ」が小学校6年生59.8%、4年生58.5%、中学校2年生54.9%、「ふろ掃除」は中学生33.3%、6年生32.7%、4年生31.1%で差はない。「部屋の掃除」は中学生35.7%、6年生33.1%、4年生25.7%となっている。「せんたくものたたみ」、「ゴミ出し」は4年生が高くなっている。一方、「家の仕事はしない」は中学生6.0%、6年生5.6%、4年生3.7%と低い。

図表85

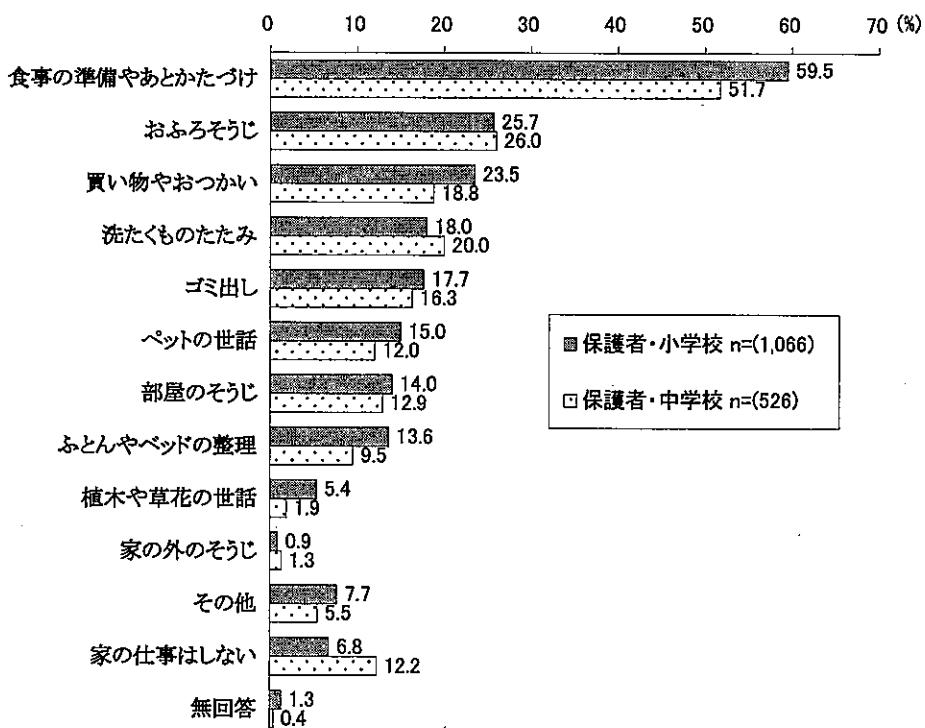
性／学年別

			調査数	食事の準備やあと片付け	買い物やおつかい	ペットの世話	植木や草花の世話	部屋の掃除	ふろ掃除	家の外の掃除	(%)
小学校	4年生	男子	263	50.2	27.0	15.6	7.6	22.1	34.6	4.2	
		女子	304	65.8	30.6	18.8	12.8	28.9	28.0	3.9	
	6年生	男子	338	53.0	27.2	17.5	6.2	27.5	36.1	3.6	
		女子	261	68.6	26.4	22.2	9.2	39.8	28.4	3.4	
中学校	2年生	男子	389	50.6	27.0	12.6	4.6	33.2	34.2	4.9	
		女子	286	61.2	26.9	19.9	2.8	39.5	32.5	1.7	
			調査数	ふとんやベッドの整理	洗たくものたたみ	ゴミ出し	その他	家の仕事はしない	無回答		
小学校	4年生	男子	263	15.6	20.9	36.5	12.2	4.6	1.1		
		女子	304	14.1	42.1	25.7	10.2	3.0	0.3		
	6年生	男子	338	20.1	21.0	28.1	6.5	6.8	2.4		
		女子	261	21.5	31.4	17.2	8.8	4.2	0.4		
中学校	2年生	男子	389	22.9	20.3	25.4	3.9	8.0	1.5		
		女子	286	22.0	38.8	26.9	3.8	3.5	0.7		

性／学年別では、「食事の準備やあとかたづけ」は学年を問わず最もよくしている家の仕事であるが、性別でみるとすべての学年で女子の割合が10ポイント以上男子より高くなっている。「ふろ掃除」はすべての学年、男女で大きな差はない。「部屋の掃除」「ふとんやベッドの整理」は学年が上の方が高くなっている。「植木や草花の世話」は4年生女子が12.8%で最も高く、中学生は男子4.6%、女子2.8%と低い。

【参考】保護者調査の結果

図表86



保護者調査では、「食事の準備やあとかたづけ」は子どもの結果と同程度となっているが、その他の項目は子どもの結果よりも低くなっている。

第2章 調査結果の詳細

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表87

		全 体	食事の準備や片づけ	買い物やその他のおつかい	ペットの世話	植木や草花の世話	ふろ場の掃除	ふとんやベッドの整理	家の内外の掃除	洗たく物干し、取り込み	ゴミの分別、運び出し
小学校	4年生	459	49.5	38.6	20.3	6.8	36.4	22.9	12.2	20.9	32.2
	6年生	468	59.2	38.9	20.9	5.3	42.5	25.9	14.3	25.0	32.5
	中学校 2年生	609	55.3	34.0	20.5	4.8	39.6	24.8	11.7	30.2	21.3
		全 体	その他								
小学校	4年生	459	15.7								
	6年生	468	10.7								
	中学校 2年生	609	7.4								

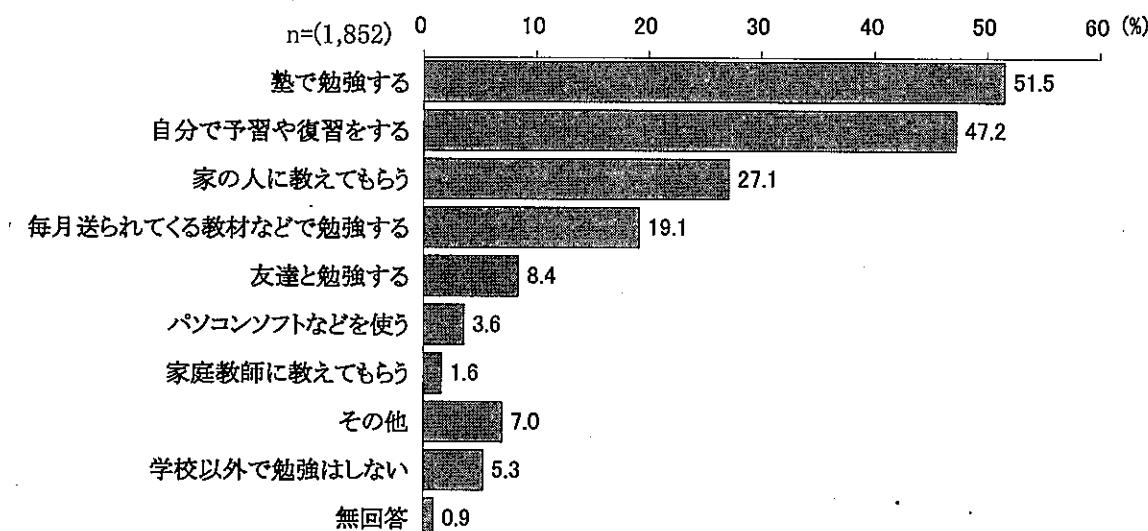
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、すべての学年で「買い物や（その他の）おつかい」が減少している。
小学校4年生では、「食事の準備やあとかたづけ」が増加している。

(2) 下校後の勉強について

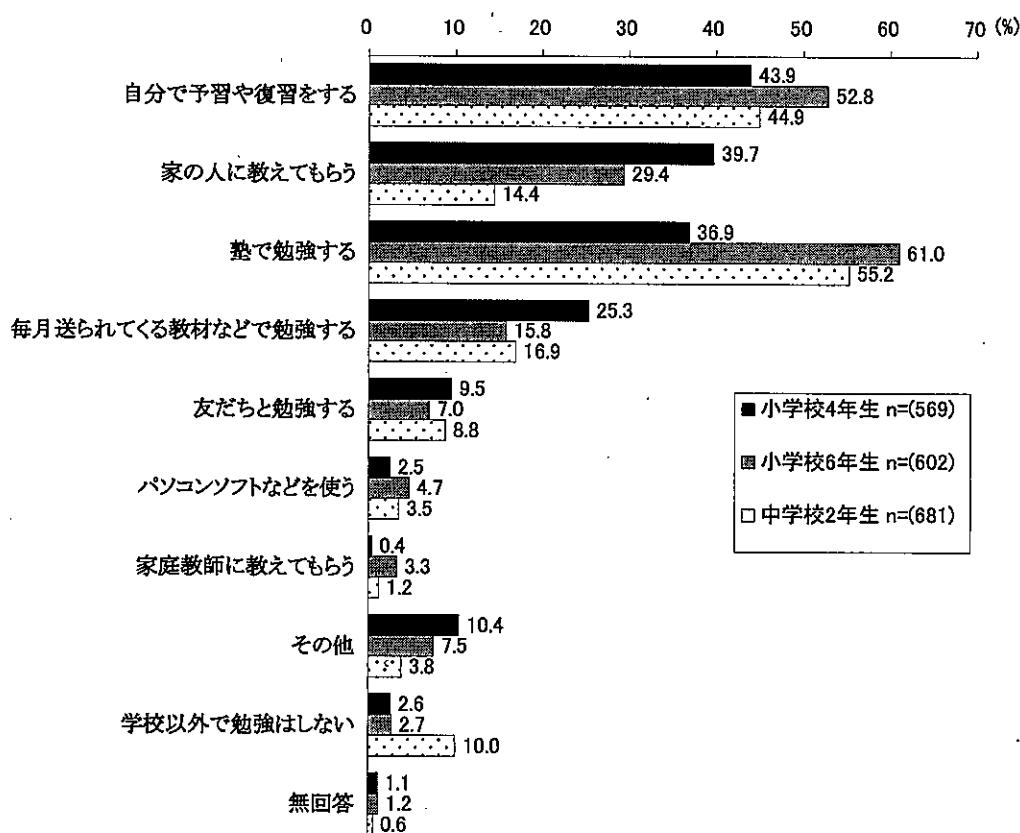
問24 学校から帰ってからの勉強は、どのようにしますか。(○は3つまで)

図表88



学年別

図表89



学校から帰ってからの勉強については、「塾で勉強する」が小学校6年生61.0%で最も高く、中学校2年生55.2%、4年生36.9%となっている。「自分で予習や復習をする」は6年生52.8%、中学生44.9%、4年生43.9%と4年生では最も高い。「家の人に教えてもらう」「毎月送られてくる教材などで勉強する」は小学校4年生で他の学年と比較して高い。「学校以外で勉強はしない」は中学校2年生が10.0%で最も高く、小学校6年生2.7%、4年生2.6%となっている。

図表90

性／学年別

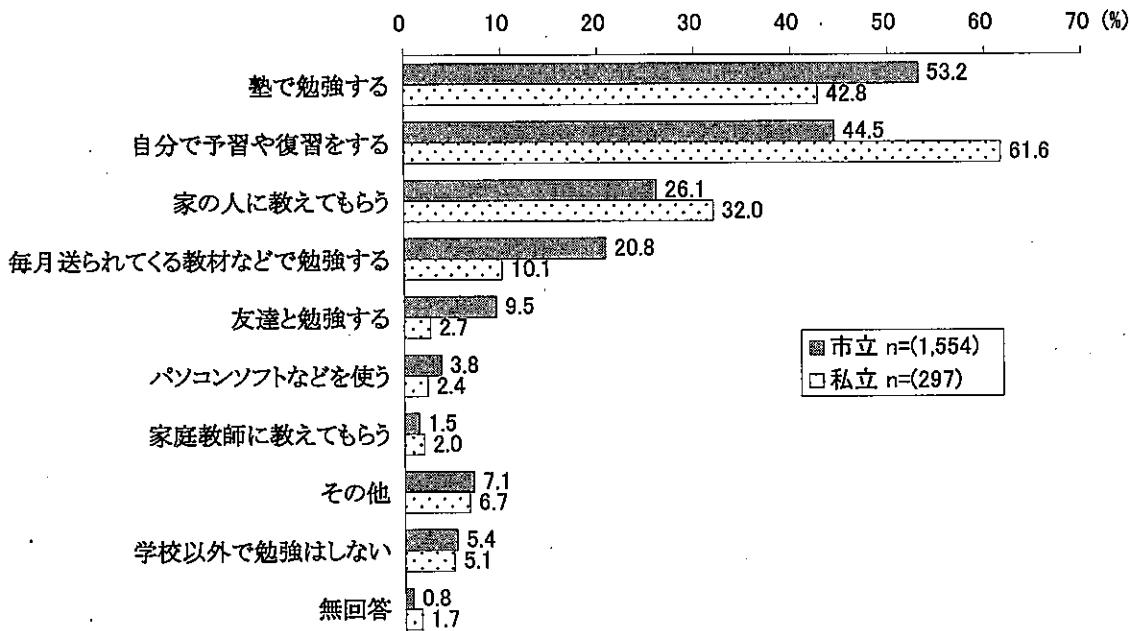
(%)

			調査数	自分で予習や復習をする	塾で勉強する	家庭教師に教えてもらう	毎月送られてくる教材などで勉強する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	パソコンソフトなどを使う	その他	学校以外で勉強はしない	無回答
小学校	4年生	男子	263	42.2	40.3	0.4	22.4	35.0	4.6	2.7	11.0	3.4	1.5
		女子	304	45.7	33.6	0.3	28.0	44.1	13.8	2.3	9.5	2.0	0.7
	6年生	男子	338	47.3	62.7	4.4	14.8	24.0	3.0	4.7	8.0	3.6	1.8
		女子	261	59.8	58.6	1.9	16.9	36.4	12.3	4.6	6.9	1.5	0.4
中学校	2年生	男子	389	46.3	57.3	1.3	13.4	12.6	6.9	2.6	3.3	11.3	0.5
		女子	286	43.4	52.8	1.0	22.0	16.8	11.5	4.9	4.5	8.0	-

性／学年別では、「塾で勉強する」は6年生男子62.7%が最も高く、次いで6年生女子58.6%、中学校2年生男子57.3%、女子52.8%、小学校4年生男子40.3%、女子33.6%となっており、小学校6年生が高い割合となっている。「自分で予習や復習をする」は6年生女子が59.8%で最も高く、他の学年は4割台前半から後半となっている。「家の人に教えてもらう」は小学校4年生女子が44.1%と最も高く、次いで6年生の女子36.4%、4年生の男子35.0%となっており、中学生では1割台と低くなっている。「毎月送られてくる教材などで勉強する」は4年生の男女、中学生女子で2割台前半から後半で、他の学年では1割台に止まっている。「学校以外で勉強しない」は中学生男子が11.3%で最も高く、女子が8.0%となっている。

公立／私立別

図表91



公立／私立別では、「塾で勉強する」「毎月送られてくる教材などで勉強する」は市立の方が10ポイント以上高く、「自分で予習や復習をする」は私立の方が17.1ポイント高い。「家の人に教えてもらう」も私立の方が5.9ポイント高くなっている。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表92
(%)

		自分で 予習や 復習を する	塾で勉 強する	家庭教 師に教 えてもら う	毎月送ら れてくる 教材で 勉強する	家の人に 教えて もらう	友達と勉 強する	その他
小学校	4年生	37.8	35.6	2.2	22.4	40.0	8.0	12.2
	6年生	53.1	35.0	2.3	25.6	31.3	7.2	11.5
中学校	2年生	37.5	68.8	5.6	10.7	17.3	6.4	9.9

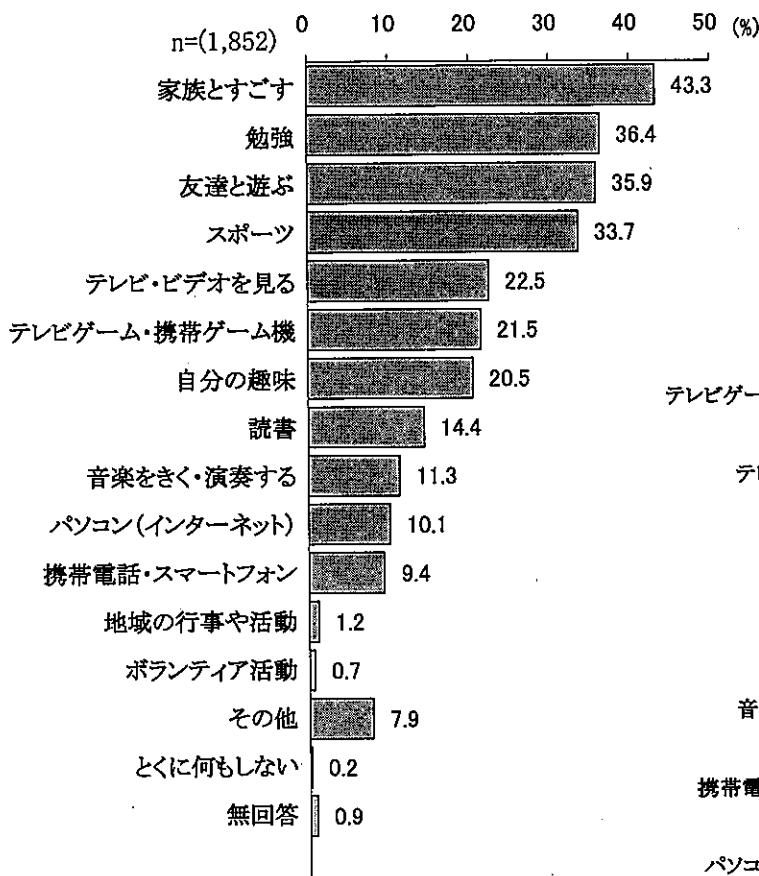
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、小学校6年生と中学校2年生で「塾で勉強する」が大きく増加している。一方で、小学校6年生では「毎月送られてくる教材などで勉強する」が大きく減少している。中学校2年生では「自分で予習や復習をする」も増加している。

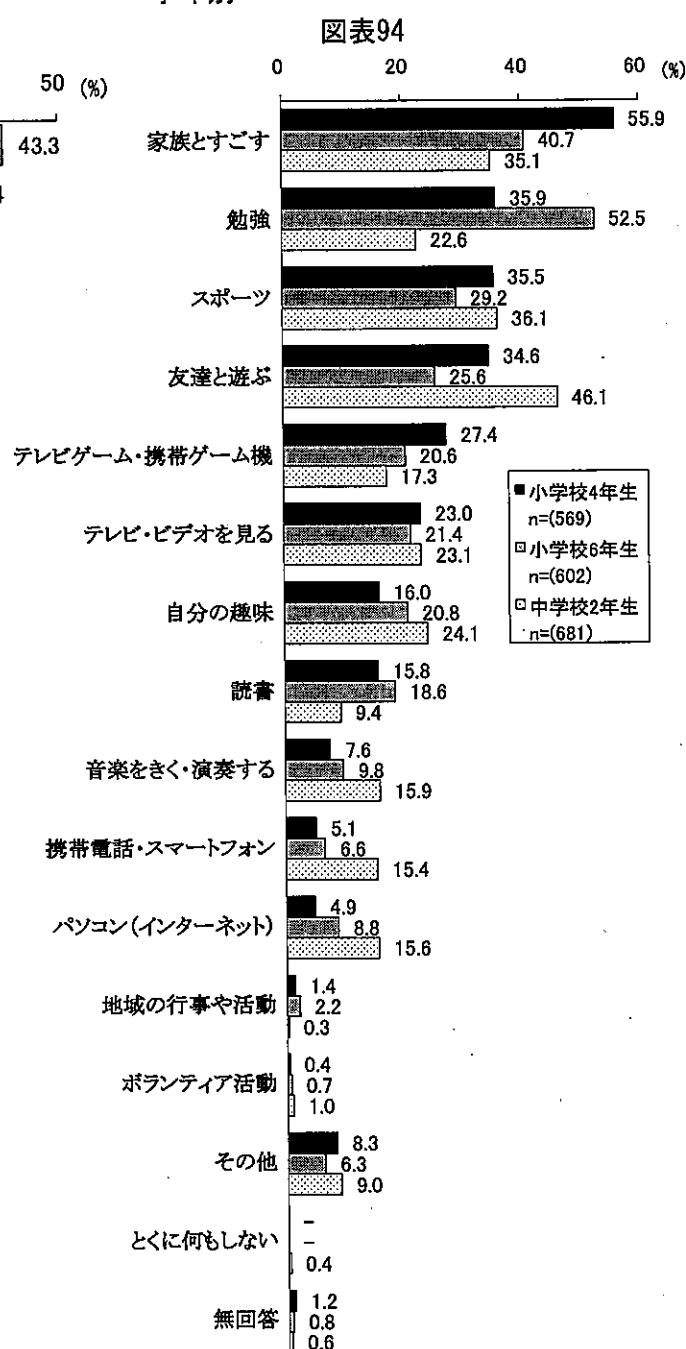
(3) 土曜日や日曜日の過ごし方

問25 あなたは、土曜日や日曜日にはどんなことをして過ごしていますか。(○は3つまで)

図表93



学年別



土曜日や日曜日の過ごし方は、「家族とすごす」が小学校4年生55.9%、6年生40.7%、中学校2年生35.1%で、学年が上がるにつれて割合は減少している。「勉強」は6年生が52.5%で最も高く、次いで4年生35.9%、中学生22.6%となっている。「友達と遊ぶ」は中学生が46.1%で最も高く、4年生34.6%、6年生25.6%である。「スポーツ」は中学生36.1%、4年生35.5%、6年生29.2%である。「自分の趣味」、「パソコン(インターネット)」、「携帯電話・スマートフォン」は中学生がそれぞれ24.1%、15.6%、15.4%と高い。「テレビゲーム・携帯ゲーム機」は4年生が27.4%で最も高く、学年が上がるにつれて減少し、中学生は17.3%である。

図表95

性／学年別

			調査数	家族とすごす	友達と遊ぶ	勉強	スポーツ	読書	音楽を聞く・演奏する	自分の趣味	テレビ・ビデオを見る	パソコン(インターネット)	(%)
小学校	4年生	男子	263	47.1	36.1	35.4	49.0	11.0	1.9	15.6	22.8	7.2	
		女子	304	63.2	33.2	35.9	24.0	20.1	12.5	16.4	23.4	3.0	
	6年生	男子	338	35.8	26.0	53.0	37.3	10.7	5.3	17.5	24.6	9.2	
		女子	261	47.1	25.3	52.1	18.8	28.4	15.3	24.9	17.6	8.4	
中学校	2年生	男子	389	30.6	45.0	23.4	41.6	5.9	10.0	22.9	19.8	16.2	
		女子	286	42.0	48.3	21.7	28.3	14.3	24.1	26.2	27.6	14.3	
			携帯電話・スマートフォン	テレビゲーム・携帯ゲーム	地域の行事や活動	ボランティア活動	その他	とくに何もしない	無回答				
小学校	4年生	男子	4.6	36.1	1.9	0.4	4.2	-	-	1.9			
		女子	5.6	19.7	1.0	0.3	11.8	-	-	0.7			
	6年生	男子	4.4	27.8	0.6	0.6	4.4	-	-	1.5			
		女子	9.6	11.1	4.2	0.8	8.8	-	-	-			
中学校	2年生	男子	14.4	27.5	0.5	1.0	5.9	0.8	0.8	0.5			
		女子	16.8	3.5	-	1.0	13.3	-	-	-			

性／学年別では、「家族とすごす」は4年生の女子が63.2%で最も高く、学年を問わず男子と比較して女子の割合が高い。「勉強」は6年生の男女が50%を超えて高いが、4年生では3割台半ば、中学生は2割台前半と低い。「友達と遊ぶ」は中学校女子48.3%、男子45.0%と他の学年に比較して高い。「スポーツ」は、4年生男子が49.0%で最も高く、すべての学年で女子より男子の割合が高い。「パソコン(インターネット)」、「携帯電話・スマートフォン」は小学生が1割未満に対し、中学校男女の割合が高く1割台半ばから1割台後半となっている。「地域の行事や活動」、「ボランティア活動」はすべての学年で1割未満と低い。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表96

(%)

		友達と遊ぶ	勉強	スポーツ	読書	自分の趣味	テレビ・ビデオ	パソコン	テレビゲーム	地域の行事や活動	ボランティア活動	
小学校	4年生	41.9	31.7	33.8	14.1	19.5	25.8	11.9	37.1	1.3	0.4	
	6年生	56.1	20.4	32.1	15.8	29.8	26.1	15.8	32.6	2.1	1.5	
	中学校	56.3	21.2	26.0	6.9	26.6	21.3	12.4	24.9	0.5	0.9	
小学校	睡眠・休養	家の手伝い	部活動(中学生のみ)	その他								
	4年生	15.0	15.6	-	11.9							
	6年生	29.4	11.3	-	8.2							
中学校	2年生	50.5	4.1	31.2	3.8							

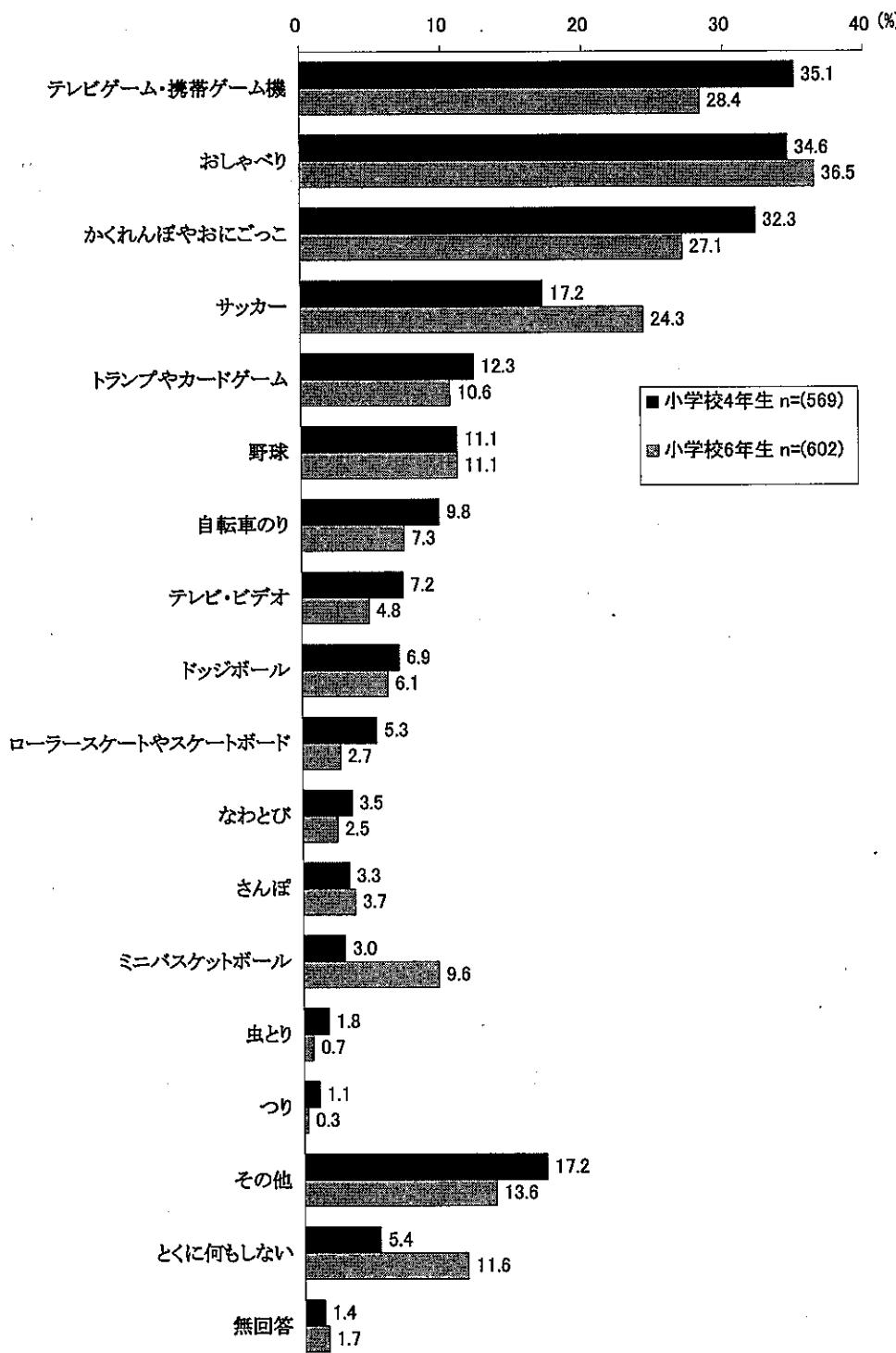
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、小学校6年生で「勉強」が2倍以上と大きく増加している。「友達と遊ぶ」と「テレビゲーム(・携帯ゲーム機)」はすべての学年で減少しており、特に小学校6年生で減少の幅が大きい。中学校2年生では「スポーツ」が増加している。

(4) 放課後や休日に友だちとする遊び（小学校4・6年生のみ）

問26 放課後や休日に、友だちといっしょによくする遊びは、何ですか。（○は3つまで）

図表97



放課後や休日に友だちとする遊びについては、「おしゃべり」が6年生36.5%、4年生34.6%で最も高く、「テレビゲーム・携帯ゲーム機」が4年生35.1%、6年生28.4%、「サッカー」が6年生24.3%、4年生17.2%となっている。「とくに何もしない」は6年生11.6%、4年生5.4%である。

図表98

性／学年別

			調査数	野球	サッカー	ミニバス ケット ボール	ドッジ ボール	なわとび	自転車 のり	つり	虫とり	さんぽ	(%)
小学校	4年生	男子	263	22.1	31.2	1.9	9.5	0.8	9.5	2.3	2.3	2.3	
		女子	304	1.6	4.9	3.9	4.6	5.9	10.2	-	1.3	4.3	
	6年生	男子	338	19.2	38.8	11.8	5.9	0.6	7.4	0.3	0.9	2.4	
		女子	261	0.8	5.4	6.9	6.5	5.0	7.3	0.4	0.4	5.4	
			調査数	おしゃべり	かくれんぼやおにごっこ	ローラースケートやスケートボード	テレビゲーム・携帯ゲーム機	トランプやカードゲーム	テレビ・ビデオ	その他	とくに何もしない	無回答	
小学校	4年生	男子	263	17.5	25.5	3.0	44.1	14.4	8.0	14.4	5.3	0.8	
		女子	304	49.7	38.5	7.2	27.0	10.5	6.3	19.7	5.6	2.0	
	6年生	男子	338	14.5	19.5	0.9	34.3	9.8	6.8	12.1	12.1	1.8	
		女子	261	64.8	36.8	5.0	20.3	11.1	2.3	15.7	11.1	1.5	

性／学年別では、「おしゃべり」は6年生女子64.8%、4年生女子49.7%と高く、男子は4年生、6年生とも1割台である。「かくれんぼやおにごっこ」も同様に女子の割合が高く、4年生女子38.5%、6年生女子36.8%で4年生男子25.5%、6年生男子19.5%を上回っている。逆に「サッカー」「野球」は男子の割合が高く、6年生男子では「サッカー」は38.8%、4年生男子31.2%、「野球」は4年生男子22.1%、6年生男子19.2%となっている。「テレビゲーム・携帯ゲーム機」は、4年生男子44.1%で最も高く、次いで6年生男子34.3%、4年生女子27.0%、6年生女子20.3%である。「とくに何もしない」は6年生男子12.1%、女子11.1%で4年生女子5.6%、男子5.3%に比較して約2倍となっている。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表99

		野球	サッカー	ドッジ ボール	なわとび	自転車 のり	つり	虫とり	散歩	おしゃべり	かくれん ぼやお にごっこ	(%)
小学校	4年生	12.6	31.2	9.8	8.1	18.8	0.4	3.0	6.0	36.3	32.1	
	6年生	12.0	23.6	9.7	5.7	23.4	0.6	1.5	7.2	49.6	19.2	
全 体		スケート ボード	コン ピュー ターゲー ム	トランプ やカード	ビデオ	お絵かき	その他					
小学校	4年生	468	1.9	34.6	16.5	11.3	12.4	31.4				
	6年生	474	0.8	40.5	19.6	9.5	11.2	38.2				

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

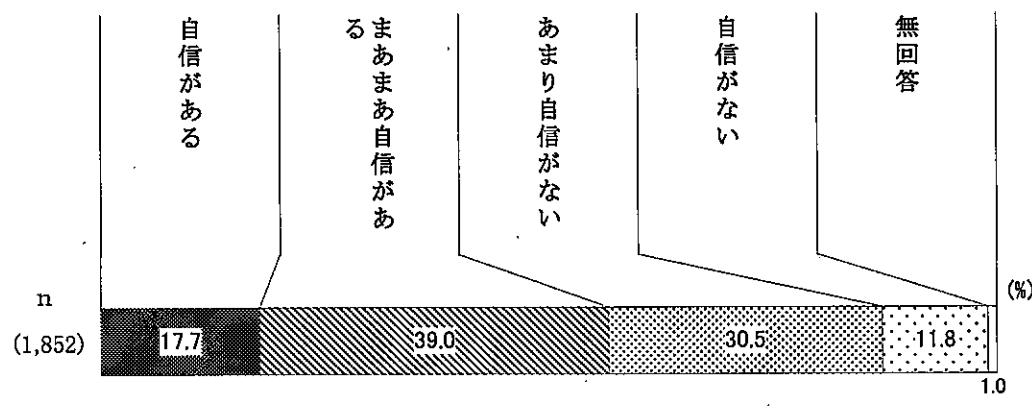
平成15年調査と比較すると、「トランプやカードゲーム」「テレビ（ビデオ）」「なわとび」は小学校4年生、6年生ともに減少している。6年生では「おしゃべり」は大きく減少し、「かくれんぼやおにごっこ」は増加している。4年生では「サッカー」が大きく減少している。

8. 体や心について

(1) 体力の自信について

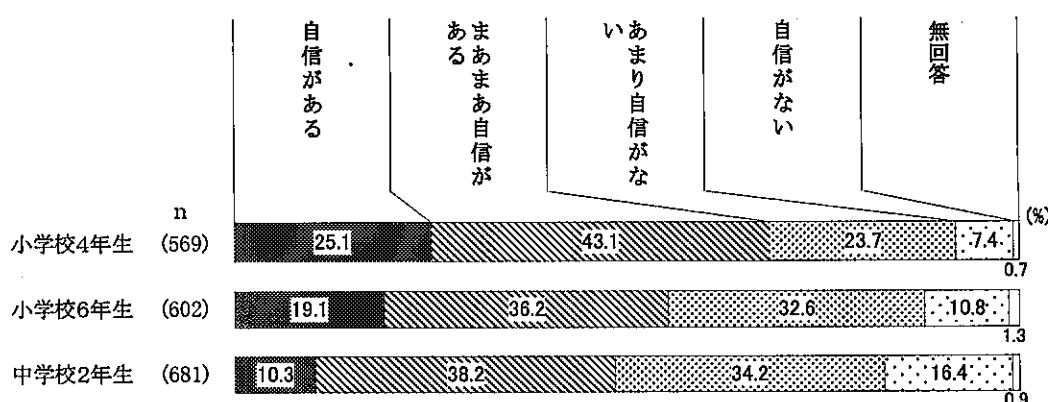
問27 あなたは、自分の体力に自信がありますか。(○は1つ)

図表100



学年別

図表101



体力の自信については、「自信がある」「まあまあ自信がある」は小学校4年生では68.2%、6年生55.3%、中学校2年生48.5%で学年が上がるにつれて減少している。一方、「自信がない」「あまり自信がない」は4年生31.1%、6年生43.4%、中学生50.6%で成長に伴い増加している。

図表102

性／学年別

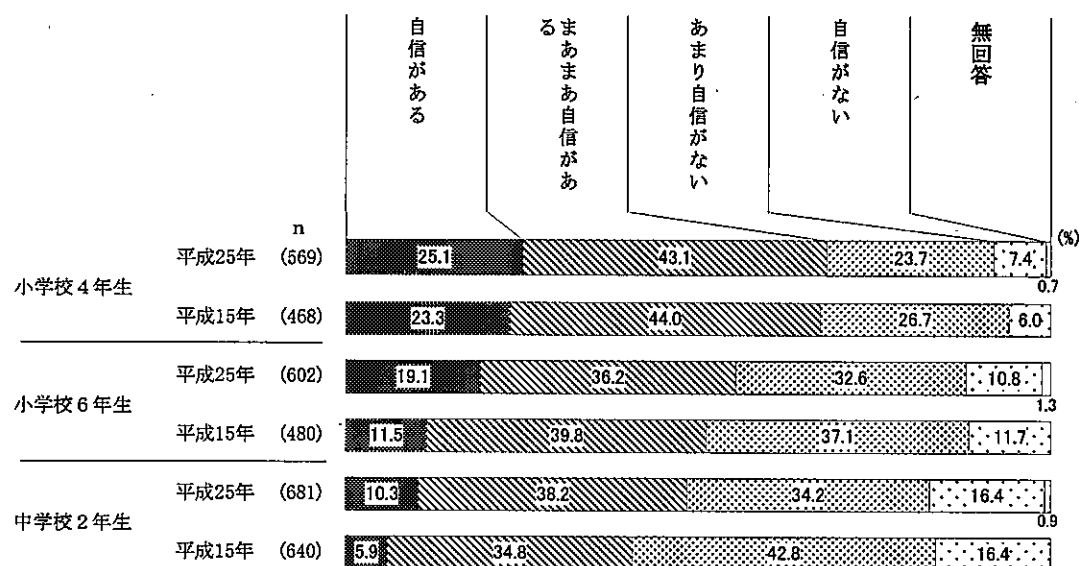
(%)

		調査数	自信がある	まあまあ自信がある	あまり自信がない	自信がない	無回答
小学校	4年生	男子	263	31.9	41.1	21.3	5.3
		女子	304	19.4	44.7	26.0	9.2
	6年生	男子	338	23.4	37.3	26.6	10.9
		女子	261	13.4	34.5	40.6	10.7
中学校	2年生	男子	389	12.6	38.6	33.4	14.7
		女子	286	7.0	38.5	35.0	19.2

性／学年別では、「自信がある」は小学校4年生男子が31.9%で最も高く、次いで6年生男子23.4%で、すべての学年で男子の割合が女子より高くなっている。特に中学校2年生女子は7.0%と低い。「まあまあ自信がある」は小学校4年生の男女で40%台と高い。「自信がない」は中学校2年生女子19.2%が高い割合となっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表103

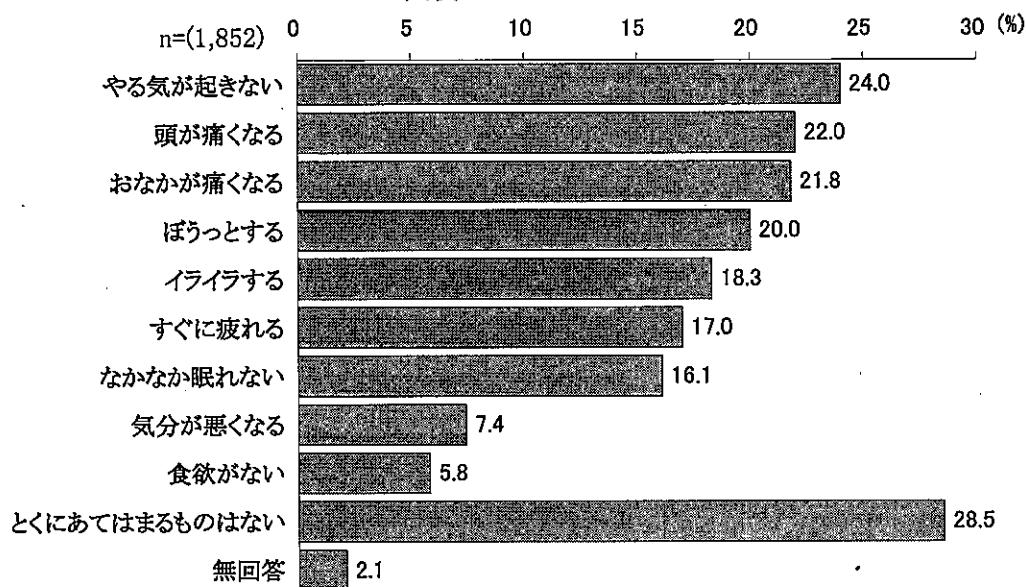


平成15年調査結果と比較すると、「自信がある」は小学校6年生が7.6ポイント増加している。「まあまあ自信がある」は中学校2年生で3.4ポイント増加しているが、他の学年はわずかに減少している。「あまり自信がない」は中学校2年生で8.6ポイント減少している。

(2) よくある症状について

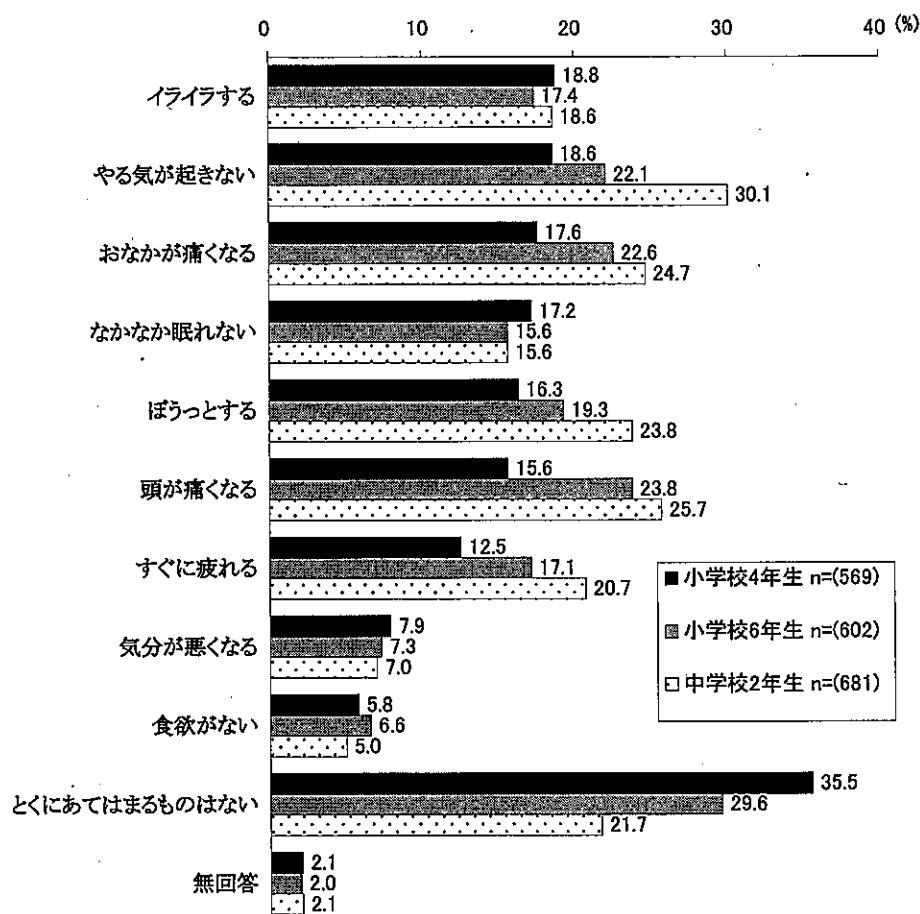
問28 あなたは、次のようなことがよくありますか。(○は3つまで)

図表104



学年別

図表105



よくある症状としては、「やる気が起きない」が中学校2年生30.1%で高く、6年生22.1%、4年生18.6%となっている。「頭が痛くなる」は中学生25.7%、6年生23.8%、4年生15.6%、「おなかが痛くなる」は中学生24.7%、6年生22.6%、4年生17.6%、「ぼうっとする」は中学生23.8%、6年生19.3%、4年生16.3%、「すぐに疲れる」は中学生20.7%、6年生17.1%、4年生12.5%といずれも学年が上がるにつれて割合が高くなっている。「とくにあてはまるものはない」は4年生35.5%、6年生29.6%、中学生21.7%と学年が上がるにつれて減少している。

図表106

性／学年別

			調査数	頭が痛くなる	おなかが痛くなる	気分が悪くなる	すぐに疲れる	やる気が起きない	食欲がない	なかなか眠れない	ぼうっとする	イライラする	(%)
小学校	4年生	男子	263	16.3	15.2	5.7	9.9	21.3	4.9	17.1	20.5	18.3	
		女子	304	14.8	19.1	9.5	14.5	16.4	6.6	17.1	12.8	19.4	
	6年生	男子	338	18.6	19.2	6.8	15.1	23.1	7.7	15.7	20.4	17.2	
		女子	261	30.7	26.8	7.7	19.9	20.7	5.4	15.3	18.0	17.6	
中学校	2年生	男子	389	24.7	23.7	7.7	19.3	30.1	4.4	17.2	24.9	14.4	
		女子	286	27.3	26.2	6.3	23.1	30.4	5.6	12.9	22.4	24.5	
			調査数	とくにあてはまるものはない	無回答								
小学校	4年生	男子	263	35.7	2.3								
		女子	304	35.5	2.0								
	6年生	男子	338	30.5	2.7								
		女子	261	28.4	1.1								
中学校	2年生	男子	389	22.9	2.6								
		女子	286	20.6	0.3								

性／学年別では、「やる気が起きない」は中学生の女子30.4%、男子30.1%で他の学年に比較して高い。「頭が痛くなる」は6年生女子30.7%が最も高く、「おなかが痛くなる」は6年生女子26.8%、中学校女子26.2%、男子23.7%となっている。「すぐに疲れる」「イライラする」は中学校女子の割合が高く、それぞれ23.1%、24.5%となっている。「ぼうっとする」は中学校男子24.9%、女子22.4%、4年生男子20.5%、6年生男子20.4%となっている。「なかなか眠れない」は中学校男子17.2%、4年生男女が17.1%で高い。「とくにあてはまるものはない」は4年生の男女、6年生男子が30%を超えて高くなっている。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表107

		頭が重い・ぼうっとする	下痢をする	つかれる	やる気が起きない	食欲がない	夜、なかなか眠れない	イライラする	肩がこる	その他	(%)
小学校	4年生	20.9	3.5	43.1	21.9	6.5	34.5	33.0	18.9	13.1	
	6年生	25.3	3.1	52.8	32.0	6.3	23.1	34.2	34.0	9.6	
	中学校 2年生	28.2	3.9	60.0	47.3	4.6	21.0	31.7	27.3	6.3	

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

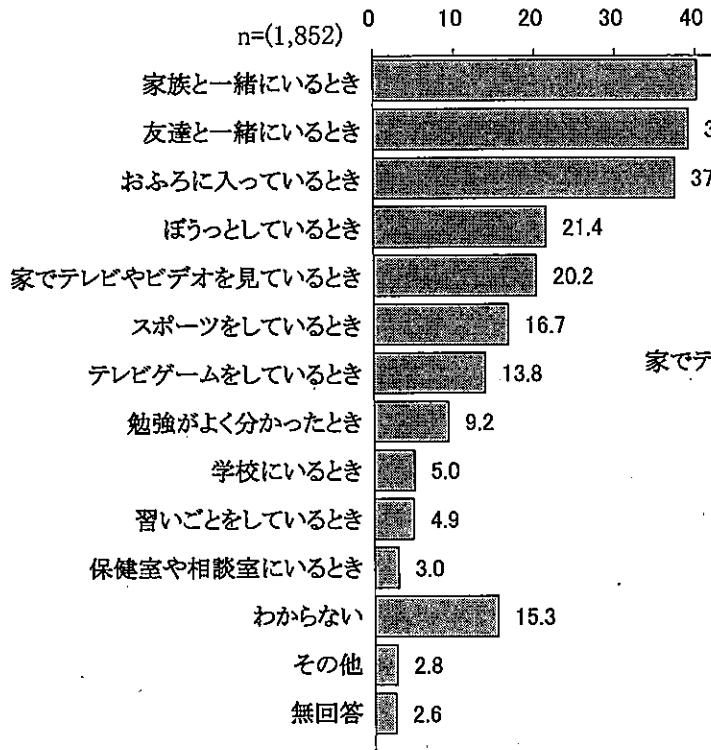
平成15年調査と比較すると、前回と同じ選択肢である「イライラする」「やる気が起きない」「なかなか眠れない」「すぐに疲れる」はすべての学年で減少している。

(3) 心が休まるとき

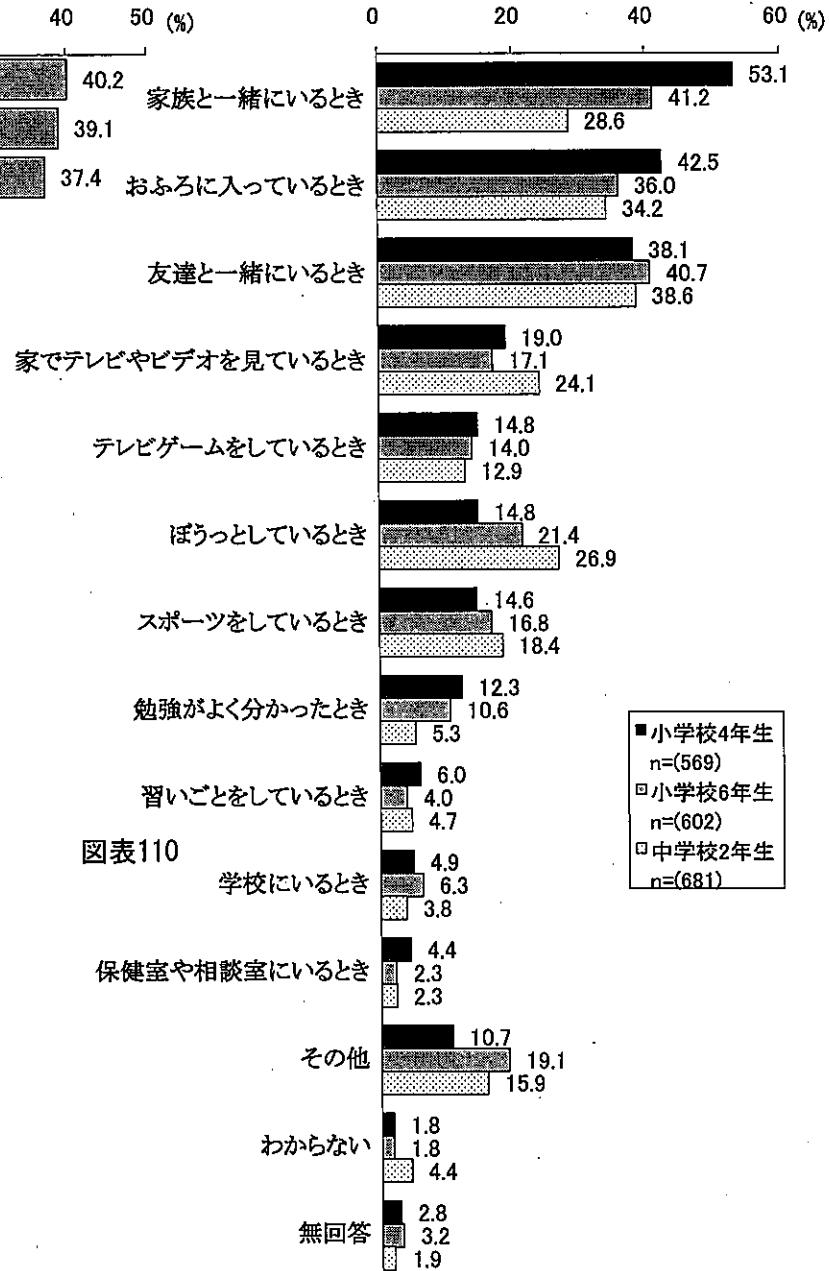
問29 あなたの心がとても休まるのは、どんなときですか。(○は3つまで)

学年別

図表108



図表109



図表110

心が休まるときについては、「家族と一緒にいるとき」が小学校4年生53.1%、6年生41.2%、中学校2年生28.6%で学年が上がるにつれて減少している。「友達と一緒にいるとき」は6年生40.7%、中学生38.6%、4年生38.1%でほぼ同じ割合である。「おふろに入っているとき」は4年生42.5%、6年生36.0%、中学生34.2%となっている。「ぼうっとしているとき」「家でテレビやビデオを見ているとき」「スポーツをしているとき」は中学生の割合が高くなっている。

図表111

性／学年別

			調査数	家族と一緒にいるとき	友達と一緒にいるとき	学校にいるとき	保健室や相談室にいるとき	スポーツをしているとき	習いごとをしているとき	家でテレビやビデオを見ているとき	テレビゲームをしているとき	ぼうっとしているとき	(%)
小学校	4年生	男子	263	44.9	32.7	4.9	2.3	18.6	2.7	20.2	20.5	17.5	
		女子	304	60.5	43.1	4.6	6.3	10.9	8.9	17.8	9.9	12.5	
	6年生	男子	338	36.1	31.1	5.3	0.3	22.2	3.0	18.3	19.5	19.5	
		女子	261	47.1	53.3	7.7	5.0	9.6	5.0	14.9	6.9	24.1	
中学校	2年生	男子	389	23.4	33.4	4.4	1.5	21.3	2.6	21.6	19.5	26.0	
		女子	286	36.4	46.2	3.1	3.5	14.3	7.7	28.0	4.2	28.7	
			調査数	おふろに入っているとき	勉強がよく分かったとき	その他	わからな い	無回答					
小学校	4年生	男子	263	42.2	12.9	11.0	1.9	3.0					
		女子	304	43.1	11.8	10.5	1.6	2.3					
	6年生	男子	338	35.5	11.5	17.5	3.0	4.4					
		女子	261	36.8	9.6	21.5	0.4	1.5					
中学校	2年生	男子	389	35.2	4.6	12.1	5.4	2.8					
		女子	286	32.9	6.3	20.6	3.1	-					

性／学年別では、「家族と一緒にいるとき」は4年生女子60.5%が最も高く、次いで6年生女子47.1%、中学生女子36.4%で、すべての学年で女子の割合が男子より高い。「友達と一緒にいるとき」は6年生女子53.3%が最も高い。「スポーツをしているとき」は6年生男子22.2%、中学生男子21.3%、4年生男子18.6%で男子の割合が高くなっている。同様に「テレビゲームをしているとき」も男子の割合が女子よりも高くなっている。「おふろに入っているとき」は4年生の男女が40%を超えて高く、他の学年は30%台となっている。「ぼうっとしているとき」「家でテレビやビデオを見ているとき」は中学生女子の割合が最も高くなっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表112

			家族と食事をしているとき	家族と話しているとき	仲よしの友達と遊んでいるとき	友達とおしゃべりをしているとき	スポーツをしていくとき	おかげごとをしているとき	家でビデオを見ているとき	テレビゲームをしているとき	自分の部屋でぼっとしているとき	おふろに入っているとき	(%)
小学校	4年生		35.0	30.5	53.0	36.5	20.0	9.2	23.8	24.2	25.3	54.7	
	6年生		32.4	26.5	59.9	51.3	25.8	3.2	20.4	24.6	40.1	57.8	
中学校	2年生		18.5	17.6	54.9	51.6	23.4	4.7	22.9	21.8	50.0	60.8	
		勉強がよくわかつたとき	パソコンをやっているとき	その他									
小学校	4年生		24.2	11.8	13.1								
	6年生		18.9	11.8	16.2								
中学校	2年生		16.5	14.6	12.4								

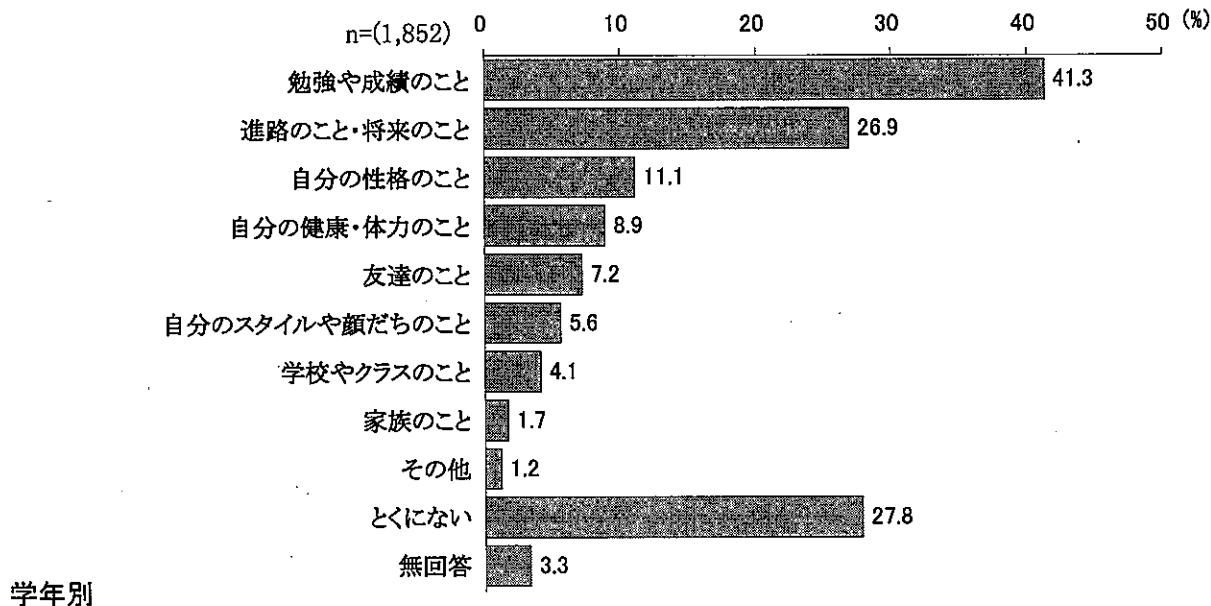
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、平成15年調査と比較すると、前回と同じ選択肢である「おふろに入っているとき」「テレビゲームをしているとき」「ぼうっとしているとき」「スポーツをしているとき」「勉強がよく分かったとき」はすべての学年で減少している。

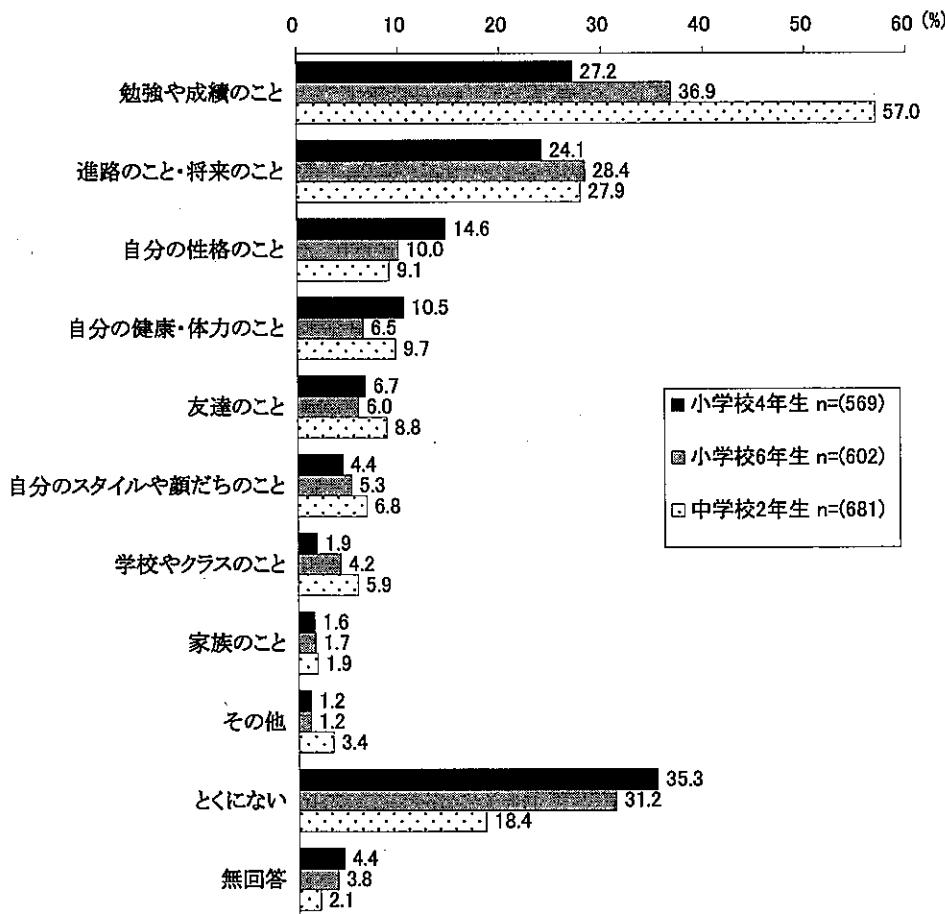
(4) 悩んでいること

問30 あなたが、今、とくになやんでいることは、どんなことですか。(○は2つまで)

図表113



図表114



注：「進路のこと・将来のこと」は小学校4・6年生調査では、「どの中学校に行くか」ということ・将来のこと」となっている。

とくに悩んでいることは、「勉強や成績のこと」は中学校2年生57.0%が最も高く60%近くになっている。「進路のこと・将来のこと」は6年生28.4%、中学生27.9%、4年生24.1%となっている。「自分の性格のこと」は4年生が14.6%で最も高く、次いで6年生10.0%、中学生9.1%となっている。一方、「とくにない」は4年生35.3%、6年生31.2%、中学生18.4%と学年が上がるにつれて割合は減少している。

図表115

性／学年別

(%)

			調査数	勉強や成績のこと	友達のこと	家族のこと	自分の性格のこと	自分の健康・体力のこと	自分のスタイルや顔立ちのこと	学校やクラスのこと	進路のこと・将来のこと	その他	
小学校	4年生	男子	263	23.6	5.3	1.1	12.9	11.4	1.5	1.5	25.5	1.5	
		女子	304	30.6	7.9	2.0	16.1	9.9	6.6	2.3	22.7	1.0	
	6年生	男子	338	37.0	4.4	1.2	6.5	8.0	2.7	4.1	31.1	1.8	
		女子	261	37.2	8.0	2.3	14.6	4.6	8.8	4.2	24.9	0.4	
中学校	2年生	男子	389	54.2	5.9	1.3	7.7	11.3	2.3	3.9	28.3	2.1	
		女子	286	61.2	12.9	2.8	11.2	7.7	12.9	8.7	28.0	5.2	
			調査数	とくにない 無回答									
小学校	4年生	男子	263	37.3	6.1								
		女子	304	33.9	2.6								
	6年生	男子	338	29.9	4.7								
		女子	261	32.6	2.7								
中学校	2年生	男子	389	21.9	2.8								
		女子	286	13.3	0.3								

性／学年別では、「勉強や成績のこと」は、中学校2年生女子61.2%が最も高く、次いで中学校2年生男子54.2%と高く、小学生では4年生男子23.6%、それ以外の学年では30%台となっている。「進路のこと・将来のこと」は6年生男子31.1%が最も高く、次いで中学生男子28.3%、女子28.0%となっている。「友達のこと」「自分のスタイルや顔立ちのこと」は中学生女子の割合が高く、12.9%となっている。「自分の性格のこと」は4年生女子16.1%が最も高く、6年生女子14.6%と続いている。「とくにない」は4年生男子37.3%、女子33.9%、6年生女子32.6%、男子29.9%と高く、中学生では男子21.9%、女子13.3%となっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表116

(%)

		勉強のこと	進学する学校が決められない	スタイルや顔	性格のこと	健康のこと	友達のこと	家族のこと	学校・クラス(中学生のみ)その他のこと	その他	悩みはない
小学校	4年生	29.8	2.0	7.0	11.6	8.3	20.4	4.8	-	2.8	40.0
	6年生	28.9	0.6	10.6	16.6	8.6	25.4	7.8	-	3.4	34.1
中学校	2年生	53.9	37.4	7.9	9.2	8.4	13.7	3.2	5.2	4.9	13.6

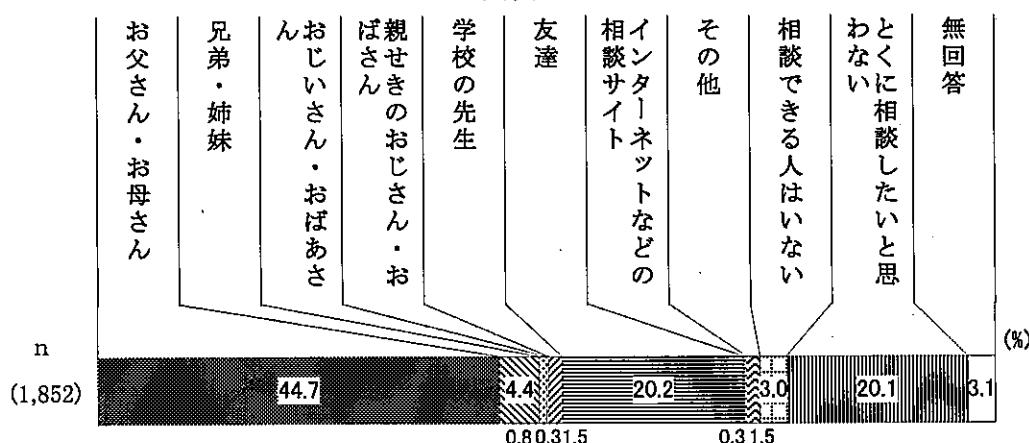
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、小学校6年生で「勉強のこと」と「進路のこと・将来のこと」(平成15年調査では「進学する学校が決められないこと」)が大きく増加しており、「進路のこと・将来のこと」は4年生でも増加している。「友達のこと」「自分のスタイルや顔立ちのこと」「家族のこと」はすべての学年で減少している。

(5) 困ったときに相談する人

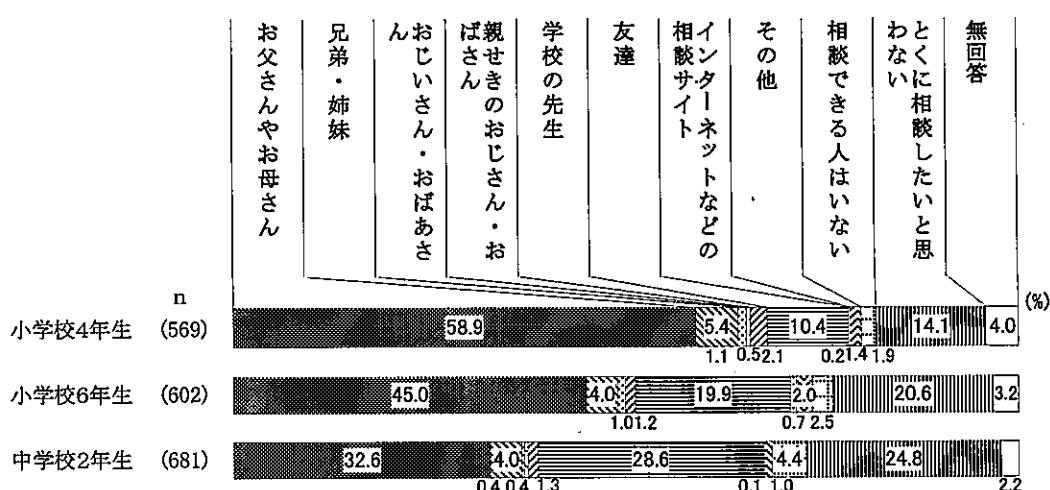
問31 あなたが、こまつたときに一番よく相談する人は、だれですか。(○は1つ)

図表117



学年別

図表118



困ったときに一番よく相談する人については、「お父さんやお母さん」が小学校4年生58.9%、6年生45.0%、中学校2年生32.6%となっている。「友達」は中学生28.6%、「とくに相談したいと思わない」も中学生が24.8%で最も高くなっている。

図表119

性／学年別

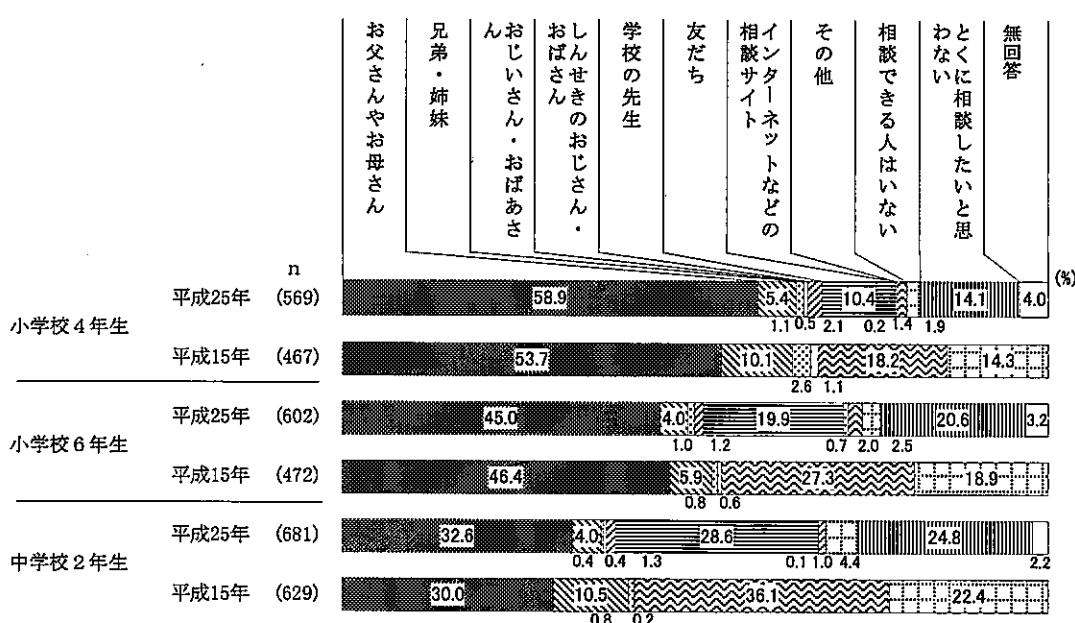
(%)

			調査数	お父さん・お母さん	兄弟・姉妹	おじいさん・おばあさん	親せきのおじさん・おばさん	学校の先生	友達	インターネットなどの相談サイト	その他	相談できる人はいない
小学校	4年生	男子	263	57.0	4.2	1.1	1.1	3.0	6.5	-	1.9	0.8
		女子	304	60.9	6.6	1.0	-	1.3	13.8	0.3	1.0	3.0
	6年生	男子	338	44.1	3.6	1.2	-	1.2	13.3	0.6	1.8	3.8
		女子	261	46.4	4.6	0.8	-	0.8	28.4	0.8	2.3	0.8
中学校	2年生	男子	389	31.1	2.6	0.3	0.5	1.5	23.4	0.3	1.5	3.1
		女子	286	35.3	5.9	0.7	0.3	1.0	35.7	-	0.3	6.3
	4年生	とくに相談したいと思わない	無回答									
		男子	263	19.0	5.3							
小学校	女子	女子	304	9.9	2.3							
		男子	338	26.0	4.4							
	6年生	女子	261	13.8	1.5							
		男子	389	32.9	2.8							
中学校	2年生	女子	286	13.6	0.7							

性／学年別では、「お父さんやお母さん」は4年生女子60.9%、男子57.0%、6年生女子46.4%、男子44.1%、中学生女子35.3%、男子31.1%で学年が上がるにつれて割合は減少している。一方で「友達」は成長にともなって割合が増加し、中学生女子では35.7%と高い。「とくに相談したいと思わない」は男女で比較するとすべての学年で男子の割合が高く、中学生男子32.9%で最も高くなっている。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表120



平成15年調査結果と比較すると、「お父さんやお母さん」の割合はほとんど変化がない。「兄弟・姉妹」は減少している。

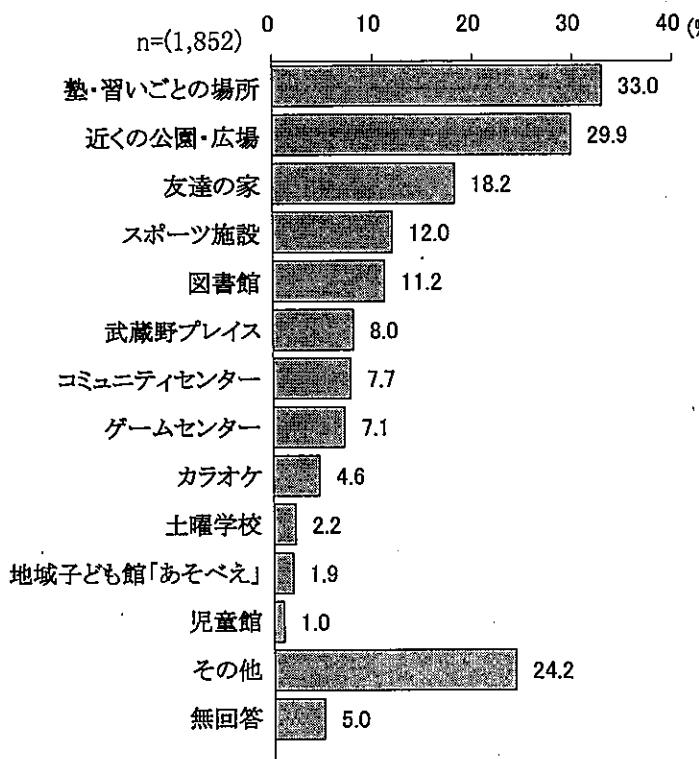
注：平成15年調査では「学校の先生」「友達」「インターネットなどの相談サイト」「とくに相談したいとは思わない」は選択肢にない。

9. 地域での活動について

(1) 土曜日や日曜日に行くところ

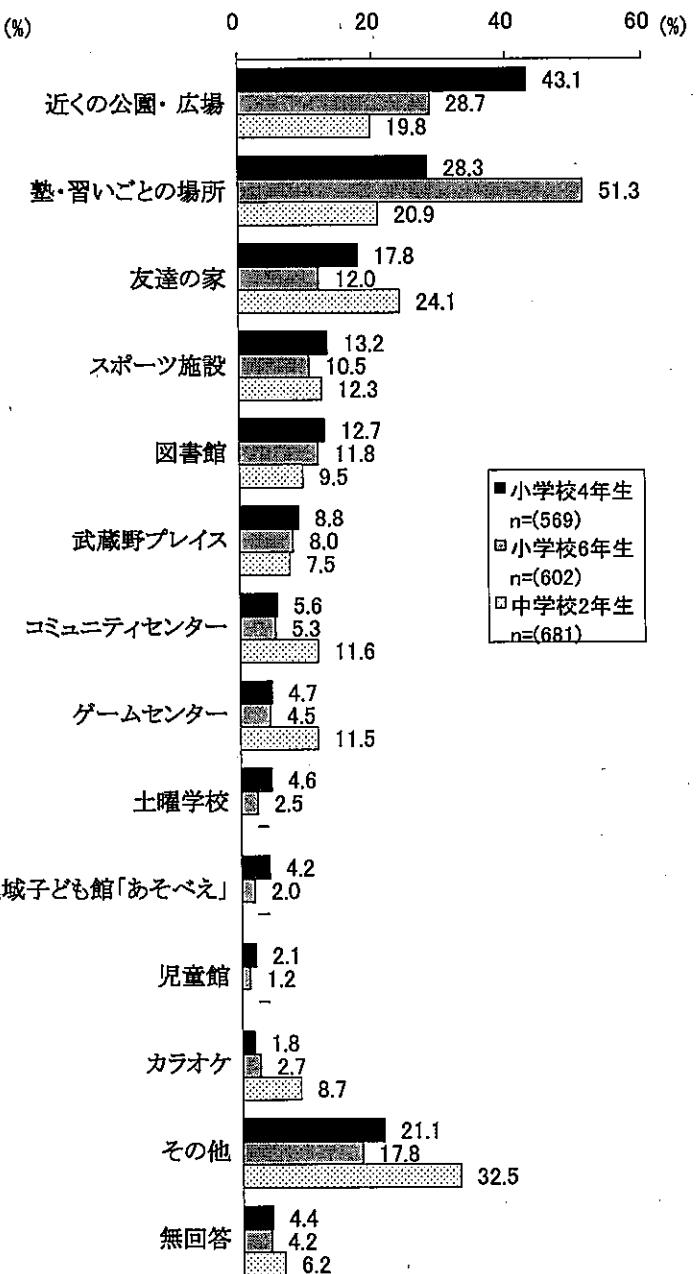
問32 土曜日や日曜日に、よくいくところは、どこですか。(○は3つまで)

図表121



学年別

図表122



土曜日や日曜日に行くところについては、「塾・習いごとの場所」が小学校6年生51.3%、4年生28.3%、中学校2年生20.9%となっている。「近くの公園・広場」は4年生43.1%、6年生28.7%、中学生19.8%、「友達の家」は中学生24.1%、4年生17.8%、6年生12.0%となっている。

図表123

性／学年別

(%)

			調査数	友達の家	近くの公園・広場	地域子ども館「あそべえ」	土曜学校	児童館	図書館	武蔵野プレイス	コミュニティセンター	塾・習いごとの場所
小学校	4年生	男子	263	18.3	46.0	4.9	5.3	3.0	9.9	7.6	8.0	24.7
		女子	304	17.4	40.8	3.6	3.9	1.3	15.1	9.5	3.6	31.6
	6年生	男子	338	12.4	31.1	3.0	2.7	1.8	7.1	6.8	6.8	49.7
		女子	261	11.5	26.1	0.8	2.3	0.4	17.2	9.6	3.4	53.3
中学校	2年生	男子	389	26.2	26.5				10.3	7.2	13.4	19.5
		女子	286	21.3	10.5				8.7	8.0	9.1	23.1
			調査数	スポーツ施設	ゲームセンター	カラオケ	その他	無回答				
小学校	4年生	男子	263	20.9	4.9	1.1	16.0	4.2				
		女子	304	6.6	4.3	2.0	25.7	4.3				
	6年生	男子	338	14.8	4.1	1.2	14.8	5.0				
		女子	261	5.0	5.0	4.6	21.5	3.1				
中学校	2年生	男子	389	16.5	10.8	4.4	27.5	6.9				
		女子	286	7.0	12.6	14.0	39.5	4.5				

性／学年別では、「塾・習いごとの場所」は6年生女子53.3%、男子49.7%と高い。「近くの公園・広場」は4年生男子46.0%、女子40.8%で高く、「友達の家」「ゲームセンター」は中学生で割合が高く、「友達の家」は男子26.2%、女子21.3%、「ゲームセンター」は女子12.6%、男子10.8%となっている。また、「カラオケ」は中学生女子が14.0%で最も高く、他の学年は1割未満となっている。「コミュニティセンター」は中学生男子が13.4%で最も高く、他の学年は1割未満となっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表124

(%)

		友達の家	近くの公園・広場	土曜学校	コミュニティセンター・児童館	地域の図書館	塾・おけいこの場所	スポーツセンター・体育館	ゲームセンター・体	本屋、レコード店	コンビニ・スーパー・デパート
小学校	4年生	28.4	40.7	9.1	10.0	13.3	24.4	8.4	5.3	9.1	34.0
	6年生	40.1	33.5	6.0	12.2	12.9	19.5	8.2	6.0	25.8	45.5
中学校	2年生	37.0	13.3	1.0	10.6	7.5	24.5	11.7	20.8	35.1	44.1
		ビデオ屋	その他								
小学校	4年生	4.4	18.7								
	6年生	6.0	16.3								
	中学校	11.1	17.5								

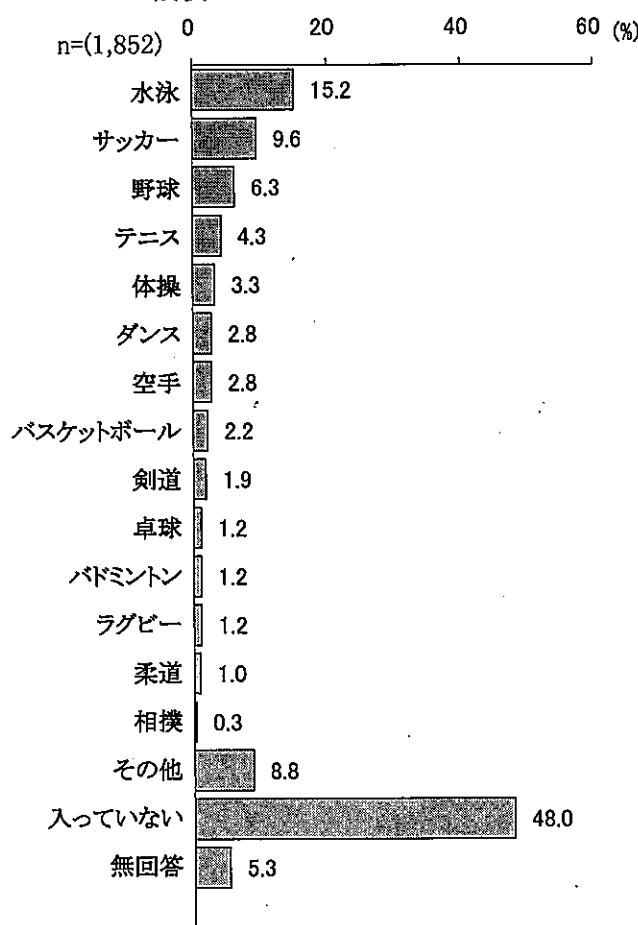
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、「友達の家」はすべての学年で減少しており、特に小学校6年生では三分の一程度に大きく減少している。6年生では「塾・習いごとの場所」が2倍以上と大きく増加している。

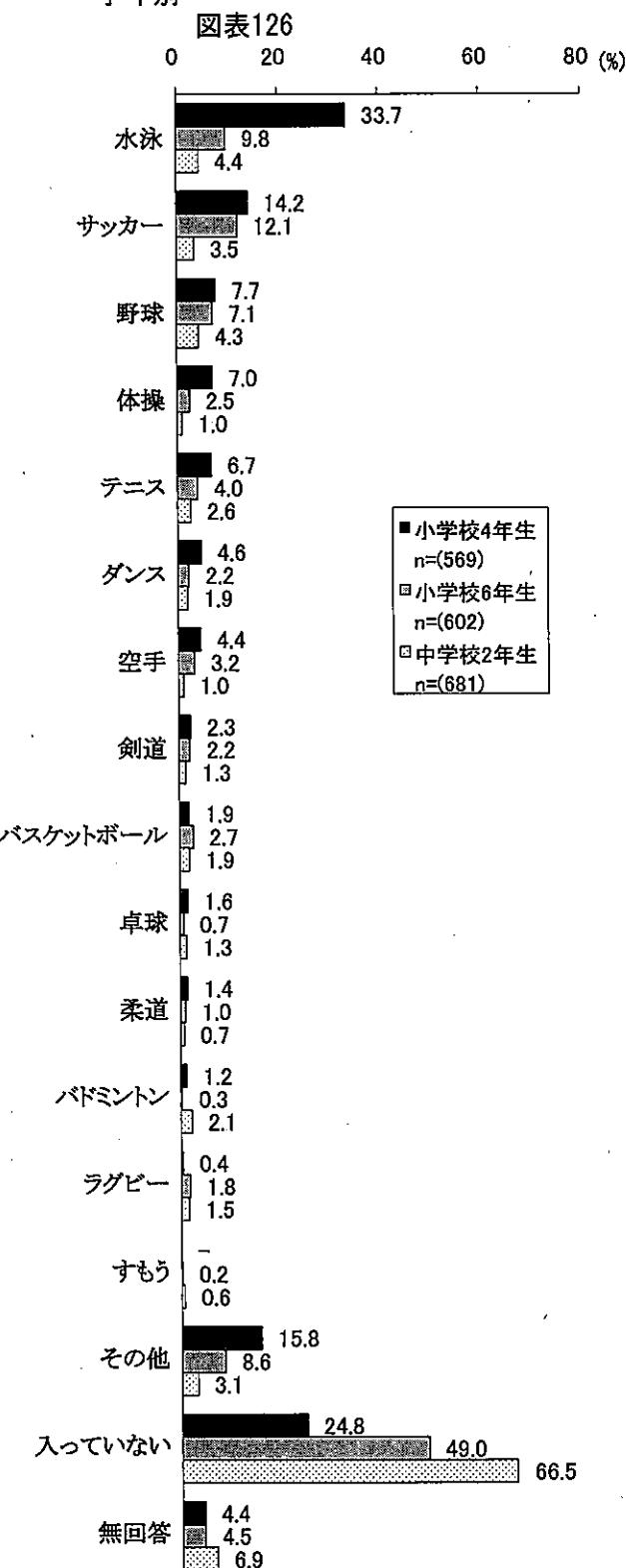
(2) スポーツクラブやスポーツ教室への参加について

問33 地域のスポーツクラブやスポーツ教室に入っていますか。(○は3つまで)

図表125



学年別



地域のスポーツクラブやスポーツ教室への参加については、「水泳」が小学校4年生33.7%で最も高いが、他のスポーツの参加率は低い。一方、「入っていない」は中学校2年生66.5%、小学校6年生49.0%、4年生24.8%で高い割合となっている。

図表127

性／学年別

			調査数	野球	サッカー	バスケットボール	ダンス	テニス	卓球	バドミントン	水泳	体操	(%)
小学校	4年生	男子	263	15.6	27.0	1.9	0.8	6.8	2.3	0.4	37.6	6.5	
		女子	304	1.0	3.3	2.0	7.9	6.6	1.0	2.0	30.6	7.6	
	6年生	男子	338	11.5	19.8	1.8	0.3	4.4	1.2	-	10.9	2.4	
		女子	261	1.5	1.9	3.8	4.6	3.4	-	0.8	8.4	2.3	
中学校	2年生	男子	389	6.9	6.2	2.8	0.8	3.1	1.8	1.5	4.9	0.5	
		女子	286	0.7	-	0.7	3.5	2.1	0.7	2.4	3.8	1.4	
			調査数	柔道	剣道	空手	ラグビー	相撲	その他	入っていない	無回答		
4年生	男子	263	1.5	3.0	7.6	0.8	-	13.7	12.2	4.6			
	女子	304	1.3	1.6	1.6	-	-	17.8	35.9	3.6			
小学校	6年生	男子	338	0.9	2.4	5.0	2.4	0.3	7.1	39.6	5.0		
		女子	261	1.1	1.9	0.8	1.1	-	10.7	61.3	3.8		
	中学校	男子	389	0.5	1.8	0.8	2.6	1.0	2.3	62.5	7.2		
		女子	286	1.0	0.7	1.4	-	-	4.2	72.7	5.9		

性／学年別では、「水泳」は4年生男子37.6%、女子30.6%で高く、「サッカー」は4年生男子27.0%、6年生男子19.8%、「野球」は4年生男子15.6%、6年生男子11.5%である。「入っていない」は、中学生女子72.7%が最も高く、男子62.5%、6年生女子61.3%、男子39.6%で学年が上がるにつれて割合は高くなっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表128

		野球	サッカー	テニス	卓球	バドミントン	水泳	体操	柔道	剣道	(%)
小学校	4年生	16.5	19.8	6.9	1.5	1.5	33.8	7.5	3.3	4.8	
	6年生	12.3	19.5	5.5	2.4	1.7	17.1	6.5	2.7	6.5	
	中学校	13.9	12.7	6.9	5.8	3.5	4.6	0.8	4.2	6.6	
小学校	相撲	ラグビー	空手	その他							
	4年生	0.0	1.8	5.1	25.7						
	6年生	0.0	0.3	4.1	36.9						
中学校	2年生	0.0	1.9	2.3	39.0						

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

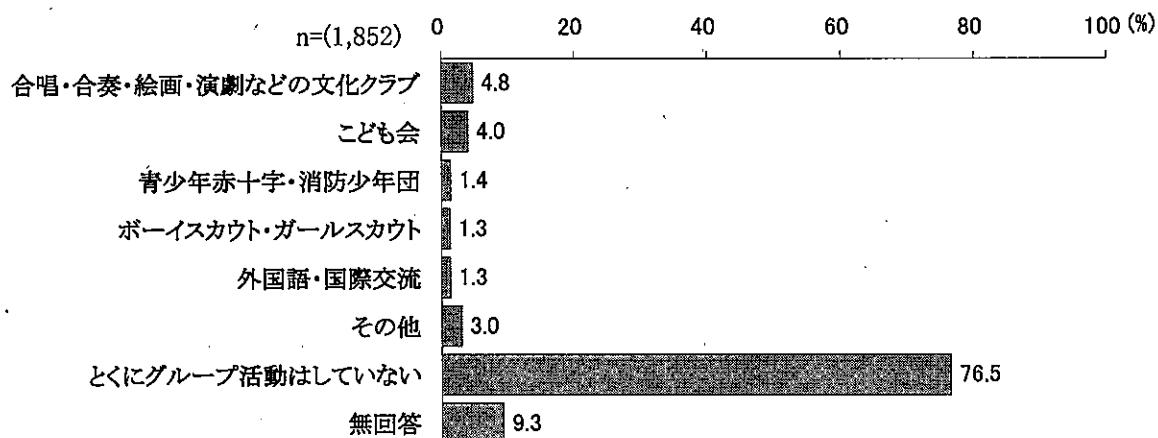
平成15年調査と比較すると、「野球」「サッカー」「剣道」はすべての学年で減少している。「水泳」は小学校6年生で減少している。

第2章 調査結果の詳細

(3) 住んでいる町のグループ活動への参加について

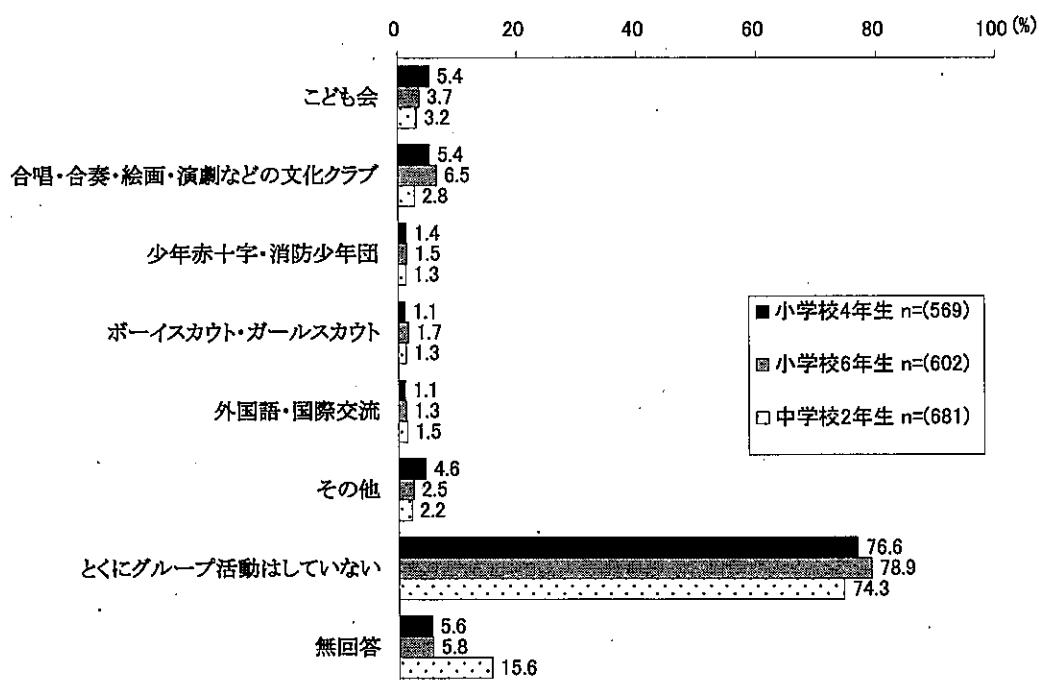
問34 住んでいる町のグループ活動を何かやっていますか。(○は3つまで)

図表129



学年別

図表130



住んでいる町のグループ活動については、「とくにグループ活動はしていない」がすべての学年で7割を超えて高い。

図表131

性／学年別

			調査数	こども会	ボーイス カウト・ ガールス カウト	青少年 赤十字・ 消防少 年団	外国語・ 国際交 流	合唱・合 奏・絵 画・演劇 などの文 化クラブ	その他	とくにグ ループ 活動はし ていない	(%)
小学校	4年生	男子	263	2.7	1.5	0.8	1.1	2.7	6.1	79.5	6.5
		女子	304	7.9	0.7	2.0	1.0	7.9	3.3	74.3	4.6
	6年生	男子	338	3.3	2.4	0.6	1.8	4.4	2.7	81.1	6.2
		女子	261	4.2	0.8	2.7	0.8	9.2	2.3	75.9	5.4
中学校	2年生	男子	389	2.6	1.5	1.8	0.8	1.8	1.3	75.8	17.5
		女子	286	4.2	1.0	0.7	2.4	4.2	3.5	73.1	11.9

性／学年別では、「とくにグループ活動はしていない」は6年生男子81.1%が最も高く、次いで4年生男子79.5%、他の学年も70%を超えて高い。「合唱・合奏・絵画・演劇などの文化クラブ」は6年生女子9.2%、4年生女子7.9%と高く、「こども会」は4年生女子7.9%が最も高い。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表132

(%)

		こども会	ボーイス カウト・ ガールス カウト	青少年 赤十字・ 交通少 年団など	合唱・合 奏・絵 画・文化 クラブ	森林体 験教室 などの土 曜学校	その他
小学校	4年生	17.4	3.1	4.3	6.8	16.8	56.5
	6年生	11.9	6.8	5.6	10.2	13	59.3
中学校	2年生	3.6	6.3	0	9	5.4	76.6

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、「子ども会」「ボーイスカウト・ガールスカウト」は小学生で減少している。「少年赤十字・消防少年団」（平成15年調査では「青少年赤十字・交通少年団など」）はわずかに増加している。

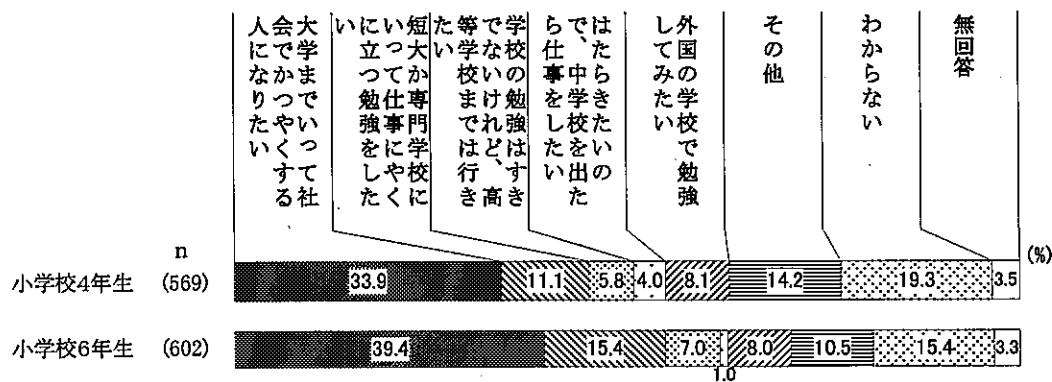
10. 将来の希望について

(1) 将来についての希望

問35 あなたは、自分の将来についてどのように考えていますか。(○は1つ)

■小学校4・6年生

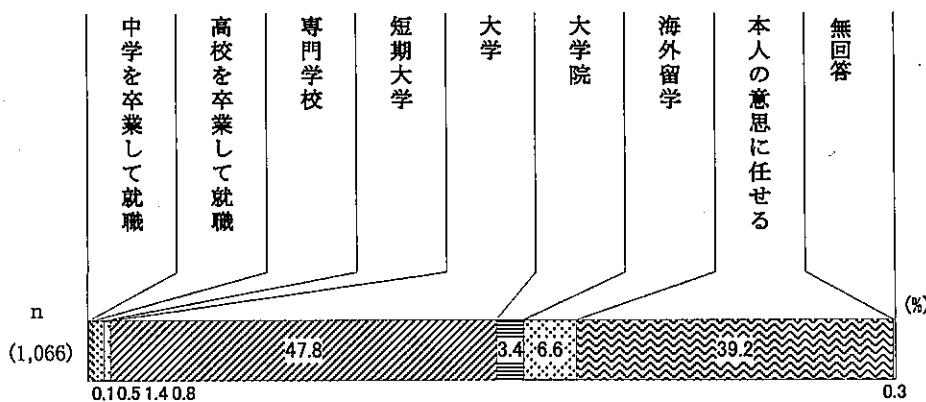
図表133



将来については、「大学までいって社会でかつやくする人になりたい」が小学校6年生39.4%、4年生33.9%、「短大か専門学校にいって仕事にやくに立つ勉強をしたい」が6年生15.4%、4年生11.1%となっている。一方、「わからない」は4年生19.3%、6年生15.4%である。

【参考】保護者調査の結果

図表134



保護者調査では、子どもの結果よりも大学進学の意向が高く、47.8%となっている。また、「本人の意思に任せる」は39.2%である。

図表135

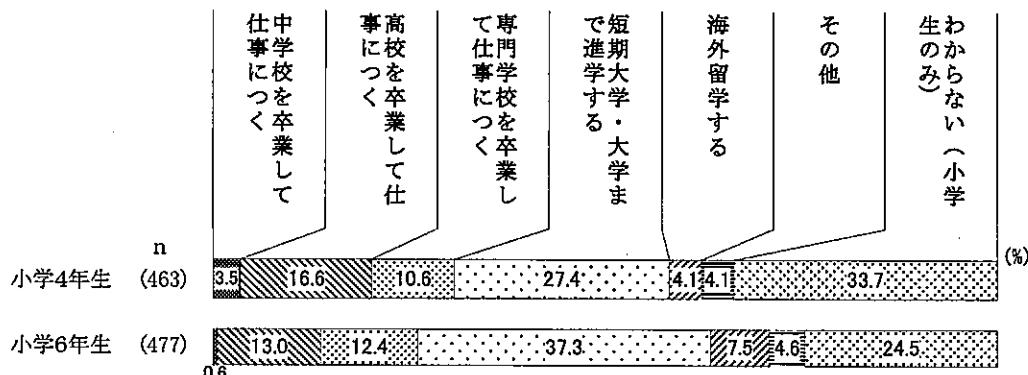
性／学年別

			調査数	大学までいって社会でかつやくする人になりたい	短大か専門学校にいって仕事にやくに立つ勉強をしたい	学校の勉強はすきでないけれど、高等学校までは行きたい	はたらきたいので、中学校を出たら仕事をしたい	外国の学校で勉強してみたい	その他	わからない	(%) 無回答
小学校	4年生	男子	263	36.5	6.5	6.5	5.3	4.9	16.7	19.4	4.2
		女子	304	31.6	15.1	5.3	3.0	10.9	12.2	19.4	2.6
	6年生	男子	338	40.2	9.8	7.7	1.2	5.3	13.3	17.8	4.7
		女子	261	38.3	23.0	6.1	0.8	11.5	6.9	11.9	1.5

性／学年別では、「大学までいって社会でかつやくする人になりたい」は6年生男子40.2%が最も高く、次いで女子38.3%となっている。「短大か専門学校にいって仕事にやくに立つ勉強をしたい」は6年生女子23.0%が最も高い。「外国の学校で勉強したい」は女子の割合が高く4年生10.9%、6年生11.5%となっている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表136

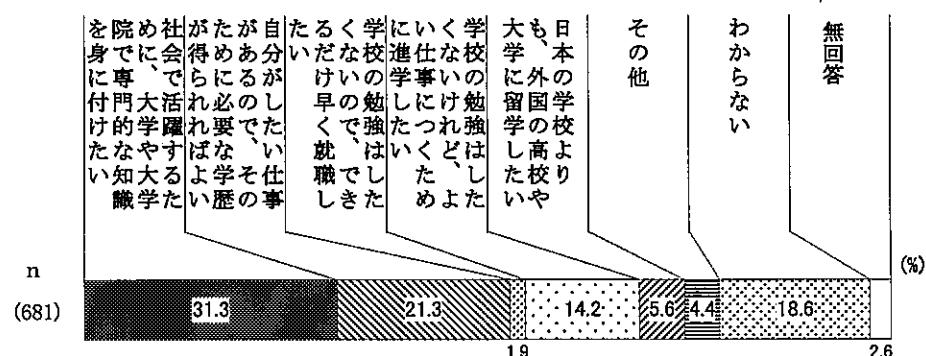


注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査の「短期大学・大学まで進学する」「専門学校を卒業して仕事につく」に対し、今回は「大学までいって社会でかつやくする人になりたい」「短大か専門学校にいって仕事にやく立つ勉強をしたい」となっており、直接的な比較はできないが、小学校6年生では、前回の専門学校、短大、大学を合わせた割合よりも今回の「大学までいって社会でかつやくする人になりたい」の方が高く、大学進学意向の高まりが見られる。「学校の勉強はすきではないけれど、高等学校までは行きたい」(平成15年調査では「高校を卒業して仕事につく」)は減少している。「外国の学校で勉強してみたい」(平成15年調査では「海外留学する」)はわずかに増加している。

■中学校2年生

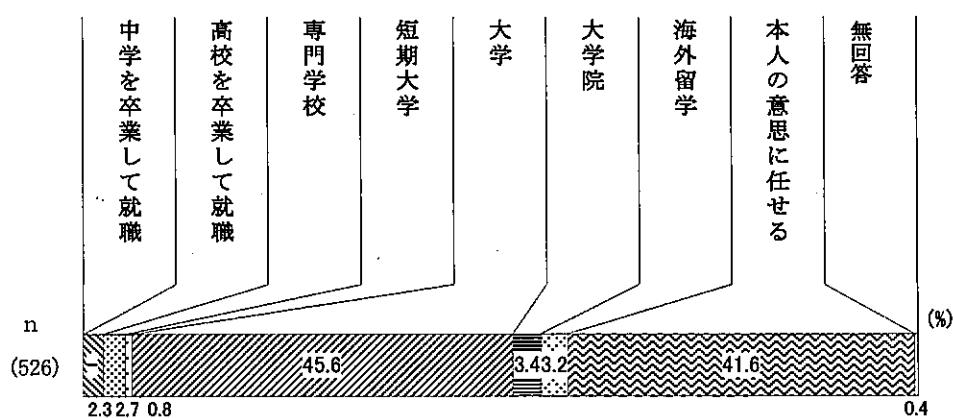
图表137



将来については、「社会で活躍するために、大学や大学院で専門的な知識を身に付けたい」が31.3%で最も高く、次いで「自分がしたい仕事があるので、そのために必要な学歴が得られればよい」が21.3%。「学校の勉強はしたくないけれど。よい仕事につくために進学したい」が14.2%となっている。一方、「わからない」は18.6%である。

【参考】保護者調査の結果

图表138



保護者調査では、子どもの結果よりも大学進学の意向が高く、45.6%となっている。また、「本人の意思に任せる」は41.6%である。

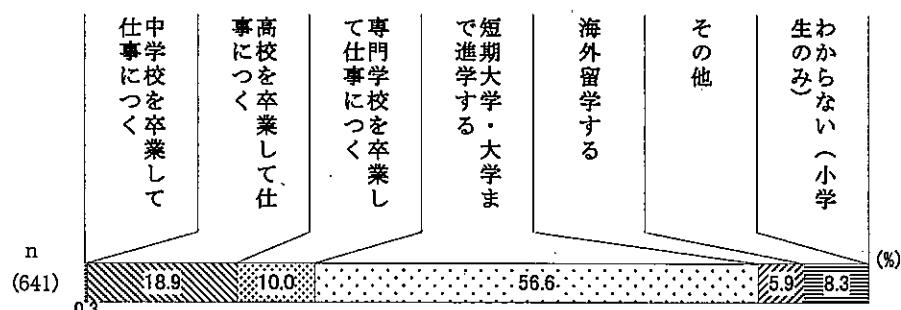
図表139

		性別 (%)									
		調査数	社会で活躍するために、大学や大学院で専門的な知識を身に付けたい	自分がしたい仕事があるので、そのために必要な学歴が得られればよい	学校の勉強はしたくないので、できるだけ早く就職したい	学校の勉強はしたくないけれど、よい仕事につくために進学したい	日本の学校よりも、外国の高校や大学に留学したい	その他	わからない	無回答	
中学校	2年生	男子	389	32.6	17.7	1.8	14.1	3.9	5.1	21.1	3.6
		女子	286	29.7	26.6	2.1	14.7	8.0	3.5	14.7	0.7

性別では、「社会で活躍するために、大学や大学院で専門的な知識を身に付けたい」は男子32.6%、女子29.7%でほとんど差はない。「自分がしたい仕事があるので、そのために必要な学歴が得られればよい」は女子26.6%、男子17.7%である。「日本の学校よりも、外国の高校や大学に留学したい」は女子8.0%、男子3.9%で女子が4.1ポイント高く、「わからない」は男子21.1%、女子14.7%で男子が6.4ポイント高い。

【参考】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査の結果

図表140

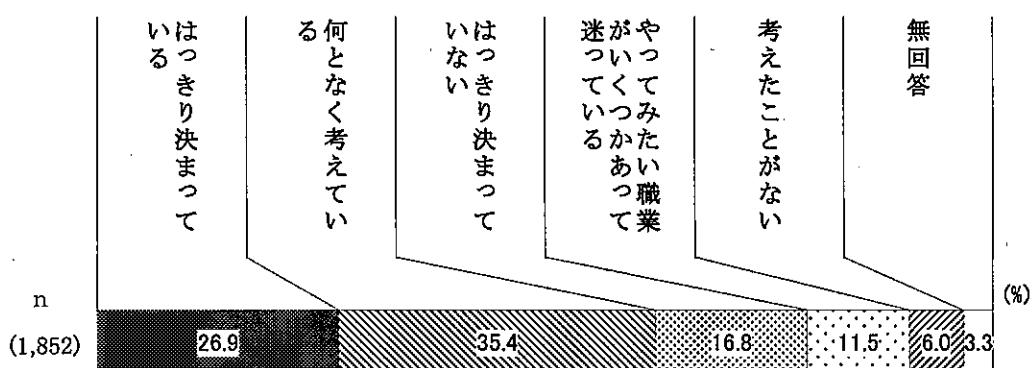


平成15年調査では、「短期大学・大学まで進学する」が56.6%と過半数を占めていたが、今回の「社会で活躍するために、大学や大学院で専門的な知識を身に付けたい」はそれを下回っている。

(2) 将来の仕事について

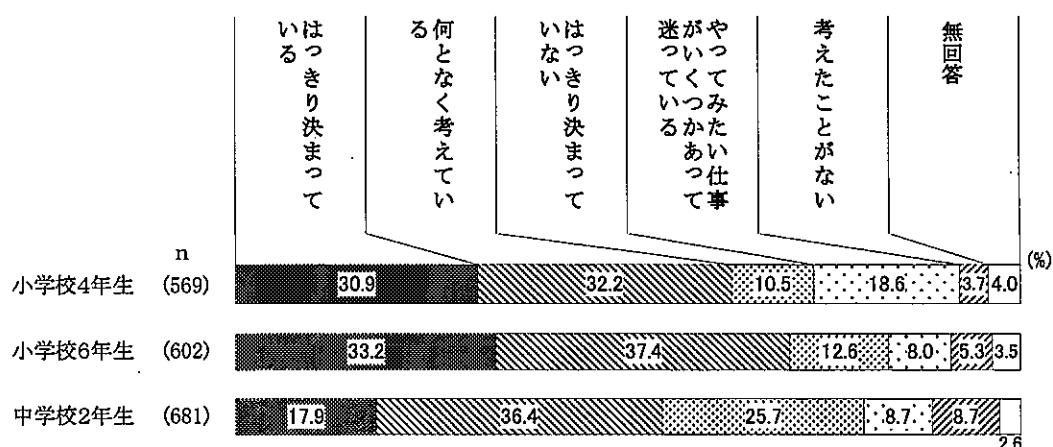
問36 あなたは、将来やってみたい仕事について考えていますか。(○は1つ)

図表141



学年別

図表142



将来の仕事については、「はっきり決まっている」は小学校6年生33.2%、4年生30.9%、中学校2年生17.9%となっている。「何となく考えている」は6年生37.4%、中学生36.4%、4年生32.2%。「やってみたい仕事がいくつかあって迷っている」は4年生18.6%、中学生8.7%、6年生8.0%となっている。一方、「はっきり決まっていない」は中学生25.7%で最も高く、6年生12.6%、4年生10.5%である。

図表143

性／学年別

			調査数	はっきり決まっている	何となく考えている	はっきり決まっていない	やってみたい職業がいくつかあって迷っている	考えたことがない	(%) 無回答
小学校	4年生	男子	263	29.7	29.3	14.8	16.0	5.3	4.9
		女子	304	32.2	34.9	6.9	21.1	2.3	2.6
	6年生	男子	338	31.7	39.9	11.2	5.9	6.8	4.4
		女子	261	35.6	34.1	14.2	10.7	3.1	2.3
中学校	2年生	男子	389	16.2	33.9	28.5	7.2	10.8	3.3
		女子	286	20.3	40.6	22.4	10.5	5.2	1.0

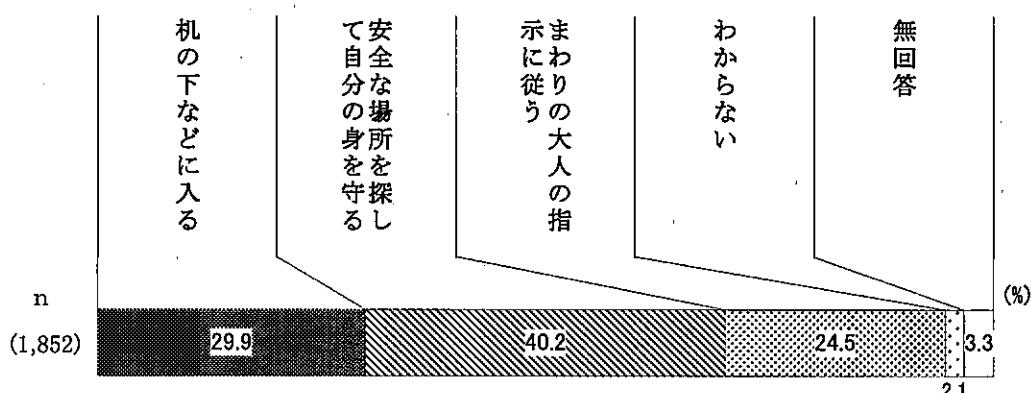
性／学年別では、「はっきり決まっている」は6年生女子35.6%が最も高く、次いで4年生女子32.2%、中学生女子20.3%で、すべての学年で男子と比較して女子の割合が高い。「何となく考えている」は、中学生女子40.6%が最も高く、次いで6年生男子39.9%である。「はっきり決まっていない」は中学生男子28.5%が最も高く、次いで女子22.4%となっている。「考えたことがない」は中学生男子10.8%が最も高く、他の学年は1割未満となっている。

11. その他

(1) 先生が不在時に大地震が起きた場合に大切なこと

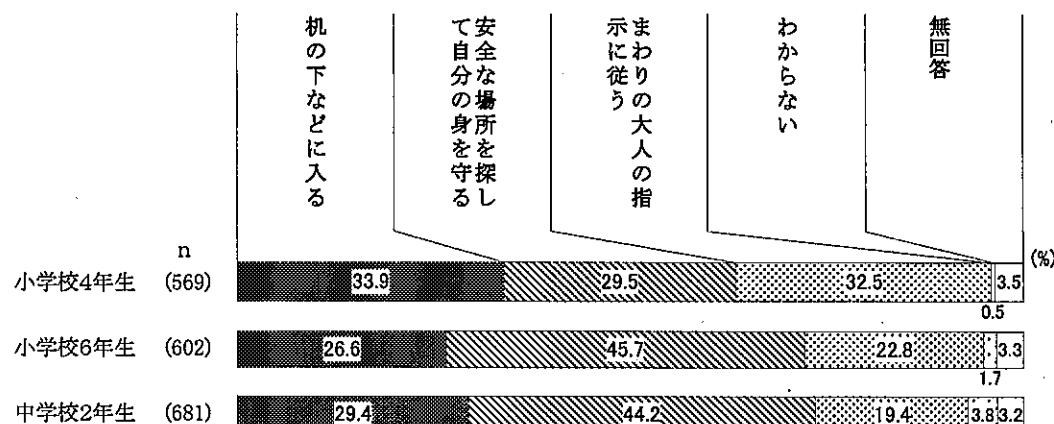
問37 先生がいない時に大きな地震が起きた場合、一番大切だと思うことは、次のうちどれですか。(○は1つ)

図表144



学年別

図表145



先生がいない時に大きな地震が起きた場合に一番大切なことは、「机の下などに入る」は小学校4年生33.9%が最も高く、6年生26.6%、中学校2年生29.4%となっている。「安全な場所を探して自分の身を守る」は6年生45.7%が最も高く、4年生29.5%、中学生44.2%となっている。「まわりの大人の指示に従う」は4年生32.5%が最も高く、6年生22.8%、中学生19.4%となっている。

図表146

性／学年別

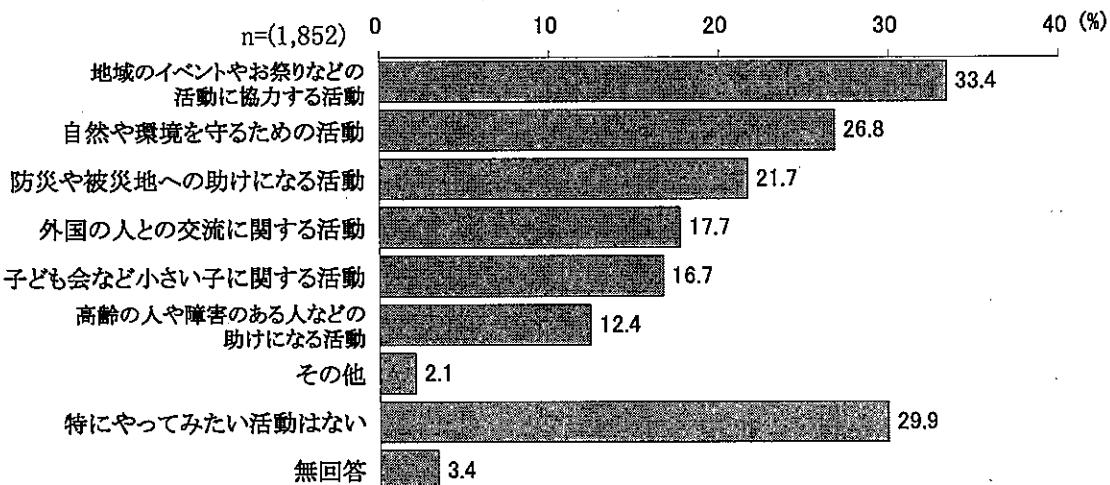
			調査数	机の下など に入る	安全な場 所を探して 自分の身 を守る	まわりの大 人の指示 に従う	（%）	
							わからない	無回答
小学校	4年生	男子	263	30.4	31.2	33.1	0.8	4.6
		女子	304	37.2	28.3	31.9	0.3	2.3
	6年生	男子	338	25.4	45.0	22.5	2.4	4.7
		女子	261	28.4	46.0	23.4	0.8	1.5
中学校	2年生	男子	389	25.2	48.1	17.5	5.1	4.1
		女子	286	35.0	39.2	22.4	2.1	1.4

性／学年別では、「机の下などに入る」は4年生女子37.2%、中学生女子35.0%、6年生女子28.4%ですべての学年で女子の割合が男子より高い。「安全な場所を探して自分の身を守る」は中学校男子48.1%が最も高く、次いで6年生女子46.0%、男子45.0%なっている。「まわりの大人の指示に従う」は4年生男子33.1%、女子31.9%で高い。

(2) 学校や地域の人たちとやってみたい活動

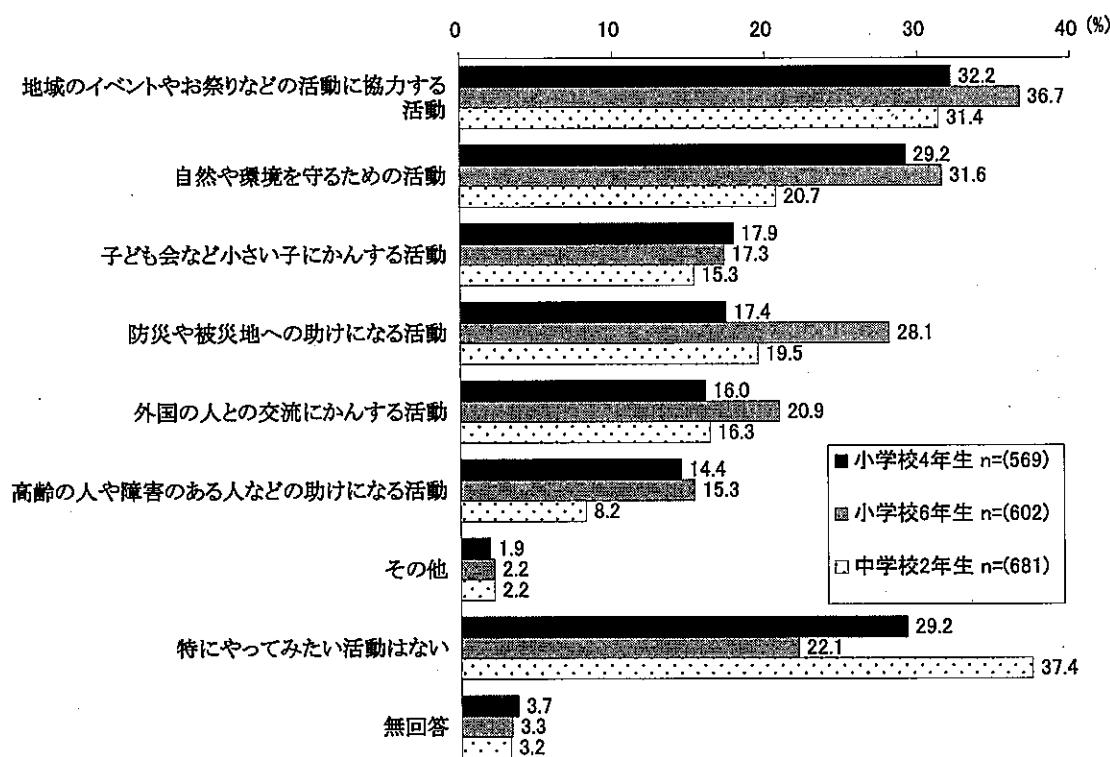
問38 あなたが学校や地域の人たちと一緒にやってみたいと思う活動は何ですか。
(○はいくつでも)

図表147



学年別

図表148



学校や地域の人たちと一緒にやってみたい活動は、「地域のイベントやお祭りなどの活動に協力する活動」が小学校6年生36.7%、4年生32.2%、中学生31.4%、「自然や環境を守るための活動」は6年生31.6%、4年生29.2%、中学生20.7%となっている。「防災や被災地への助けになる活動」は6年生で28.1%と特に高い。一方、「特にやってみたい活動はない」は中学生が最も高く37.4%、次いで4年生29.2%、6年生22.1%となっている。

図表149

性／学年別

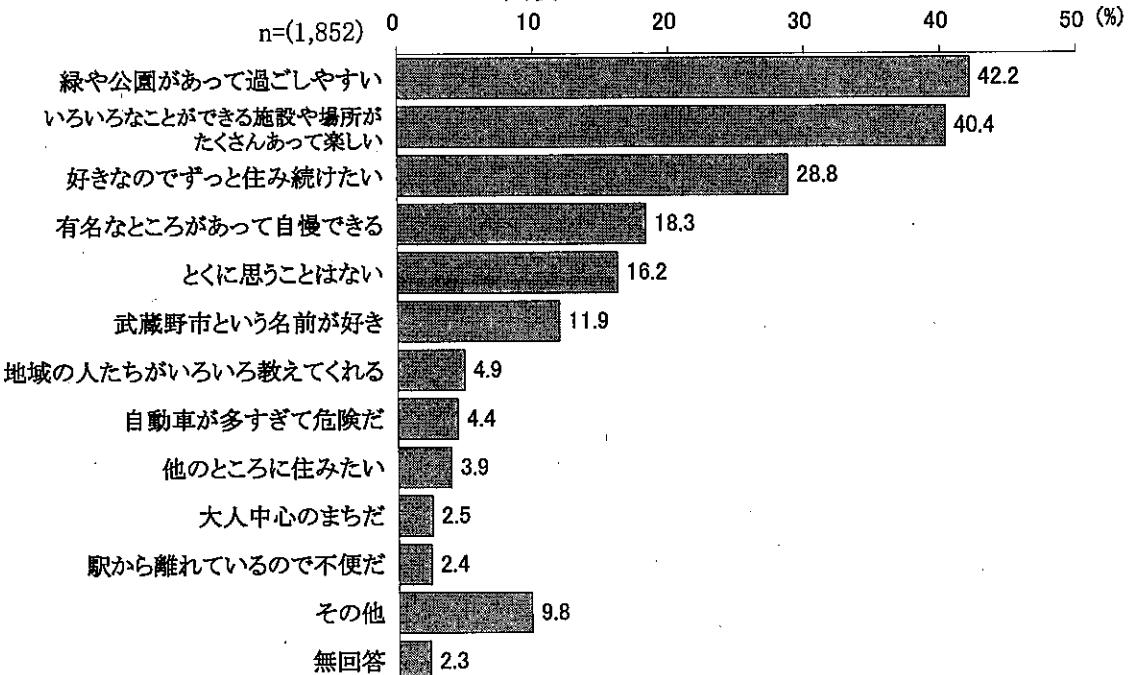
			調査数	防災や被災地への助けになる活動	地域のイベントやお祭りなどの活動に協力する活動	高齢の人や障害のある人などの助けになる活動	子ども会など小さい子に関する活動	自然や環境を守るために活動	外国の人との交流に関する活動	その他	特にやってみたい活動はない	(%)
小学校	4年生	男子	263	13.7	26.2	10.3	10.6	29.3	9.5	1.9	38.0	4.9
		女子	304	20.4	37.2	17.8	24.0	28.9	21.4	2.0	21.7	2.3
	6年生	男子	338	24.0	30.8	10.9	10.1	30.5	16.0	3.3	27.5	4.4
		女子	261	33.7	44.4	20.7	26.8	32.6	27.6	0.8	14.9	1.9
中学校	2年生	男子	389	20.1	24.9	6.4	9.8	21.1	12.1	2.6	43.2	4.6
		女子	286	18.9	40.9	10.8	23.1	20.6	22.4	1.7	29.4	0.7

性／学年別では、いずれの活動も6年生女子の割合が高くなっている。「地域のイベントやお祭りなどの活動に協力する活動」は6年生女子44.4%、中学生女子40.9%で40%を超えており、「自然や環境を守るために活動」は6年生男子、女子が30%を超えて高い。「防災や被災地への助けになる活動」「子ども会など小さい子に関する活動」は6年生女子でそれぞれ33.7%、26.8%となっている。「特にやってみたい活動はない」は、中学生男子43.2%、4年生男子38.0%が高い。

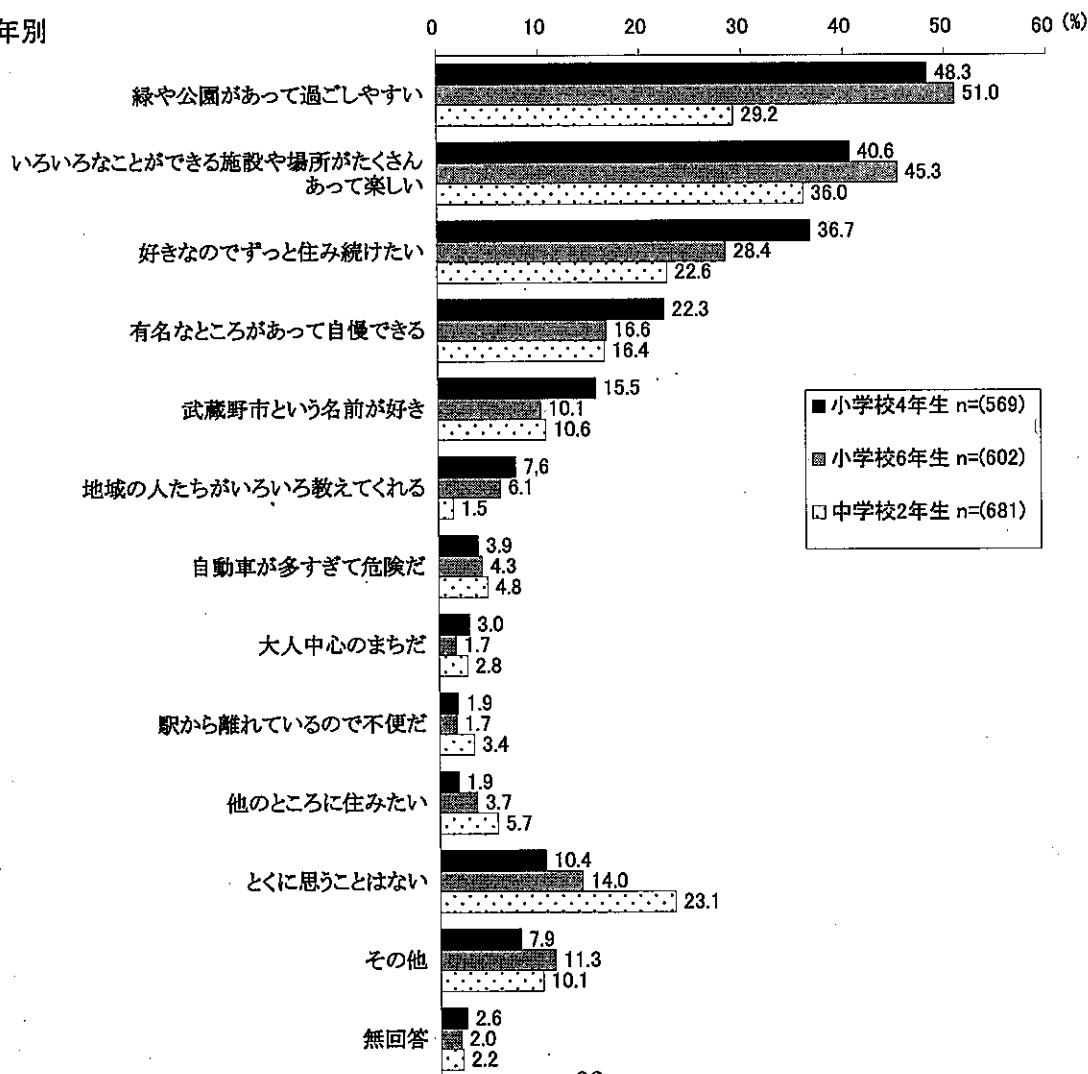
(3) 武蔵野市に対する気持ち

問39 あなたは、武蔵野市に対してどんな気持ちをもっていますか。(○は3つまで)

図表150



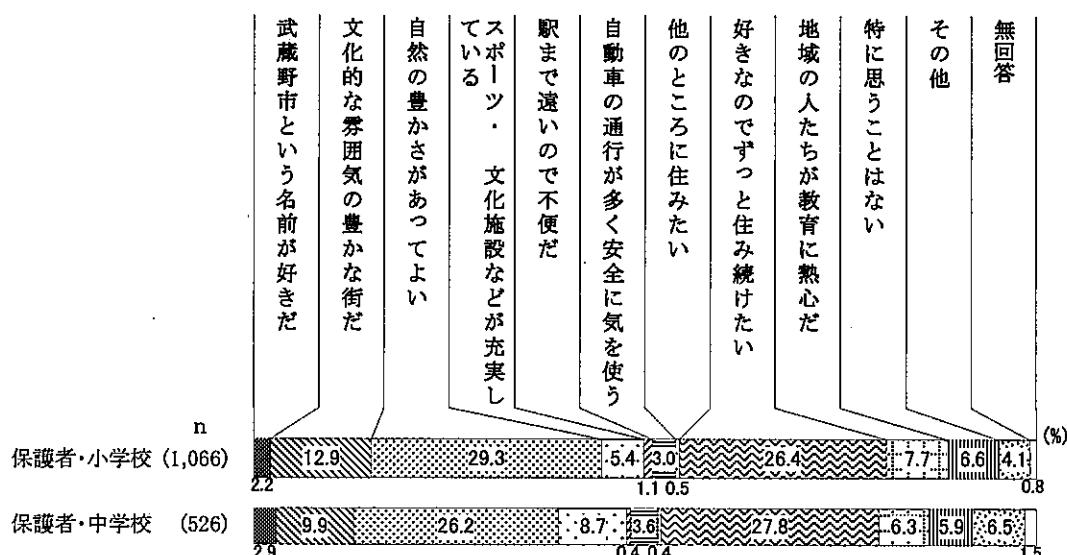
学年別



武藏野市に対する気持ちは、「緑や公園があつて過ごしやすい」が小学校6年生51.0%、4年生48.3%、中学生29.2%、「いろいろなことができる施設や場所がたくさんあって楽しい」が6年生45.3%、4年生40.6%。「好きなのでずっと住み続けたい」は4年生36.7%、6年生28.4%、中学生22.6%となっている。一方、「とくに思うことはない」は中学生23.1%で最も高く、6年生14.0%、4年生10.4%となっている。

【参考】保護者調査の結果

図表152



図表153

性／学年別

			調査数	武藏野市という名前が好き	有名なところがあって自慢できる	いろいろなことができる施設や場所がたくさんあって楽しい	緑や公園があつて過ごしやすい	大人を中心のまちだ	駅から離れているので不便だ	自動車が多すぎて危険だ	他のところに住みたい	好きなのでずっと住み続けたい
小学校	4年生	男子	263	17.1	20.5	40.7	45.2	3.0	2.7	5.3	1.1	36.5
		女子	304	13.8	23.7	40.5	51.0	3.0	1.0	2.6	2.6	37.2
	6年生	男子	338	11.2	14.8	43.8	47.3	0.9	2.4	4.4	4.7	25.7
		女子	261	8.8	19.2	47.5	55.2	2.7	0.8	4.2	2.3	31.4
中学校	2年生	男子	389	12.9	15.7	37.0	27.0	3.3	3.3	5.4	5.9	20.3
		女子	286	7.3	17.5	35.0	32.2	1.7	3.5	4.2	5.6	26.2
小学校			調査数	地域の人たちがいろいろ教えてくれる	とくに思うことはない	その他	無回答					
	4年生	男子	263	4.9	12.5	8.4	3.4					
		女子	304	9.9	8.6	7.2	2.0					
	6年生	男子	338	4.1	15.7	12.7	2.7					
中学校	2年生	男子	389	1.0	22.9	11.8	2.6					
		女子	286	2.1	23.8	7.7	0.7					

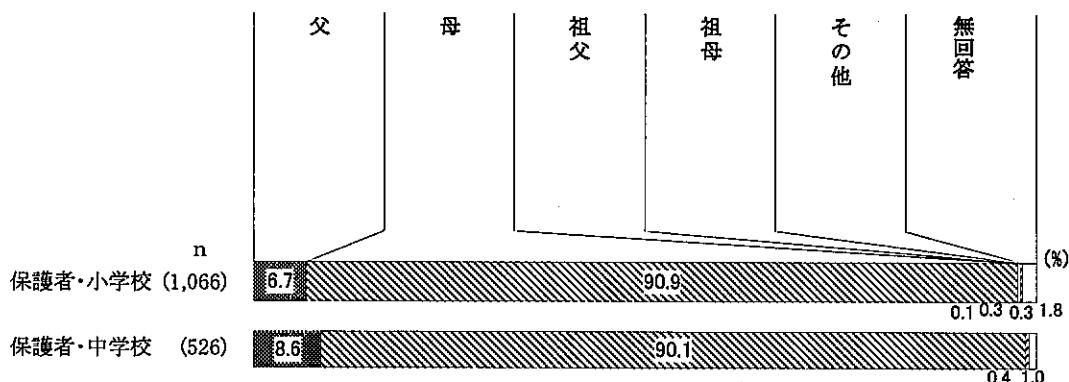
第2章 調査結果の詳細

性／学年別では、「緑や公園があつて過ごしやすい」は6年生女子55.2%、4年生女子51.0%で高く、「いろいろなことができる施設や場所がたくさんあつて楽しい」は6年生、4年生の男女とも40%台と高い。「好きなのでずっと住み続けたい」は4年生女子37.2%、男子36.5%で高く、6年生女子31.4%と30%を超えている。「とくに思うことはない」は中学生女子23.8%、男子22.9%で他の学年に比較して高い。

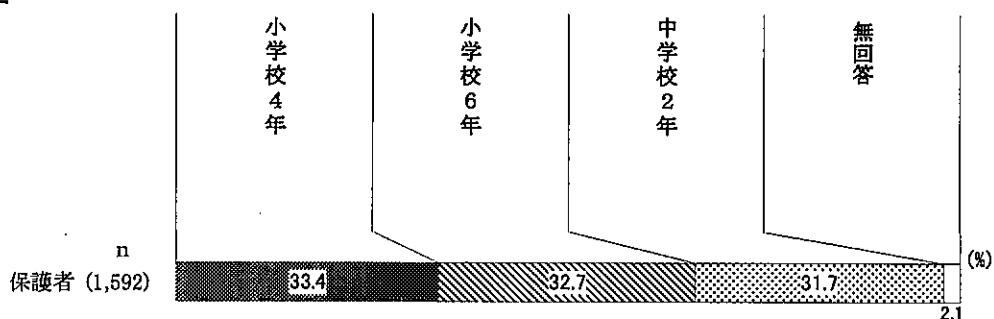
II 子どもの生活や教育についての保護者の意識・要望

1. 基本属性

(1) 続き柄



(2) 学年



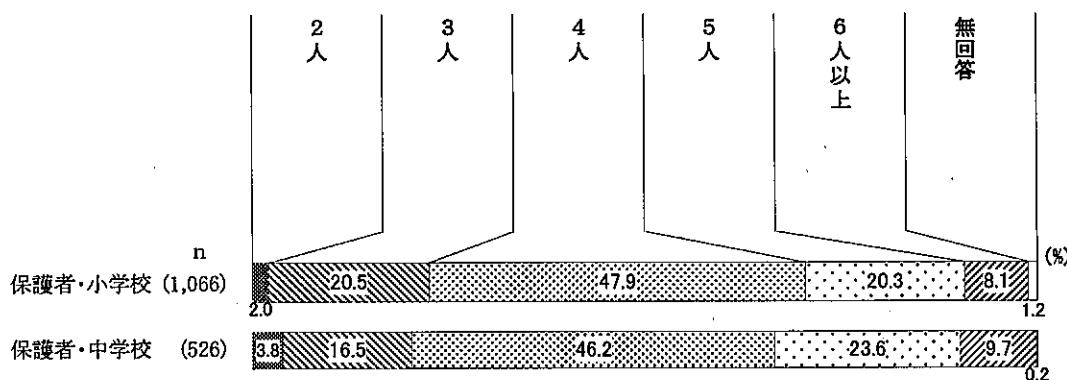
(3) 学校

学校名	基数	構成比 (%)	学校名	基数	構成比 (%)
1 市立第一小学校	63	4.0	15 市立第一中学校	94	5.9
2 市立第二小学校	91	5.7	16 市立第二中学校	64	4.0
3 市立第三小学校	95	6.0	17 市立第三中学校	61	3.8
4 市立第四小学校	51	3.2	18 市立第四中学校	111	7.0
5 市立第五小学校	47	3.0	19 市立第五中学校	74	4.6
6 市立大野田小学校	112	7.0	20 市立第六中学校	63	4.0
7 市立境南小学校	66	4.1	21 私立聖徳学園中学校	59	3.7
8 市立本宿小学校	49	3.1	合 計	1,592	100.0
9 市立千川小学校	47	3.0			
10 市立井之頭小学校	51	3.2			
11 市立関前南小学校	50	3.1			
12 市立桜野小学校	133	8.4			
13 私立成蹊小学校	113	7.1			
14 私立聖徳学園小学校	98	6.2			

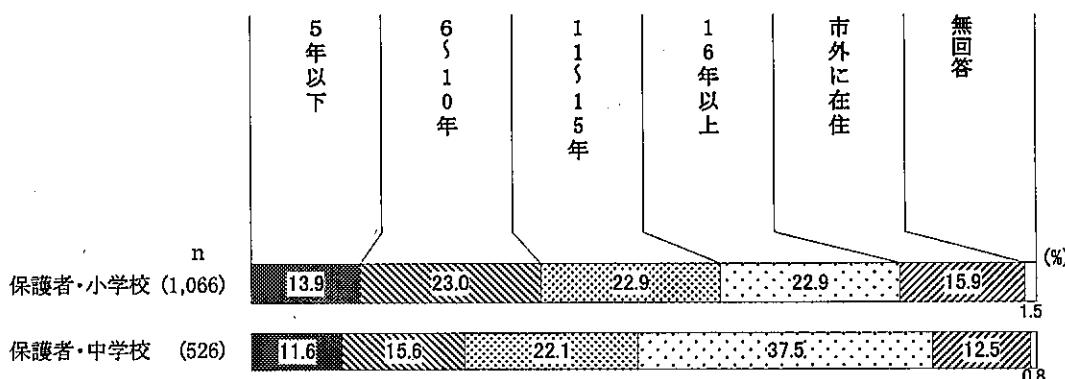
(4) 子どもの人数

		基数 (人)	平均 (人)
保護者・小学校	未就学児	196	1.1
	小学生	1,045	1.4
	中学生	306	1.0
	高校生以上	155	1.2
保護者・中学校	未就学児	40	1.2
	小学生	208	1.2
	中学生	514	1.1
	高校生以上	244	1.3

(5) 同居の家族



(6) 在住年数



2. 日常生活について

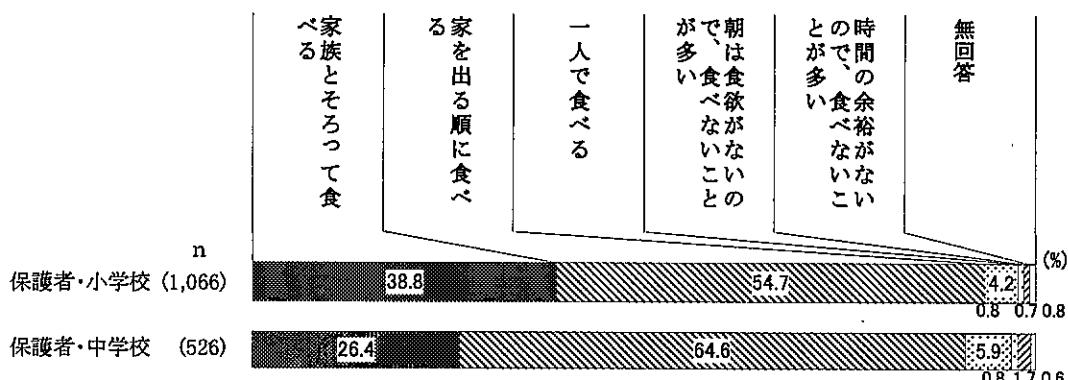
(1) 子どもの朝食と夕食のとり方

問6 通学日のお子さんの朝食のとり方は、次のどれに近いですか。(○は1つ)

問7 あなたの家族の夕食のとり方は、次のどれに近いですか。(○は1つ)

■朝食のとり方

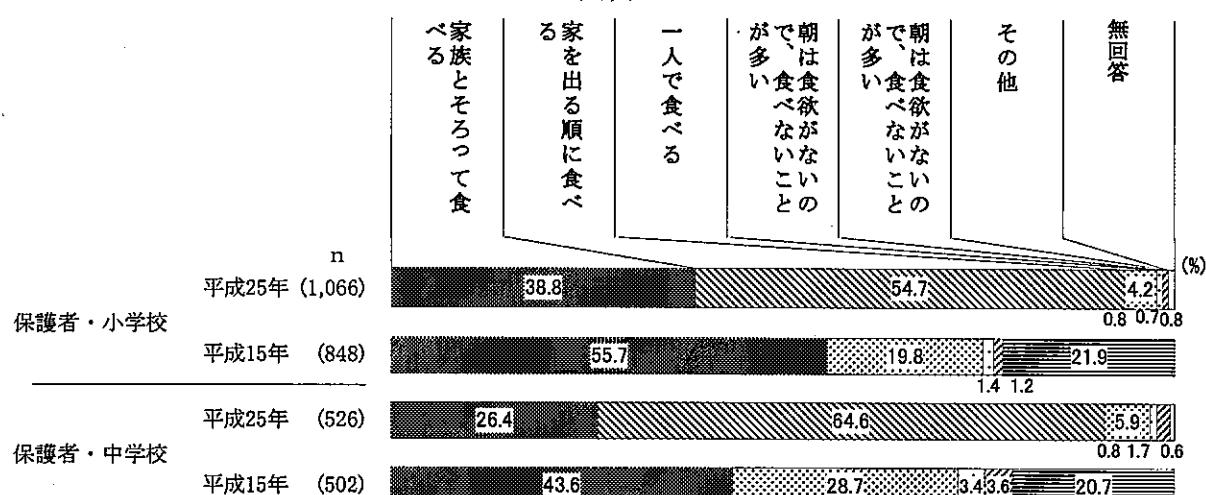
図表154



子どもの朝食のとり方については、「家を出る順に食べる」は中学校保護者64.6%、小学校保護者54.7%で中学校保護者が9.9ポイント高い。「家族とそろって食べる」は小学校保護者38.8%、中学校保護者26.4%で小学校保護者が12.4ポイント高い。「一人で食べる」は中学校保護者5.9%、小学校保護者4.2%となっている。「朝は食欲がないので、食べないことが多い」は両者とも0.8%、「時間の余裕がないので、食べないことが多い」は中学校保護者1.7%、小学校保護者0.7%となっている。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表155

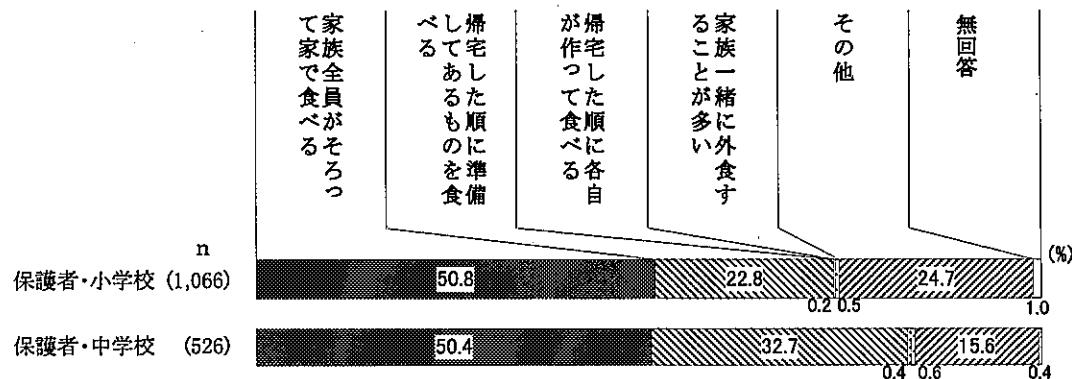


平成15年調査結果と比較すると、「家族とそろって食べる」は中学校保護者17.2ポイント、小学校保護者16.9ポイント、共に減少している。

注：平成15年調査では、「家を出る順に食べる」ではなく、「その他」の選択肢がある。「朝は食欲がないので、食べないことが多い」は「食欲なく食べない」、「時間の余裕がないので、食べないことが多い」は「余裕がなく食べない」となっている。

■夕食のとり方

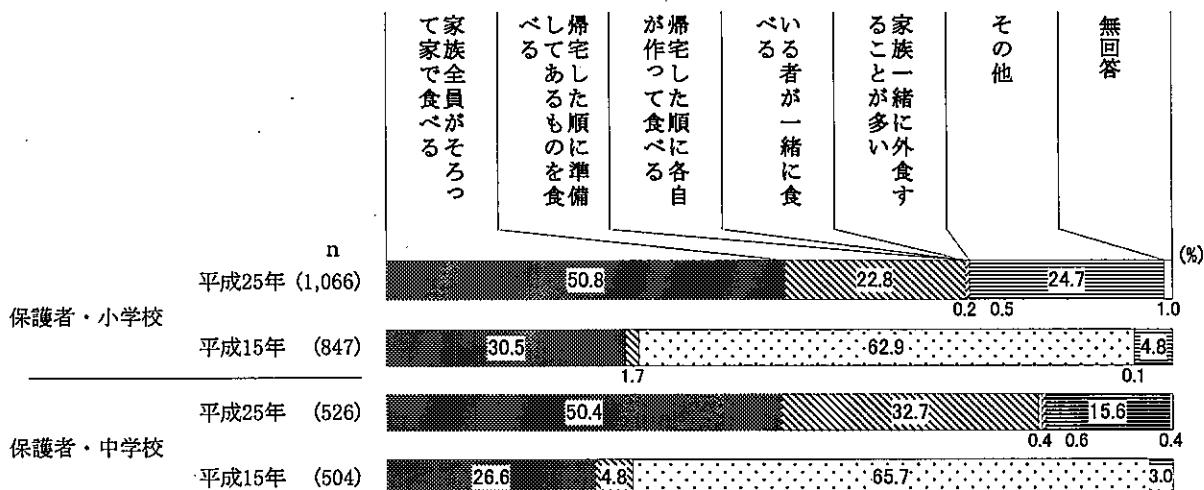
図表156



夕食のとり方は、「家族全員がそろって家で食べる」が小学校、中学校の保護者とも約5割で最も多く、「帰宅した順に準備してあるものを食べる」は中学校保護者32.7%、小学校保護者22.8%で中学校保護者が9.9ポイント高い。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表157



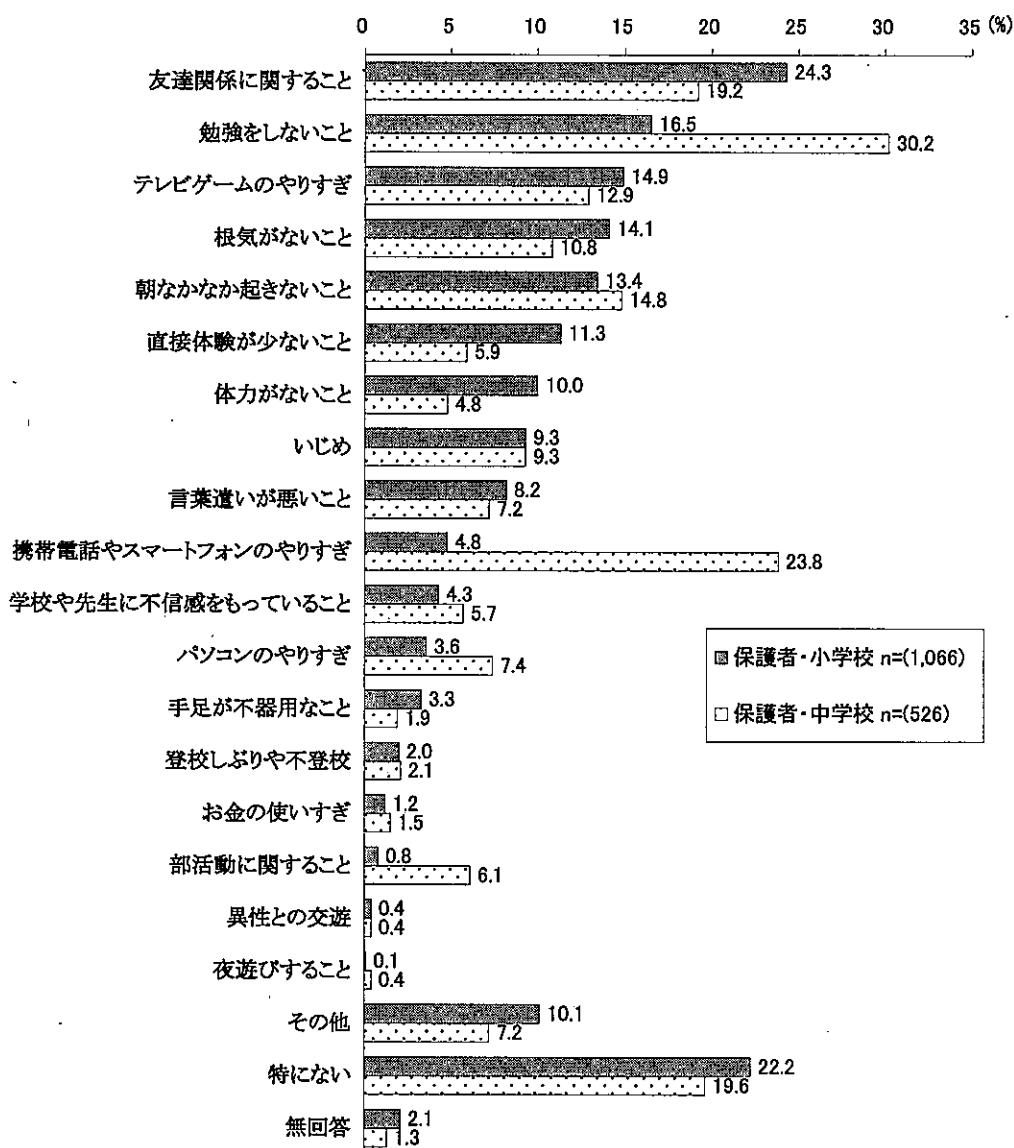
平成15年調査結果と比較すると、「家族全員がそろって家で食べる」は中学校保護者23.8ポイント、小学校保護者20.3ポイントそれぞれ増加している。平成15年調査では「いる者が一緒に食べる」が中学校保護者65.7%、小学校保護者62.9%と最も高い。

注：平成15年調査では、「帰宅した順に各自が作つて食べる」の選択肢はなく、また、今回の調査では、「いる者が一緒に食べる」の選択肢はない。

(2) 子どもの日常生活についての心配ごと

問8 あなたの子さんの日常生活について、特に心配していることがありますか。
(○は3つまで)

図表158



日常生活について特に心配していることは、小学校保護者では「友達関係に関するこ」が24.3%で最も高く、「勉強をしないこと」16.5%、「テレビゲームのやりすぎ」14.9%、「根気がないこと」14.1%となっている。中学校保護者では「勉強をしないこと」が最も高く30.2%、次いで「携帯電話やスマートフォンのやりすぎ」23.8%、「友達関係に関するこ」19.2%と続いている。一方、「特にない」は小学校保護者22.2%、中学校保護者19.6%である。

第2章 調査結果の詳細

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表159

(%)

	朝なかなか起きない	勉強しないこと	言葉遣いが悪い	根気がない	体力がない	いじめ	教師に不信感をもつ	学校から疲れて帰宅	長電話やメール交換	不登校	お小遣いの使い過ぎ
小学校	31.4	30.2	24.6	19.2	12.5	11.8	8.7	7.4	2.8	2.6	2.0
中学校	28.8	36.6	16.7	22.1	12.1	7.1	10.7	21.0	9.6	1.1	3.8
	夜遊びすること	異性との交遊	その他								
小学校	0.4	0.1	18.3								
中学校	0.7	1.1	14.3								

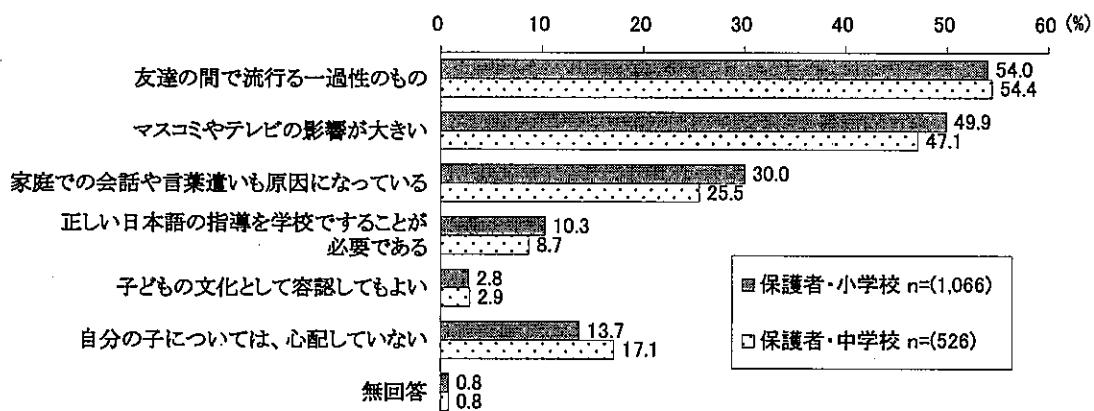
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、中学校保護者で「携帯電話やスマートフォンのやりすぎ」（平成15年調査では「長電話やメールの交換」）が大きく増加している。「根気がないこと」「朝なかなか起きないと」「言葉遣いが悪いこと」「学校や先生に不信感をもっていること」は小学校、中学校ともに減少している。

(3) 子どもの言葉の乱れについて

問9 あなたは、子どもの言葉の乱れについて、どのように思いますか。(○は2つ以内)

図表160



子どもの言葉の乱れについては、「友達の間で流行る一過性のもの」が小学校、中学校の保護者とも54.0%で最も高く、次いで「マスコミやテレビの影響が大きい」が小学校保護者49.9%、中学校保護者47.1%である。「家庭での会話や言葉遣いも原因になっている」は小学校保護者30.0%、中学校保護者25.5%となっている。一方、「自分の子については、心配していない」は中学校保護者17.1%、小学校保護者13.7%である。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表161

	家庭での注意が必要	マスコミ、テレビの影響	友だち間の流れ	学校での指導が大切	子ども文化として容認	その他	(%)
小学校	65.4	44.4	38.4	13.2	3.7	3.3	
中学校	62.8	39.2	35.8	11.8	4.1	7.1	

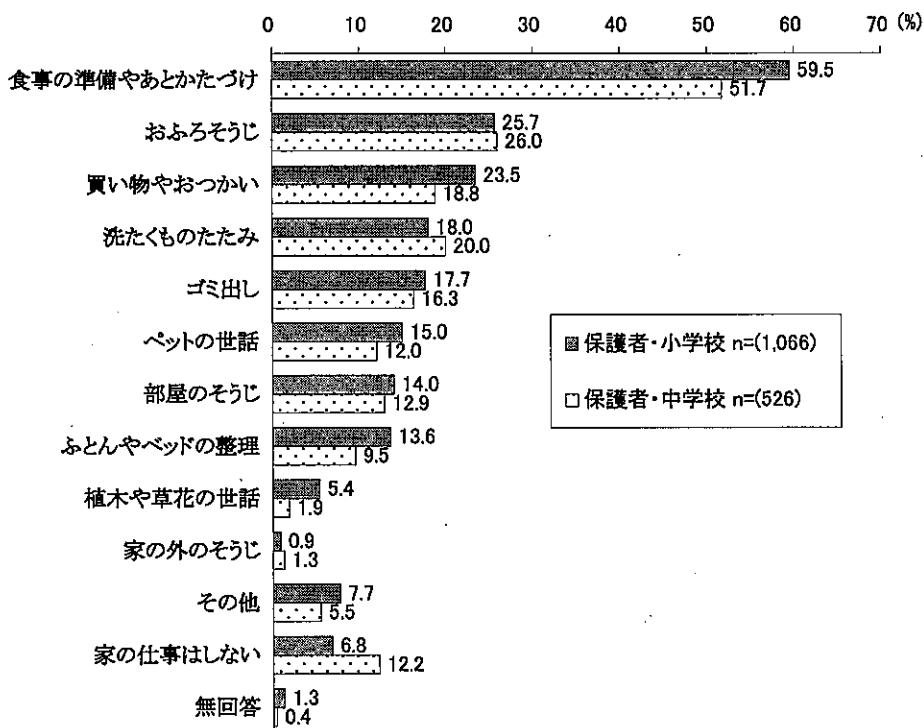
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、小学校、中学校ともに「友達の間で流行る一過性のもの」が大きく増加し、「マスコミやテレビの影響が大きい」も増加している。「正しい日本語の指導を学校ですることが必要である」は減少している。

(4) 子どもの家事・手伝い

問10 次にあげた家事のうち、あなたのお子さんが特によくやっている仕事はどれですか。
(○は3つ以内)

図表162



子どもの家事・手伝いについては、「食事の準備やあとかたづけ」が最も高く、小学校保護者59.5%、中学校保護者51.7%で半数を超える。家事・手伝いの中では高い割合となっている。次いで、「おふろそうじ」は中学校保護者26.0%、小学校保護者25.7%、「買い物やおつかい」は小学校保護者23.5%、中学校保護者18.8%となっている。「洗たくものたたみ」「ゴミ出し」も1割台後半から2割となっている。一方、「家の仕事はしない」は中学校保護者12.2%、小学校保護者6.8%である。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表163

	食事の準備、後片付け	買い物やお使い	風呂場の掃除	ゴミの分別運び出し	ペット動物の世話	布団・ベッドの整理	洗濯・取り込み	その他	家の内外の掃除	植物や草花の世話	(%)
小学校	57.9	30.0	29.9	23.1	21.2	18.1	17.5	8.0	5.1	4.3	
中学校	50.3	26.2	29.2	19.4	14.9	19.6	24.5	11.5	3.6	1.1	

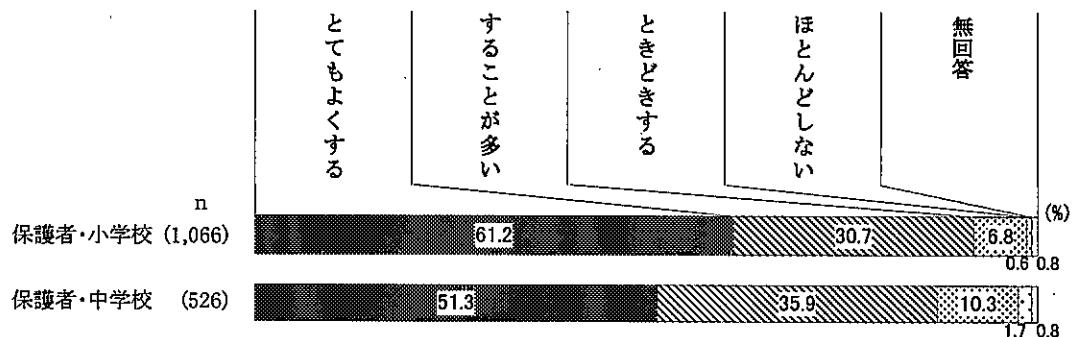
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、小学校、中学校ともに「買い物やおつかい」は減少している。

(5) 家庭内のあいさつ

問11 あなたの家では、家族同士で「おはようございます」「いただきます」「お休みなさい」等のあいさつをどれ位しますか。(○は1つ)

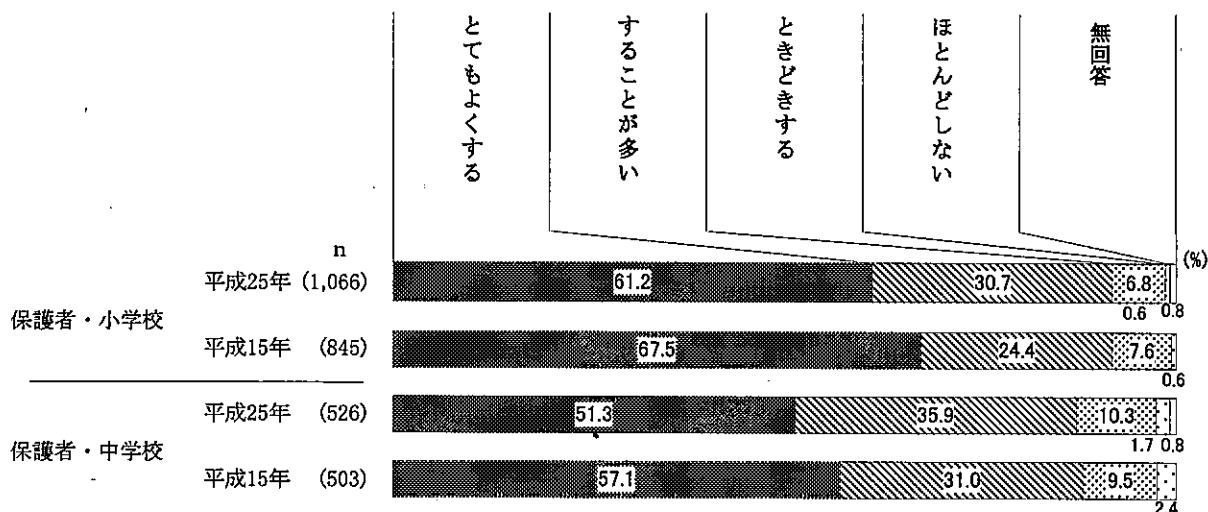
図表164



家族同士の「おはようございます」「いただきます」「お休みなさい」等のあいさつについては、「とてもよくする」は小学校保護者が61.2%、中学校保護者は51.3%となっている。「することが多い」は中学校保護者35.9%、小学校保護者30.7%、「ときどきする」は中学校保護者10.3%、小学校保護者6.8%となっている。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表165

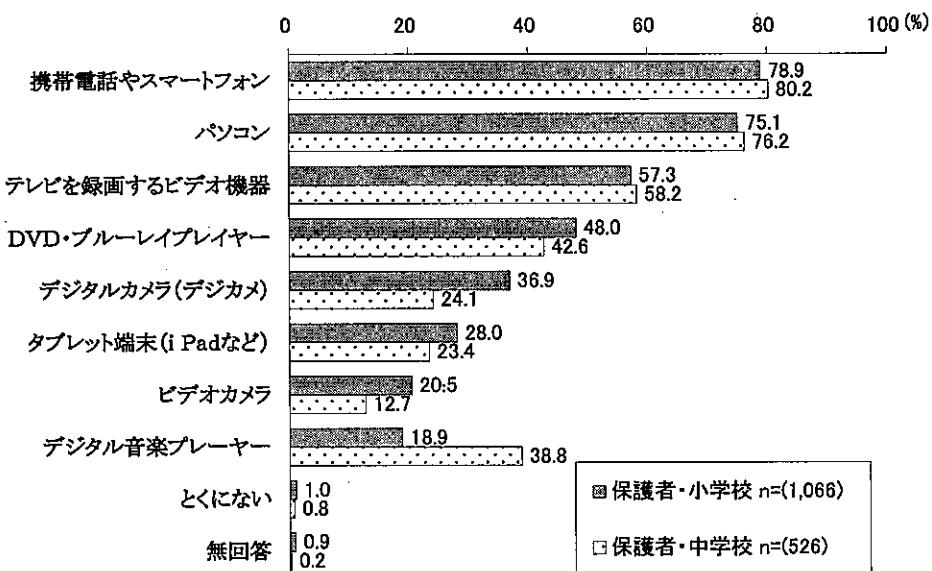


平成15年調査結果と比較すると「とてもよくする」は共に少し減少しているが、「することが多い」は増加しており、合わせるとほとんど変化は見られない。

(6) 家庭でよく使う機器

問12 あなたの家でよく使う機器は、どれですか。(○はいくつでも)

図表166



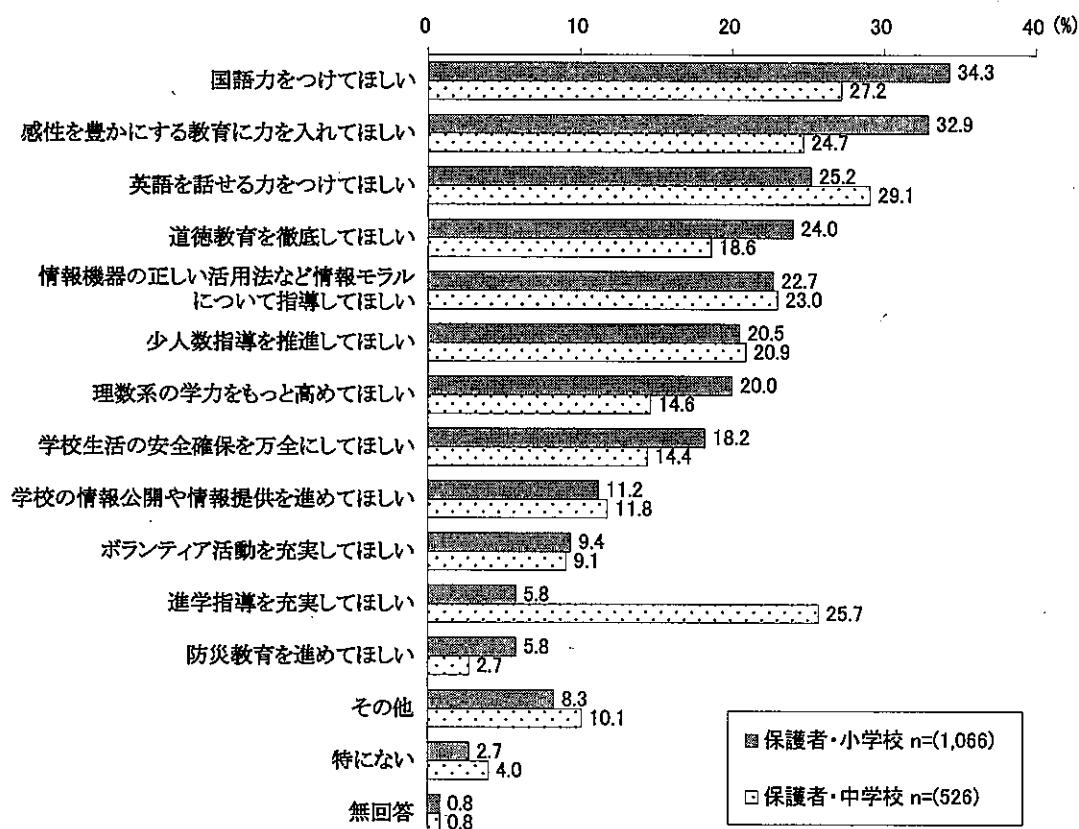
家でよく使う機器については、「携帯電話やスマートフォン」が中学校保護者80.2%、小学校保護者78.9%で最も高く、次いで「パソコン」が中学校保護者76.2%、小学校保護者75.1%となっている。「テレビを録画するビデオ機器」が両者とも5割台後半、「DVD・ブルーレイプレイヤー」が小学校保護者48.0%、中学校保護者42.6%と4割を超えて高い。また、「デジタル音楽プレーヤー」は中学校保護者で38.8%と高く、「デジタルカメラ(デジカメ)」は小学校保護者が36.9%と高い。

3. 学校への要望等について

(1) 学校に特に望んでいること

問13 あなたが学校に特に望んでいることは、何ですか。(○は3つ以内)

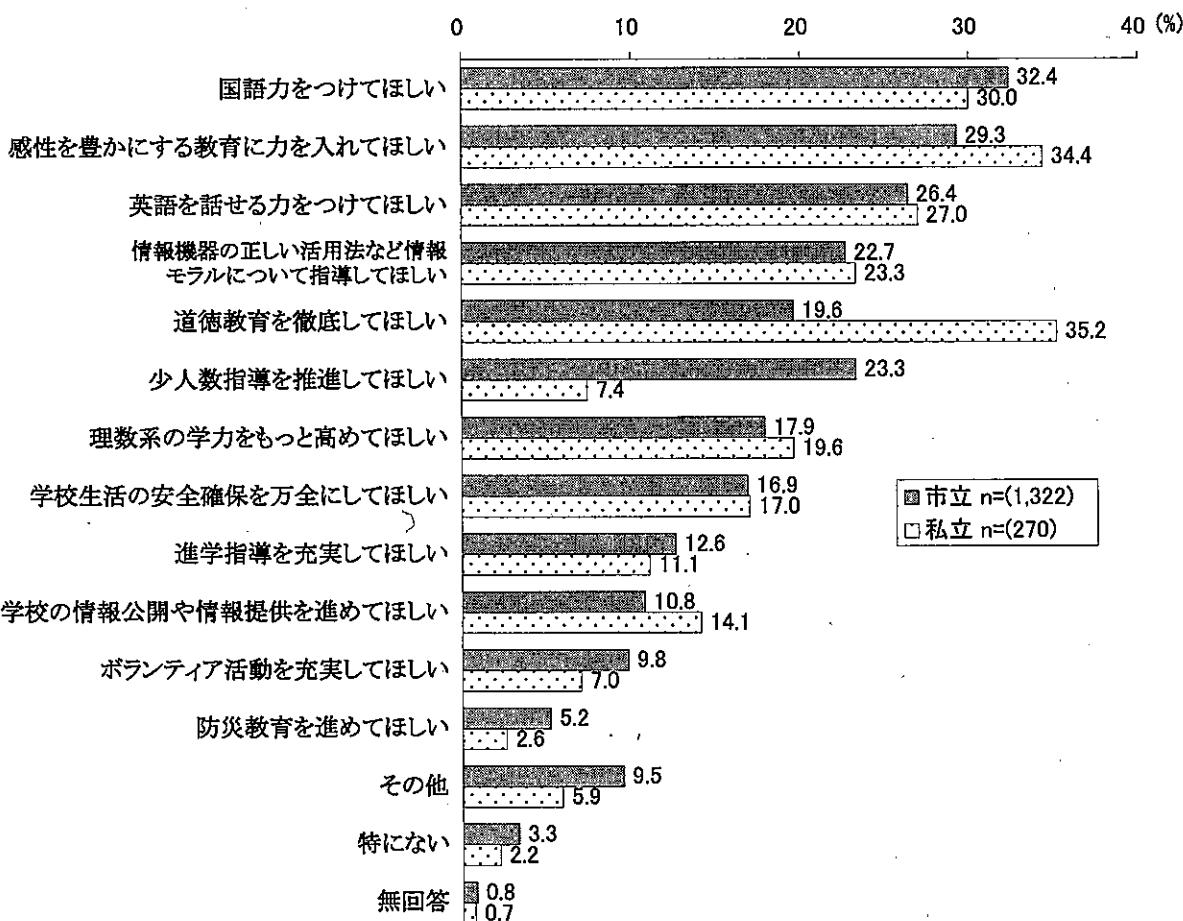
図表167



学校に特に望んでいることについては、「国語力をつけてほしい」は小学校保護者34.3%、中学校保護者27.2%となっている。次いで「感性を豊かにする教育に力を入れてほしい」が小学校保護者32.9%、中学校保護者24.7%。「英語を話せる力をつけてほしい」は中学校保護者29.1%、小学校保護者25.2%となっている。「情報機器の正しい活用法など情報モラルについて指導してほしい」は中学校保護者23.0%、小学校保護者22.7%で差はない。また、「進学指導を充実してほしい」は小学校保護者5.8%に対して中学校保護者が25.7%と高くなっている。「防災教育を進めてほしい」は小学校保護者5.8%、中学校保護者2.7%で低い割合となっている。

公立／私立別

図表168



公立／私立別では、「少人数指導を推進してほしい」で市立が私立を15.9ポイント上回っている。一方で、「道徳教育を徹底してほしい」は私立の方が15.6ポイント高い。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表169

(%)

	感性を豊かにする	少人数指導をおこなう	英語を話せる力をつける	ルールやマナーを教える	国語力をつける	安全確保を万全にする	学校情報の公開を進める	道徳教育を徹底する	理数系の学力を高める	体力をつける	ボランティア活動を盛んにする
小学校	35.6	32.8	29.6	24.1	20.8	19.6	18.5	13.9	12.9	12	11.6
中学校	31.6	37.6	35.6	20.9	17.1	12.7	19.5	14.5	10.1	5.6	13.3
進学指導を充実する	その他										
小学校	10.7	9.3									
中学校	19.5	9.1									

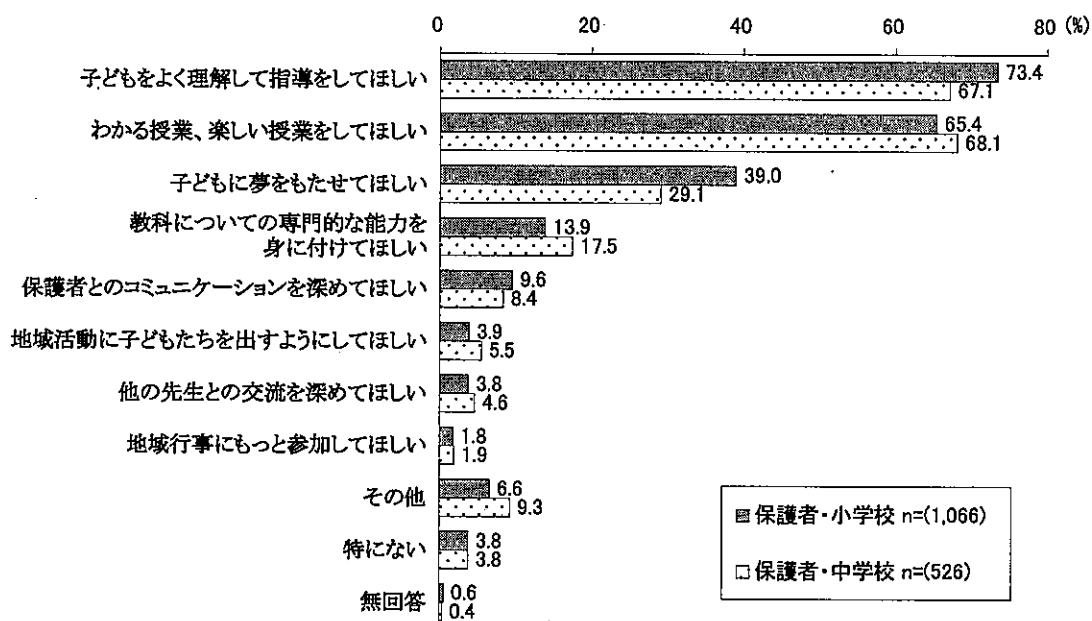
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、小学校、中学校とともに「国語力をつけてほしい」「道徳教育を徹底してほしい」「理数系の学力をもっと高めてほしい」が増加している。「感性を豊かにする教育に力を入れてほしい」と「英語を話せる力をつけてほしい」は減少している。中学校保護者では「進学指導を充実して欲しい」が大きく増加している。

(2) 教師の指導について望むこと

問14 あなたは教師の指導についてどのようなことを望みますか。(○は3つ以内)

図表170

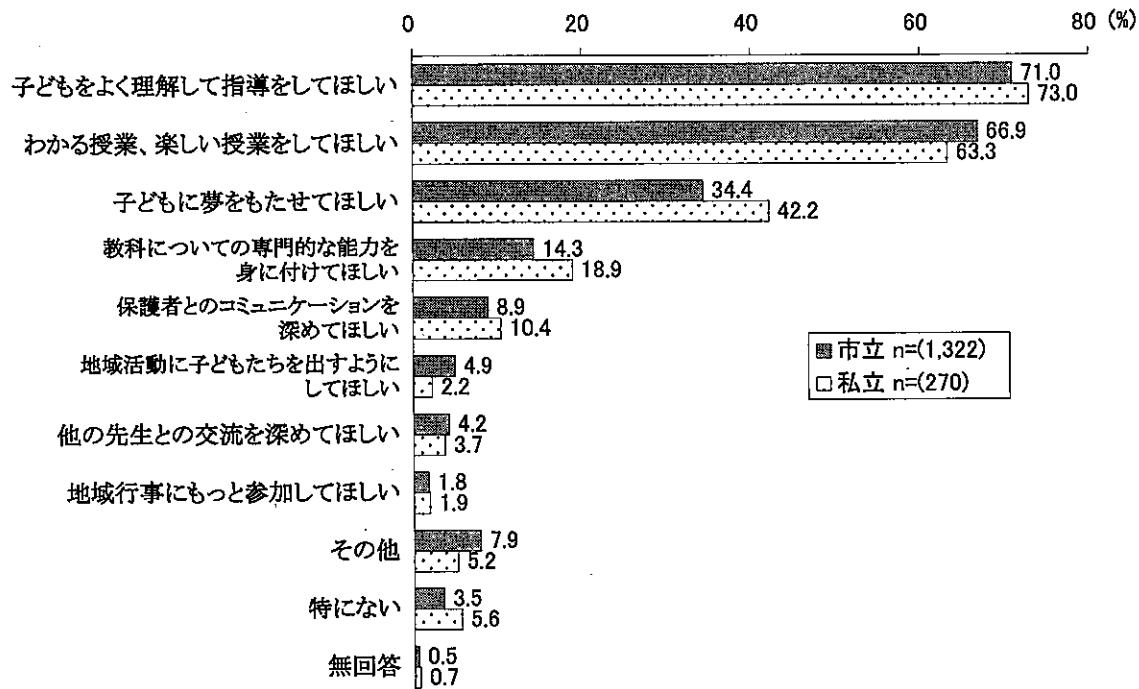


教師の指導について望むことは、「子どもをよく理解して指導して欲しい」が小学校保護者73.4%、中学校保護者67.1%で高く、次いで「わかる授業、楽しい授業をしてほしい」が中学校保護者68.1%、小学校保護者65.4%となっている。「子どもに夢をもたせてほしい」は小学校保護者39.0%、中学校保護者29.1%で小学校保護者が約10ポイント高い。

第2章 調査結果の詳細

公立／私立別

図表171



公立／私立別では、「子どもに夢をもたせてほしい」で私立が市立を7.8ポイント上回っている。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表172

(%)

	子どもの理解に基づく指導	わかる授業、楽しい授業	子どもに夢を持たせる	ルールやマナーの指導	教科の専門的な能力	保護者とのコミュニケーション	地域行事への参加	地域活動への子どもの参加	その他
小学校	75.9	70.7	36.1	18.0	16.9	11.4	3.4	3.4	7.7
中学校	73.1	75.4	34.3	11.3	23.8	10.9	3.2	3.2	5.7

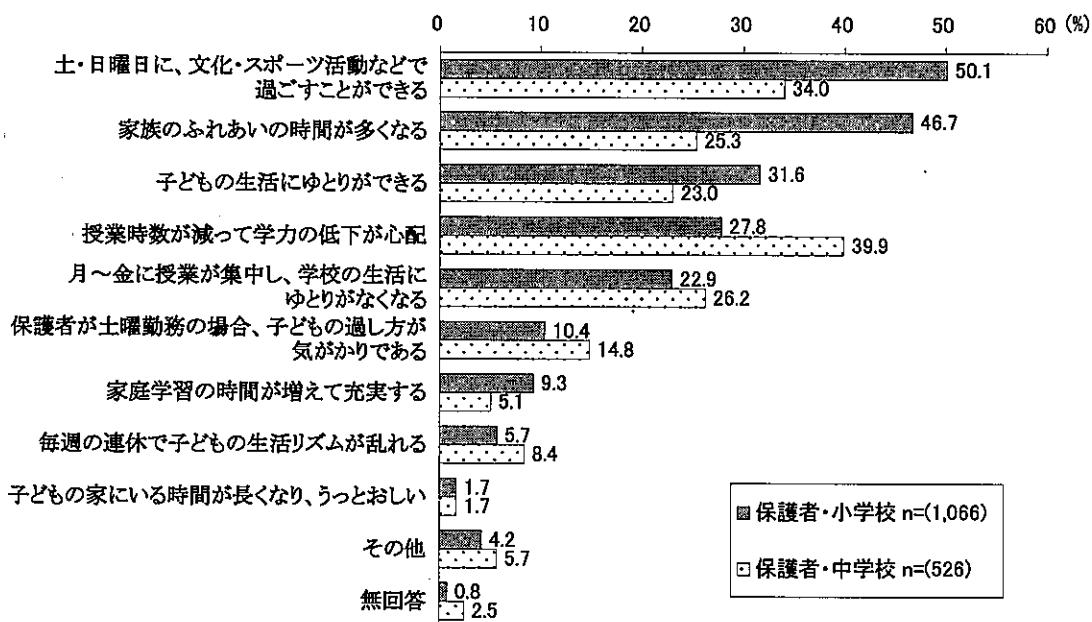
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、中学校保護者では「子どもをよく理解して指導をしてほしい」「わかる授業、楽しい授業をしてほしい」「子どもに夢をもたせてほしい」「教科についての専門的な能力を身に付けてほしい」などが減少している。

(3) 学校週5日制について

問15 あなたは、学校週5日制についてどのように思っていますか。(○は3つ以内)

図表173

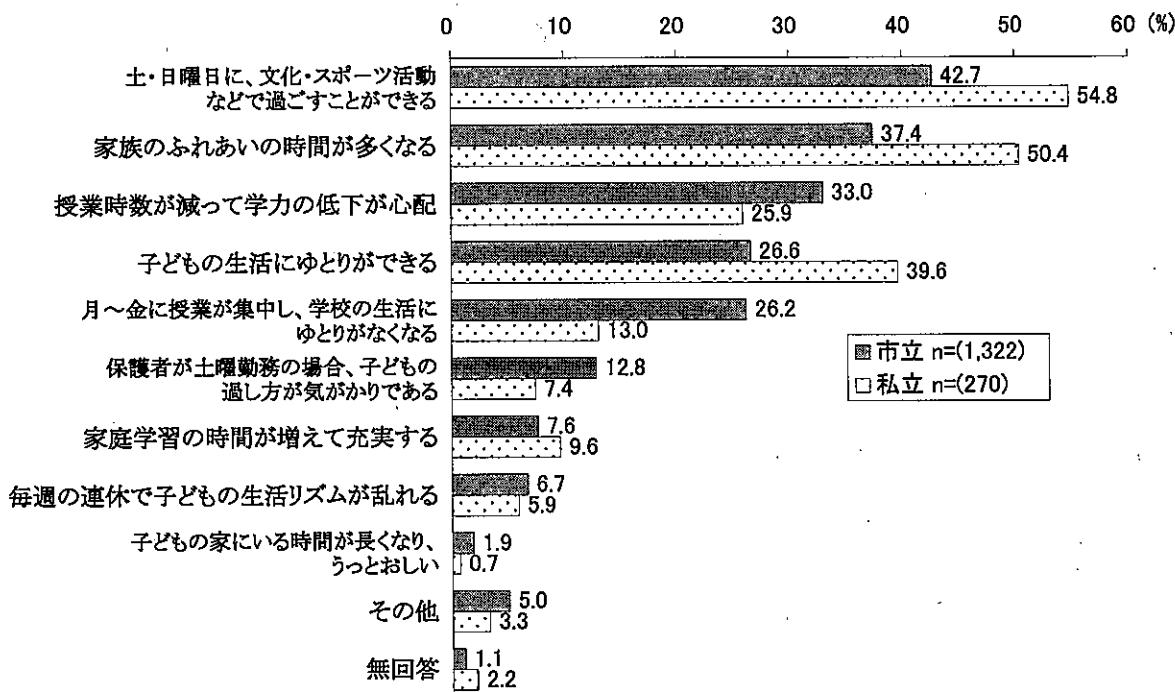


学校週5日制については、「土・日曜日に、文化・スポーツ活動などで過ごすことができる」は小学校保護者が50.1%と高く、中学校保護者では16.1ポイント低い34.0%となっている。「家族のふれあいの時間が多くなる」は小学校保護者が46.7%、中学校保護者25.3%で21.4ポイント低い。中学校保護者では「授業時数が減って学力の低下が心配」が39.9%で高い。「月～金に授業が集中し、学校生活にゆとりがなくなる」は中学校保護者26.2%、小学校保護者22.9%となっている。

第2章 調査結果の詳細

公立／私立別

図表174



公立／私立別では、「土・日曜日に、文化・スポーツ活動などで過ごすことができる」「家族のふれあいの時間が多くなる」「子どもの生活にゆとりができる」で私立が市立を10ポイント以上上回っている。一方、「月～金に授業が集中し、学校の生活にゆとりがなくなる」は13.2ポイント、「保護者が土曜勤務の場合、子どもの過ごし方が気がかりである」は5.4ポイント市立の方が私立よりも高い。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表175

	(%)										
	家族との諸活動が増えた	体験的な学習ができる	親子の触れ合いが増えた	家庭学習の時間が増えた	学習塾の時間が増えた	学力の低下が心配	子どもの生活にゆとりができる	生活リズムが乱れ気味	学校生活にゆとりがなくなった	子どもが家にいてうつとうしい	その他
小学校	16.6	7.8	23.3	8.2	9.0	51.5	17.4	16.8	50.3	2.5	12.5
中学校	7.2	2.6	17.9	6.6	11.7	52.3	20.7	22.5	54.7	1.6	13.9

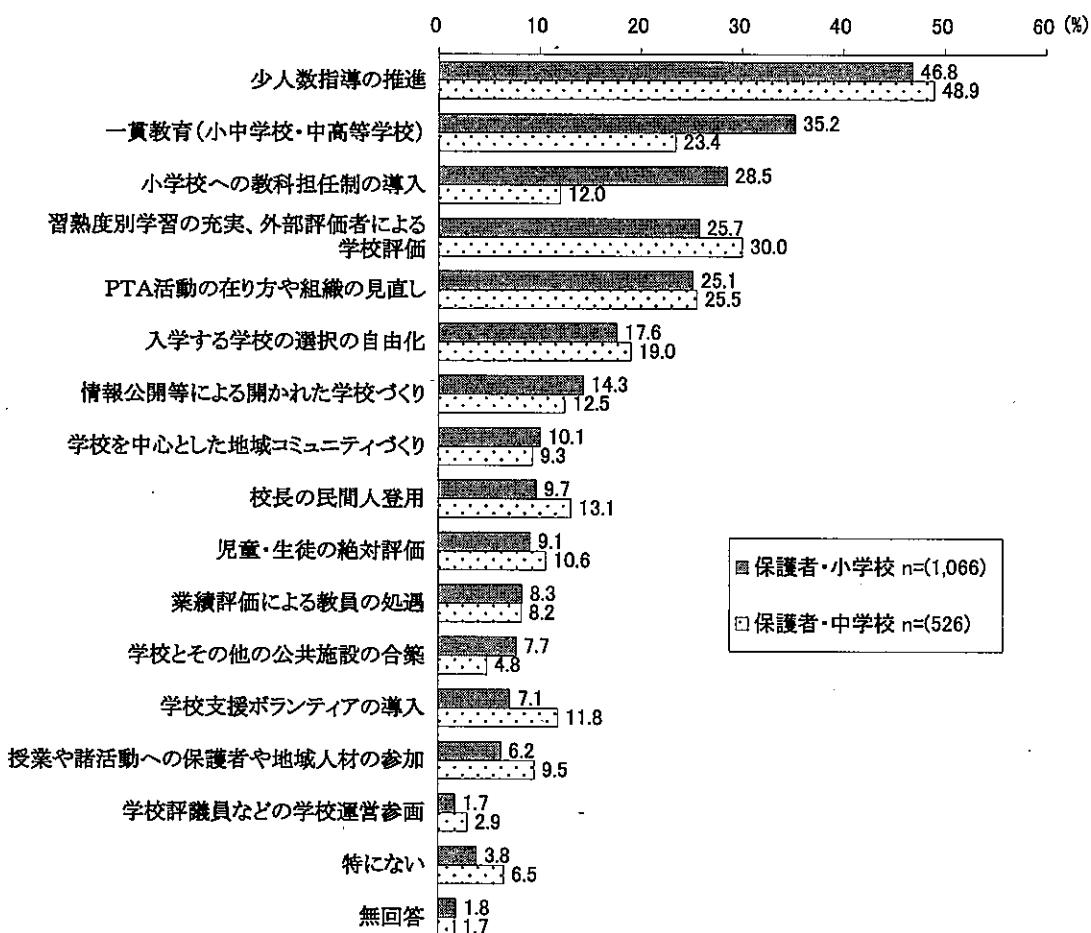
注：平成15年調査は無回答を除いた数値

平成15年調査と比較すると、小学校、中学校ともに「授業時数が減って学力の低下が心配」「月～金に授業が集中し、学校の生活にゆとりがなくなる」などが大きく減少している。

(4) 学校の改善充実に向けた施策や取り組みへの関心

問16 学校を改善充実するため、次のような施策や学校等での取り組みが行われていますが、あなたはどれに関心をもちますか。(○は4つ以内)

図表176

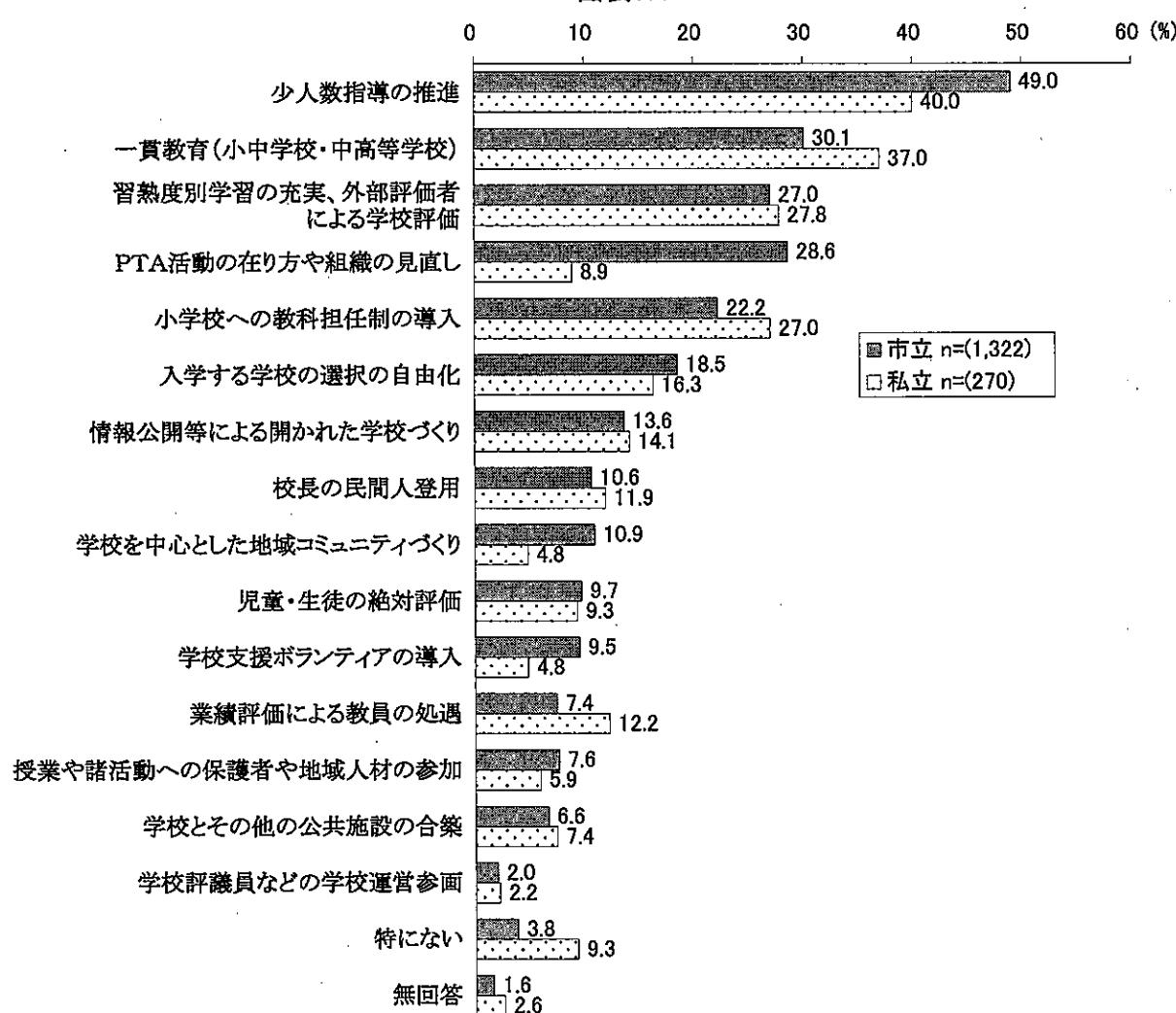


学校の改善充実に向けた施策や取り組みへの関心については、「少人数指導の推進」が両保護者とも関心が高く、中学校48.9%、小学校46.8%となっている。同様に「習熟度別学習の充実、外部評価者による学校評価」、「PTA活動の在り方や組織の見直し」も両者の関心が高い。小学校保護者では「一貫教育（小中学校・中高等学校）」が35.2%、「小学校への教科担任制の導入」が28.5%と高くなっている。

第2章 調査結果の詳細

公立／私立別

図表177



公立／私立別では、「少人数指導の推進」で9.0ポイント、「PTA活動の在り方や組織の見直し」で19.7ポイント市立が私立を上回っている。一方、「一貫教育（小中学校・中高等学校）」や「小学校への教科担任制の導入」「業績評価による教員の待遇」は私立の方が高い。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表178

(%)

	習熟度別などの少人数指導	一貫教育	小学校の教科担任制	PTA活動の見直し	業績評価による教育の待遇	通学区域の弾力化	授業への地域人材の参加	外部の学校評価	学校情報の公開	学校と公共施設の複合化	校長の民間人登用
小学校	43.9	35.3	30.6	23.0	22.7	17.8	14.4	13.0	13.0	10.8	10.4
中学校	52.7	36.4	17.1	24.1	25.9	13.4	18.3	13.0	16.5	11.9	8.4
	地域コミュニティづくり	学校支援ボランティア	児童生徒の絶対評価	学校運営への参画							
小学校	10.4	9.4	9.0	5.6							
中学校	10.3	15.0	12.1	6.4							

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

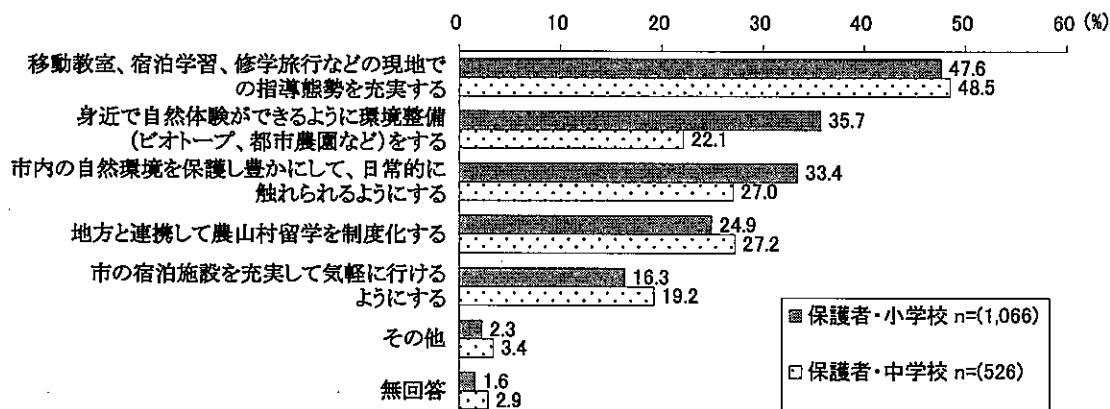
平成15年調査における「関心をもっている公立学校の改善充実策」の回答結果は、上記のとおりとなっている。

4. 子どもの成長について

(1) 子どもの体験活動について

問17 あなたは、子どもの体験活動について、どのようにお考えですか。
(近いもの2つ以内に○)

図表179

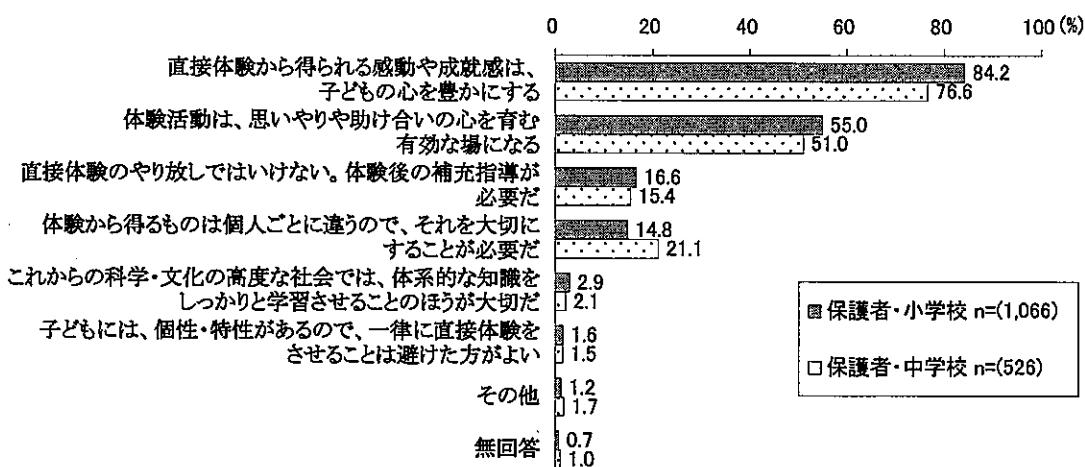


子どもの体験活動については、「移動教室、宿泊学習、修学旅行などの現地での指導態勢を充実する」が中学校保護者48.5%、小学校保護者47.6%と高い。小学校保護者では「身近で自然体験ができるように環境整備（ビオトープ、都市農園など）をする」が35.7%、「市内の自然環境を保護し豊かにして、日常的に触れられるようにする」が33.4%となっている。

(2) 体験活動と子どもの心身の成長について

問18 あなたは、体験活動と子どもの心身の成長について、どのようにお考えですか。
(近いもの2つ以内に○)

図表180



第2章 調査結果の詳細

子どもの体験活動と子どもの心身の成長については、「直接体験から得られる感動や成就感は、子どもの心を豊かにする」が小学校保護者84.2%、中学校保護者76.6%と高く、次いで「体験活動は、思いやりや助け合いの心を育む有効な場になる」は小学校保護者55.0%、中学校保護者51.0%である。

【経年比較】平成15年武藏野市子ども生活実態調査との比較

図表181

(%)

	感動が心を豊かにする	思いやりの心を育む	得るものでは個人で違う	体験後の補充指導が	一律の直接体験は避け	体系的な知識の学習	その他
小学校	74.5	43.7	28.1	20.9	4.9	1.4	1.7
中学校	69.4	42.5	33.7	16.9	5.8	0.4	1.8

注：平成15年調査は無回答を除いた数値

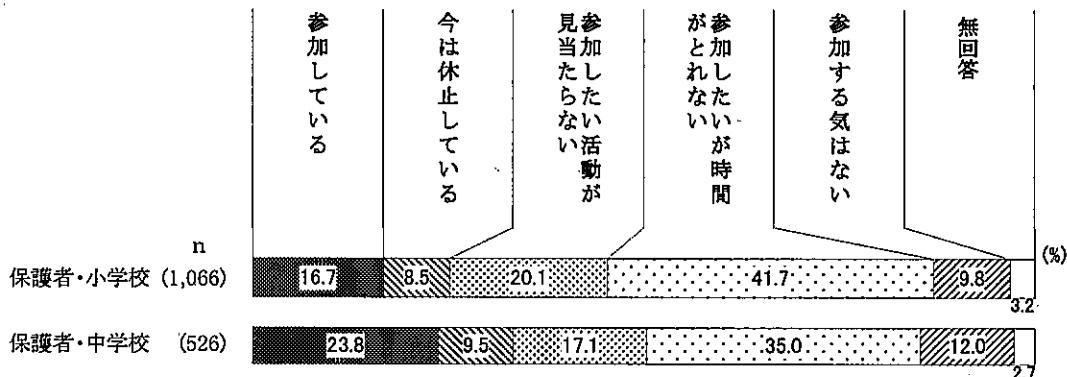
平成15年調査と比較すると、「体験から得るものは個人ごとに違うので、それを大切にすることが必要だ」（平成15年調査では「得るものは個人で違う」）を除く項目で小学校、中学校ともに増加している。「体験から得るものは個人ごとに違うので、それを大切にすることが必要だ」は小学校で半減し、中学校でも12.6ポイント減少している。

5. 地域活動への参加について

(1) 保護者自身の地域活動への参加状況

問19 あなたは、お住まいの町の地域活動に参加していますか。(○は1つ)

図表182



住んでいる町の地域活動への参加については、「参加したいが時間がとれない」「参加したい活動が見当たらない」が小学校保護者61.8%、中学校保護者52.1%で高い。一方、「参加している」は中学校保護者23.8%、小学校保護者は7.1ポイント低く16.7%となっている。また、「参加する気はない」は中学校保護者12.0%、小学校保護者9.8%である。

問20 どのような地域活動に参加していますか。

参加している団体名、活動内容を記入していただいたところ、254人から回答が寄せられた。一つの回答に複数の団体名がある場合は複数回答として分類し、ここでは団体名、件数を掲載する。

図表183

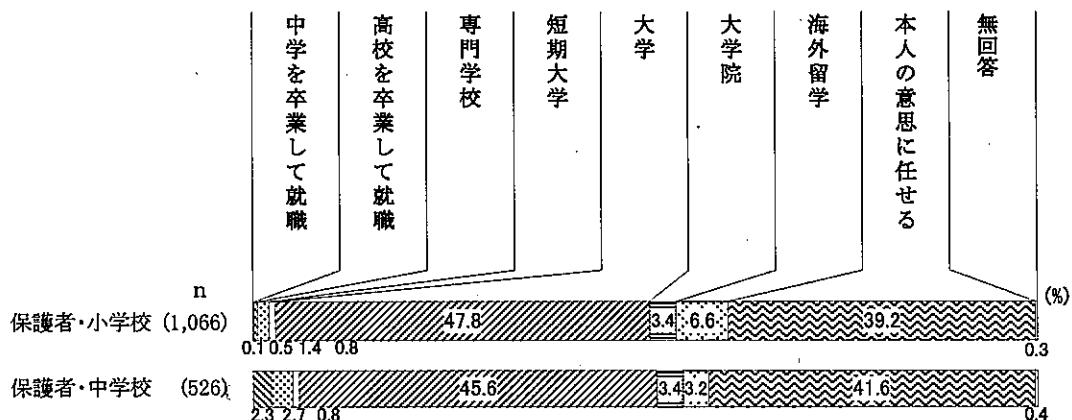
団体名	件数
青少年問題協議会	55
スポーツに関する団体	29
子ども会	27
PTA	24
ボランティア活動	24
自治会、町内会、商店会など	22
コミュニティ協議会	16
地域子ども館あそべえ	15
地区班活動	14
消防団、防災ボランティア	12
福祉の会	7
合唱団、吹奏楽	4
その他の活動	34
合計	283

6. その他

(1) 子どもの将来の進路について

問21 あなたは、お子さんを将来どのような進路に進ませたいですか。(○は1つ)

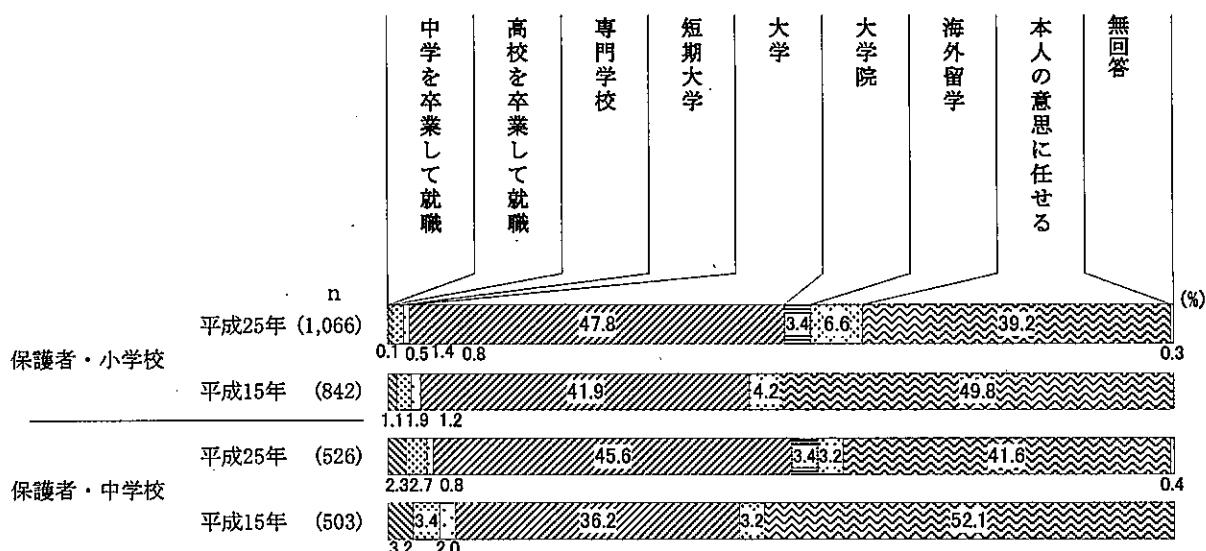
図表184



子どもの将来の進路については、小学校、中学校の保護者とも「大学」が最も高く、小学校保護者47.8%、中学校保護者45.6%となっている。次いで「本人の意思に任せる」が中学校保護者41.6%、小学校保護者39.2%である。

【経年比較】平成15年武蔵野市子ども生活実態調査との比較

図表185



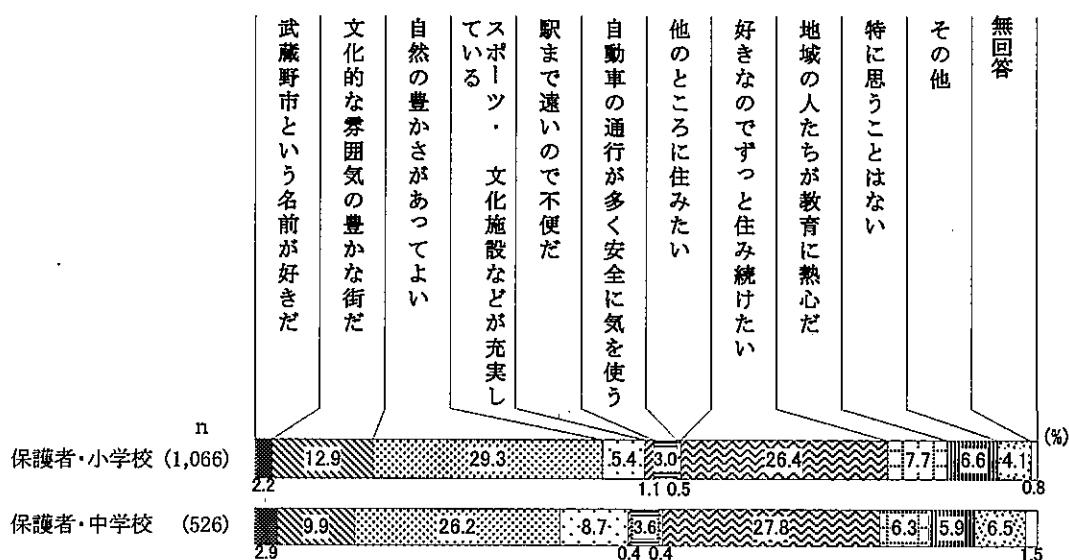
平成15年調査結果と比較すると、将来の進路として「大学」は中学校保護者9.4ポイント、小学校保護者5.9ポイントそれぞれ増加している。一方「本人の意思に任せる」は小学校保護者10.6ポイント、中学校保護者10.5ポイント減少している。

注：平成15年調査では選択肢が「大学・大学院」となっているため、上記グラフは「大学」の項目に入れている。

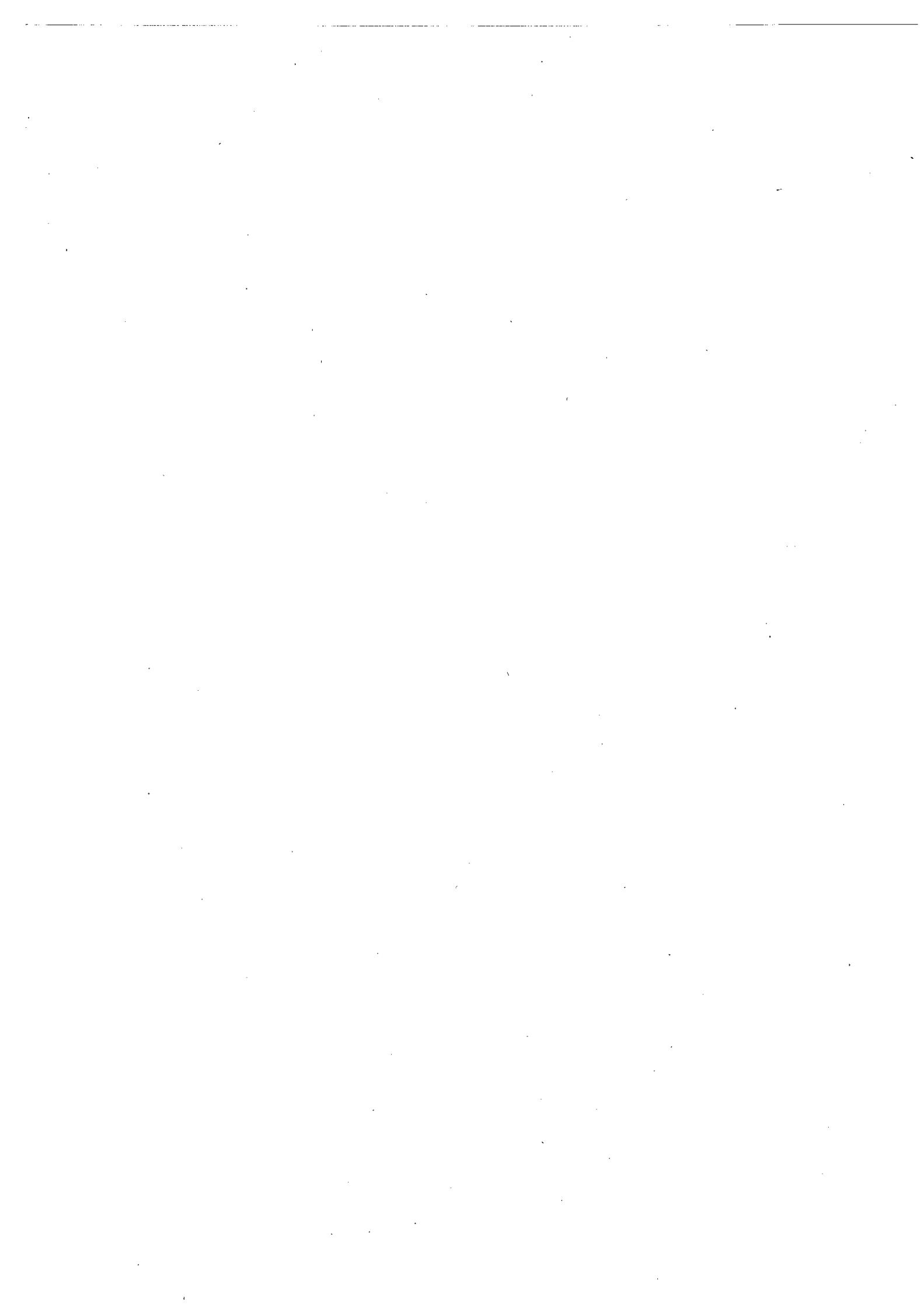
(2) 武蔵野市に対する気持ち

問22 あなたは武蔵野市にどのような気持ちをもっていますか。(○は1つ)

図表186



武蔵野市に対する気持ちについては、「自然の豊かさがあつてよい」が小学校保護者29.3%、中学校保護者26.2%で高く、「好きなのでずっと住み続けたい」が中学校保護者27.8%、小学校保護者26.4%でほぼ同じ割合である。



第3章 調査票



武藏野市教育委員会

平成25年度

むさしの
じゅうたいじょうさ
武藏野市子ども生活実態調査
(小学校4・6年生用)

答え方

- ◎答えをえらべるように書いてありますから、その中からあてはまるものを さがしてその番号を ○で かこんでください。
- ◎「その他」をえらんだときは、自分の答えを()の中に書いてください。
- ◎あてはまる答えがいくつかある場合は、いくつ答えるかをそれぞれ決めてありますので、その数だけ番号を○でかこんでください。

学校・学年・性別について**問1 あなたの学校の番号を○でかこんでください。**

【市立小学校】

- 1) 第一小 2) 第二小 3) 第三小 4) 第四小 5) 第五小 6) 大野田小
 7) 境南小 8) 本宿小 9) 千川小 10) 井之頭小 11) 関前南小 12) 桜野小

【私立小学校】

- 1) 成蹊小 2) 聖徳小

問2 あなたは、何年生ですか。

- 1) 4年生 2) 6年生

問3 あなたの性別は、どちらですか。

- 1) 男 2) 女

人とのかかわりや言語活動について**問4 あなたは、家族に「おはようございます」、「いただきます」、「おやすみなさい」などの
あいさつを していますか。(○は1つ)**

- 1) とてもよくする 2) することが多い 3) ときどきする 4) ほとんどしない

問5 あなたは、地域や近所の人に会ったとき、あいさつをしますか。(○は1つ)

- 1) 自分からすすんであいさつする 2) あいさつされたときはする
 3) はずかしいのであまりあいさつしない 4) 話したくないのであいさつしない
 5) なんとなくしない 6) その他 ()

問6 あなたは、先生や友だちとよく話をしますか。(○は1つ)

- 1) とてもよくする 2) することが多い 3) ときどきする 4) ほとんどしない

問7 あなたは、らんぼうな言葉やきたない言葉を使うことがありますか。(○は1つ)

- 1) よく使う 2) 使うことが多い 3) ときどき使う 4) ほとんど使わない

問8 あなたは、本を読んでいたりして、わからない文字や言葉があったとき、どうしますか。

(○は2つまで)

- 1) 先生に聞く 2) 家族に聞く 3) 友だちに聞く 4) 辞書などで調べる
5) インターネットなどで調べる 6) わからなくとも気にしない
7) その他 ()

問9 授業中、わからないことがあったとき、質問しますか。(○は1つ)

- 1) よく質問する 2) 質問することが多い 3) ときどき質問する
4) ほとんど質問しない

問10 クラスの話し合いなどのとき、自分の意見を言いますか。(○は1つ)

- 1) よく意見を言う 2) 意見を言うことが多い 3) ときどき意見を言う
4) ほとんど意見を言わない

問11 あなたは、友だちに相談したいとき、どうすることが多いですか。(○はいくつでも)

- 1) 会って話す 2) 電話をかける 3) 手紙を書く 4) メールを送る
5) LINEなどのメールアプリを使う 6) その他 ()
7) 相談したいことがあっても、相談しない
8) とくに相談したいと思うことはない

問12 あなたがよく使う機器は、どれですか (○はいくつでも)

- 1) 携帯電話やスマートフォン 2) パソコン 3) タブレット端末 (iPadなど)
4) デジタルカメラ (デジカメ) 5) ビデオカメラ 6) テレビを録画するビデオ機器
7) DVD・ブルーレイ プレーヤー 8) デジタル音楽プレーヤー
9) とくにない

自然体験活動について

問13 あなたは、次の体験をしたことがありますか。(○は、とくによくすること3つまで)

- 1) 山のぼり 2) 海水浴 3) 川遊び 4) キャンプ 5) ハイキング・ピクニック
 6) 海や川でのつり 7) 田植えや稲かりなどの農業体験 8) 地引きあみなどの漁業体験
 9) 山で木を切るなどの林業体験

問14 前の質問での体験は、どこでしたか。(○はいくつでも)

- 1) 学校の授業 2) 学校の行事 3) 家族の旅行など 4) 友だち同士で出かけた
 5) 地域の行事・むさしのジャンボリー
 6) その他 ()

学校について

問15 あなたは、学校が楽しいですか。

- 1) とても楽しい 2) まあまあ楽しい 3) あまり楽しくない 4) 楽しくない

⇒ 上の問15で、1)か2)を えらんだ人は、次の問16で学校が「楽しい理由」を えらんでください。

上の問15で、3)か4)を えらんだ人は、問17で学校が「楽しくない理由」を えらんでください。

問16 学校が楽しい理由は、何ですか。(○は3つまで)

※ 問15で1)か2)を えらんだ人がこたえてください。

- 1) なかのよい友だちがたくさんいるから 2) 上級生がやさしいから
 3) 放課後、自由に遊べるから 4) 規則がきびしくないから
 5) 先生がよくわかるように教えてくれるから
 6) 調べたり、実際にやってみたりする授業が多いから
 7) クラスやクラブ活動・委員会活動でいろいろな活動ができるから
 8) その他 ()

問17 学校が楽しくない理由は、何ですか。(○は3つまで)

※ 問15で 3)か4)を えらんだ人がこたえてください。

- 1) なかのよい友だちがいないから 2) 勉強がわからないから
 3) いじわるされることがあるから 4) 規則がきびしいから
 5) すきなこと・やりたいことができないから 6) 先生がきらいだから
 7) 朝から学校が終わるまでいそがしくて、ゆっくりできないから
 8) 家にいたほうがいいから
 9) その他 ()

問18 パソコン室での授業についてどう思いますか。(○はいくつでも)

- 1) とても楽しい 2) 授業がよく分かる 3) もっと受けたい 4) むずかしい
5) つまらない 6) あまり受けたことがない

問19 教室で電子黒板やプロジェクタを使った授業についてどう思いますか。(○はいくつでも)

- 1) とても楽しい 2) 授業がよく分かる 3) もっと受けたい 4) むずかしい
5) つまらない 6) あまり受けたことがない

給食について

問20 学校の給食は、すきですか。

- 1) とてもすき 2) まあまあすき 3) あまりすきではない 4) すきではない
5) 給食を食べていない

⇒ 上の問20で、1)か2)を えらんだ人は、次の問21で 給食がすきな理由を えらんでください。
上の問20で、3)か4)を えらんだ人は、問22で 給食がすきではない理由を えらんでください。

問21 給食がすきな理由は、何ですか。(○は3つまで)

※ 問20で1)か2)をえらんだ人がこたえてください。

- 1) おいしいから 2) すきなものが出来るから
3) 毎日、ちがうものが食べられるから 4) みんなといっしょに食べられるから
5) その他 ()

問22 給食がすきではない理由は、何ですか。(○は3つまで)

※ 問20で 3)か4)をえらんだ人がこたえてください。

- 1) おいしくないから 2) きらいなものが出来るから
3) のこさないで食べなければいけないから 4) 食べる時間が短いから
5) その他 ()

家庭等でのすごし方について

問23 あなたが家でふだんよくする家の仕事は、何ですか。(○は4つまで)

- 1) 食事のじゅんびやあとかたづけ 2) 買い物やおつかい 3) ペットの世話
4) 植木や草花の世話 5) 部屋のそうじ 6) おふろそうじ
7) 家の外のそうじ 8) ふとんやベッドの整理
9) せんたくものたたみ 10) ゴミ出し
11) その他 ()
12) 家の仕事はしない

問24 学校からかえってからの勉強は、どのようにしますか。(○は3つまで)

- 1) 自分で予習やふく習をする 2) ^{じょく}塾で勉強する
 3) 家庭教師に教えてもらう 4) 毎月送られてくる教材などで勉強する
 5) 家の人に教えてもらう 6) 友だちと勉強する
 7) パソコンソフトなどを使う 8) その他 ()
 9) 学校以外では勉強はしない

問25 あなたは、土曜日や日曜日にはどんなことをしてすごしていますか。(○は3つまで)

- 1) 家族とすごす 2) 友だちと遊ぶ 3) 勉強 4) スポーツ 5) 読書
 6) 音楽をきく・演奏する 7) 自分の趣味 8) テレビ・ビデオを見る
 9) パソコン(インターネット) 10) 携帯電話・スマートフォン
 11) テレビゲーム・携帯ゲーム機 12) 地域の行事や活動 13) ボランティア活動
 14) その他 () 15) とくに何もしない

問26 放課後や休日に、友だちといっしょによくする遊びは、何ですか。(○は3つまで)

- 1) 野球 2) サッカー 3) ミニバスケットボール 4) ドッジボール
 5) なわとび 6) 自転車のり 7) つり 8) 虫とり 9) さんぽ
 10) おしゃべり 11) かくれんぼやおにごっこ 12) ローラースケートやスケートボード
 13) テレビゲーム・携帯ゲーム機 14) トランプやカードゲーム 15) テレビ・ビデオ
 16) その他 () 17) とくに何もしない

体や心について**問27 あなたは、自分の体力に自信がありますか。(○は1つ)**

- 1) ^{じしん}自信がある 2) まあまあ自信がある 3) あまり自信がない 4) ^{じしん}自信がない

問28 あなたは、次のようなことがよくありますか。(○は3つまで)

- 1) 頭がいたくなる 2) おなかがいたくなる 3) 気分が悪くなる
 4) すぐにつかれる 5) やる気が起きない 6) ^{じょくよく}食欲がない
 7) なかなかねむれない 8) ぼうっとする 9) イライラする
 10) とくにあてはまるものはない

問29 あなたの心がとても休まるのは、どんなときですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1) 家族といっしょにいるとき | 2) 友だちといっしょにいるとき |
| 3) 学校にいるとき | 4) 保健室や相談室にいるとき |
| 5) スポーツをしているとき | 6) 習いごとをしているとき |
| 7) 家でテレビやビデオを見ているとき | 8) テレビゲームをしているとき |
| 9) ぼうっとしているとき | 10) おふろに入っているとき |
| 11) 勉強がよくわかったとき | |
| 12) その他 () | 13) わからない |

問30 あなたが、今、とくになやんでいることは、なんのことですか。(○は2つまで)

- | | | | |
|----------------|-------------------------|-----------|-------------|
| 1) 勉強や成績のこと | 2) 友だちのこと | 3) 家族のこと | 4) 自分の性格のこと |
| 5) 自分の健康・体力のこと | 6) 自分のスタイルや顔だちのこと | | |
| 7) 学校やクラスのこと | 8) どの中学校に行くかということ・将来のこと | | |
| 9) その他 () | | 10) とくにない | |

問31 あなたが、こまつたときに一番よく相談する人は、だれですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-------------------|----------------|
| 1) お父さんやお母さん | 2) 兄弟・姉妹 | 3) おじいさん・おばあさん |
| 4) しんせきのおじさん・おばさん | 5) 学校の先生 | 6) 友だち |
| 7) インターネットなどの相談サイト | 8) その他 () | |
| 9) 相談できる人はいない | 10) とくに相談したいと思わない | |

地域での活動について

問32 土曜日や日曜日に、よくいくところは、どこですか。(○は3つまで)

- | | | | |
|---------------|-------------|-----------------|------------|
| 1) 友だちの家 | 2) 近くの公園・広場 | 3) 地域子ども館「あそべえ」 | |
| 4) 土曜学校 | 5) 児童館 | 6) 図書館 | 7) 武蔵野プレイス |
| 8) コミュニティセンター | | 9) 塾・習いごとの場所 | |
| 10) スポーツ施設 | 11) ゲームセンター | 12) カラオケ | |
| 13) その他 () | | | |

問33 地域のスポーツクラブやスポーツ教室に入っていますか。(○は3つまで)

- | | | | | | |
|-------------|-----------|---------------|------------|--------|--------|
| 1) 野球 | 2) サッカー | 3) ミニバスケットボール | 4) ダンス | 5) テニス | |
| 6) 竜球 | 7) バドミントン | 8) 水泳 | 9) 体操 | 10) 柔道 | 11) 剣道 |
| 12) 空手 | 13) ラグビー | 14) すもう | | | |
| 15) その他 () | | | 16) 入っていない | | |

問34 住んでいるまちのグループ活動を何かやっていますか。(○は3つまで)

- 1) こども会 2) ボーイスカウト・ガールスカウト
 3) 少年赤十字・交通少年団・消防少年団 4) 外国語・国際交流
 5) 合唱・合奏・絵画・演劇などの文化クラブ
 6) その他 ()
 7) とくにグループ活動はしていない

しょうらいの希望について

問35 あなたは、自分のしょうらいについてどのように考えていますか。(○は1つ)

- 1) 大学までいって社会でかつやくする人になりたい。
 2) 短大か専門学校にいって仕事にやくに立つ勉強をしたい。
 3) 学校の勉強はすきでないけれど、高等学校までは行きたい。
 4) はたらきたいので、中学校を出たら仕事をしたい。
 5) 外国の学校で勉強してみたい。
 6) その他 ()
 7) わからない

問36 あなたは、しょうらいやってみたい仕事について考えていますか。(○は1つ)

- 1) はっきり決まっている 2) なんとなく考えている 3) はっきり決まっていない
 4) やってみたい仕事がいくつかあってまよっている 5) 考えたことがない

その他

問37 先生がいない時に大きな地震が起きた場合、一番大切だと思うことは、つぎのうちどれですか。(○は1つ)

- 1) つくえの下などに入る 2) 安全な場所をさがして自分の身を守る
 3) まわりの大人の指示にしたがう 4) わからない

問38 あなたが学校や地域の人たちと一緒に やってみたいと思う活動は何ですか。
(○はいくつでも)

- 1) 防災や被災地への助けになる活動
 2) 地域のイベントやお祭りなどの活動に協力する活動
 3) 高齢の人や障害のある人などの助けになる活動
 4) 子ども会など小さい子にかんする活動
 5) 自然や環境を守るための活動
 6) 外国人との交流にかんする活動
 7) その他 ()
 8) 特にやってみたい活動はない

問39 あなたは、^{もきしの}武藏野市に対してどんな気持ちをもっていますか。(○は3つまで)

- 1) 武藏野市といなまえがすき
- 2) 有名なところがあってじまんできる
- 3) いろいろなことができる施設や場所がたくさんあって楽しい
- 4) 緑や公園があってすこしやすい
- 5) おとな中心のまちだ
- 6) 駅からはなれているので不便だ
- 7) 自動車が多すぎて きけんだ
- 8) 他のところに住みたい
- 9) すきなのでずっと住みつづけたい
- 10) 地域の人たちがいろいろ教えてくれる
- 11) とくに思うことはない
- 12) その他 ()

いじょう ちょうさ きょうりょく
以上で調査はおわりです。ご協力ありがとうございました。

平成25年度

武藏野市子ども生活実態調査

(中学校2年生用)

答え方

- ◎答えを選べるように書いてありますから、その中から当てはまるものを探してその番号を○で囲んでください。
- ◎「その他」を選んだときは、自分の答えを()の中に書いてください。
- ◎当てはまる答えがいくつかある場合は、いくつ答えるかをそれぞれ決めてありますので、その数だけ番号を○で囲んでください。

学校・性別について**問1 あなたの学校の番号を○で囲んでください。**

【市立中学校】

- 1) 第一中 2) 第二中 3) 第三中 4) 第四中 5) 第五中 6) 第六中

【私立中学校】

- 1) 成蹊中 2) 聖徳中

問2 あなたの性別は、どちらですか。

- 1) 男 2) 女

人とのかかわりや言語活動について**問3 あなたは、家族に「おはようございます」、「いただきます」、「おやすみなさい」などのあいさつをしていますか。(○は1つ)**

- 1) とてもよくする 2) することが多い 3) 時々する 4) ほとんどしない

問4 あなたは、地域や近所の人にはいったとき、あいさつをしますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1) 自分から進んであいさつする | 2) あいさつされた時はする |
| 3) 耻ずかしいのであまりあいさつしない | 4) 話したくないのであいさつしない |
| 5) 何となくしない | 6) その他 () |

問5 あなたは、先生や友達とよく話をしますか。(○は1つ)

- 1) とてもよくする 2) することが多い 3) 時々する 4) ほとんどしない

問6 あなたは、乱暴な言葉やきたない言葉を使うことがありますか。(○は1つ)

- 1) よく使う 2) 使うことが多い 3) 時々使う 4) ほとんど使わない

問7 あなたは、本を読んでいたりして、わからない文字や言葉があったとき、どうしますか。

(○は2つまで)

- 1) 先生に聞く 2) 家族に聞く 3) 友達に聞く 4) 辞書などで調べる
5) インターネットなどで調べる 6) わからなくても気にしない
7) その他 ()

問8 授業中、わからないことがあったとき、質問しますか。(○は1つ)

- 1) よく質問する 2) 質問することが多い 3) 時々質問する
4) ほとんど質問しない

問9 クラスの話し合いなどのとき、自分の意見を言いますか。(○は1つ)

- 1) よく意見を言う 2) 意見を言うことが多い 3) 時々意見を言う
4) ほとんど意見を言わない

問10 あなたは、友達に相談したいとき、どうすることが多いですか。(○はいくつでも)

- 1) 会って話す 2) 電話をかける 3) 手紙を書く 4) メールを送る
5) LINEなどのメールアプリを使う 6) その他 ()
7) 相談したいことがあっても、相談しない
8) とくに相談したいと思うことはない

問11 あなたがよく使う機器は、どれですか。(○はいくつでも)

- 1) 携帯電話やスマートフォン 2) パソコン 3) タブレット端末 (iPadなど)
4) デジタルカメラ (デジカメ) 5) ビデオカメラ 6) テレビを録画するビデオ機器
7) DVD・ブルーレイ プレーヤー 8) デジタル音楽プレーヤー
9) とくにない

自然体験活動について

問12 あなたは、次の体験をしたことがありますか。(○は、とくによくすること3つまで)

- 1) 山のぼり 2) 海水浴 3) 川遊び 4) キャンプ 5) ハイキング・ピクニック
6) 海や川でのつり 7) 田植えや稻刈りなどの農業体験 8) 地引き網などの漁業体験
9) 山で木を切るなどの林業体験

問13 前の質問での体験は、どこでしましたか。(○はいくつでも)

- 1) 学校の授業 2) 学校の行事 3) 家族の旅行など 4) 友達同士で出かけた
5) 地域の行事・むさしのジャンボリー
6) そのほか ()

学校について

問14 あなたは、学校が楽しいですか。

- 1) とても楽しい 2) まあまあ楽しい 3) あまり楽しくない 4) 楽しくない

⇒ 上の問14で、1)か2)を選んだ人は、次の問15で学校が「楽しい理由」を選んでください。

上の問14で、3)か4)を選んだ人は、問16で学校が「楽しくない理由」を選んでください。

問15 学校が楽しい理由は、何ですか。(○は3つまで)

※ 問14で1)か2)を選んだ人が答えてください。

- 1) 友達がたくさんいるから 2) 上級生が優しいから
3) 放課後、自由に遊べるから 4) 規則が厳しくないから
5) 先生がよく分かるように教えてくれるから
6) 調べたり、実際にやってみたりする授業が多いから
7) クラスや部活動・委員会活動でいろいろな活動ができるから
8) その他 ()

問16 学校が楽しくない理由は、何ですか。(○は3つまで)

※ 問14で3)か4)を選んだ人が答えてください。

- 1) 仲のよい友達がいないから 2) 勉強がわからないから
3) いじわるされることがあるから 4) 規則が厳しいから
5) 好きなこと・やりたいことができないから 6) 先生がきらいだから
7) 朝から学校が終わるまでいそがしくて、ゆっくりできないから
8) 家にいたほうがいいから
9) その他 ()

問17 パソコン室での授業についてどう思いますか。(○はいくつでも)

- 1) とても楽しい 2) 授業がよく分かる 3) もっとやりたい 4) 難しい
5) つまらない 6) あまりやったことがない

問18 教室で電子黒板やプロジェクタを使った授業についてどう思いますか。(○はいくつでも)

- 1) とても楽しい 2) 授業がよく分かる 3) もっとやりたい 4) 難しい
5) つまらない 6) あまりやったことがない

給食について

問19 学校の給食は、好きですか。

- 1) とても好き 2) まあまあ好き 3) あまり好きではない 4) 好きではない
5) 給食を 食べていない

⇒ 上の問19で、1)か2)を選んだ人は、次の問20で給食が「好きな理由」を選んでください。

上の問19で、3)か4)を選んだ人は、問21で給食が「好きではないとする理由」を選んでください。

問20 給食が好きな理由は、何ですか。(○は3つまで)

※ 問19で1)か2)を選んだ人が答えてください。

- 1) おいしいから 2) 好きなものが出来るから
3) 毎日、違うものが食べられるから 4) みんなと一緒に食べられるから
5) その他 ()

問21 給食が 好きではないとする理由は、何ですか。(○は3つまで)

※ 問19で 3)か4)を選んだ人が答えてください。

- 1) おいしくないから 2) きらいなものが出来るから
3) 残さないで食べなければいけないから 4) 食べる時間が短いから
5) その他 ()

問22 あなたは、部活動に入っていますか。(○は1つ)

- 1) 運動部に入っている 2) 文化部に入っている
3) 以前は入っていたが今は入っていない 4) 一度も入ったことはない

⇒ 上の問22で、1)か2)を選んだ人は、次の質問はとばして問24に進んでください。

上の問22で、3)か4)を選んだ人は、次の問23を答えてください。

問23 あなたが部活動に入っていない一番大きな理由は、何ですか。(○は1つ)

※ 問22で 3)か4)を選んだ人が答えてください。

- 1) 自分が入りたい部がないから 2) 校校外でやっている活動があるから
3) 勉強と両立させることができないから 4) 人間関係がうまくいかないから
5) 何となくやる気がしないから 6) その他 ()

家庭等での過ごし方について

問24 あなたが家でふだんよくする家の仕事は、何ですか。(○は4つまで)

- 1) 食事の準備やあと片付け 2) 買い物やおつかい 3) ペットの世話
 4) 植木や草花の世話 5) 部屋の掃除 6) ふろ掃除
 7) 家の外の掃除 8) ふとんやベッドの整理 9) 洗たくものたたみ
 10) ゴミ出し 11) その他 ()
 12) 家の仕事はしない

問25 学校から帰ってからの勉強は、どのようにしますか。(○は3つまで)

- 1) 自分で予習や復習をする 2) 塾で勉強する
 3) 家庭教師に教えてもらう 4) 毎月送られてくる教材などで勉強する
 5) 家の人に教えてもらう 6) 友達と勉強する
 7) パソコンソフトなどを使う 8) その他 ()
 9) 学校以外では勉強はしない

問26 あなたは、土曜日や日曜日にはどんなことをして過ごしていますか。(○は3つまで)

- 1) 家族とすごす 2) 友達と遊ぶ 3) 勉強 4) スポーツ 5) 読書
 6) 音楽を聞く・演奏する 7) 自分の趣味 8) テレビ・ビデオを見る
 9) パソコン（インターネット） 10) 携帯電話・スマートフォン
 11) テレビゲーム・携帯ゲーム機 12) 地域の行事や活動 13) ボランティア活動
 14) その他 () 15) とくに何もしない

体や心について

問27 あなたは、自分の体力に自信がありますか。(○は1つ)

- 1) 自信がある 2) まあまあ自信がある 3) あまり自信がない 4) 自信がない

問28 あなたは、次のようなことがよくありますか。(○は3つまで)

- 1) 頭が痛くなる 2) おなかが痛くなる 3) 気分が悪くなる
 4) すぐに疲れる 5) やる気が起きない 6) 食欲がない
 7) なかなか眠れない 8) ぼうっとする 9) イライラする
 10) とくにあてはまるものはない

問29 あなたの心がとても休まるのは、どんなときですか。(○は3つまで)

- 1) 家族と一緒にいるとき 2) 友達と一緒にいるとき
3) 学校にいるとき 4) 保健室や相談室にいるとき
5) スポーツをしているとき 6) 習いごとをしているとき
7) 家でテレビやビデオを見ているとき 8) テレビゲームをしているとき
9) ぼうっとしているとき 10) おふろに入っているとき
11) 勉強がよく分かったとき 12) わからない
13) その他 ()

問30 あなたが、今、とくになやんでいることは、なんのことですか。(○は2つまで)

- 1) 勉強や成績のこと 2) 友達のこと 3) 家族のこと 4) 自分の性格のこと
5) 自分の健康・体力のこと 6) 自分のスタイルや顔だちのこと
7) 学校やクラスのこと 8) 進路のこと・将来のこと
9) その他 () 10) とくにない

問31 あなたが、こまつたときに一番よく相談する人は、だれですか。(○は1つ)

- 1) お父さんやお母さん 2) 兄弟・姉妹 3) おじいさん・おばあさん
4) 親せきのおじさん・おばさん 5) 学校の先生 6) 友達
7) インターネットなどの相談サイト 8) その他 ()
9) 相談できる人はいない 10) とくに相談したいと思わない

地域での活動について

問32 土曜日や日曜日に、よくいくところは、どこですか。(○は3つまで)

- 1) 友達の家 2) 近くの公園・広場 3) 図書館 4) 武藏野プレイス
5) コミュニティセンター 6) 塾・習いごとの場所
7) スポーツ施設 8) ゲームセンター 9) カラオケ
10) その他 ()

問33 地域のスポーツクラブやスポーツ教室に入っていますか。(○は3つまで)

- 1) 野球 2) サッカー 3) バスケットボール 4) ダンス 5) テニス
6) 卓球 7) バドミントン 8) 水泳 9) 体操 10) 柔道 11) 剣道
12) 空手 13) ラグビー 14) 相撲
15) その他 () 16) 入っていない

問34 住んでいる町のグループ活動を何かやっていますか。(○は3つまで)

- 1) こども会 2) ボーイスカウト・ガールスカウト
 3) 青少年赤十字・消防少年団 4) 外国語・国際交流
 5) 合唱・合奏・絵画・演劇などの文化クラブ
 6) その他 ()
 7) とくにグループ活動はしていない

将来の希望について**問35 あなたは、自分の将来についてどのように考えていますか。(○は1つ)**

- 1) 社会で活躍するために、大学や大学院で専門的な知識を身に付けたい
 2) 自分がしたい仕事があるので、そのために必要な学歴が得られればよい
 3) 学校の勉強はしたくないので、できるだけ早く就職したい
 4) 学校の勉強はしたくないけれど、よい仕事につくために進学したい
 5) 日本の学校よりも、外国の高校や大学に留学したい
 6) その他 ()
 7) わからない

問36 あなたは、将来の職業について考えていますか。(○は1つ)

- 1) はっきり決まっている 2) 何となく考えている 3) はっきり決まっていない
 4) やってみたい職業がいくつかあって迷っている 5) 考えたことがない

その他**問37 先生がいない時に大きな地震が起きた場合、一番大切だと思うことは、次のうちどれですか。(○は1つ)**

- 1) 机の下などに入る 2) 安全な場所を探して自分の身を守る
 3) まわりの大人の指示に従う 4) わからない

問38 あなたが学校や地域の人たちと一緒にやってみたいと思う活動は、何ですか。(○はいくつでも)

- 1) 防災や被災地への助けになる活動
 2) 地域のイベントやお祭りなどの活動に協力する活動
 3) 高齢の人や障害のある人などの助けになる活動
 4) 子ども会など小さい子に関する活動
 5) 自然や環境を守るために活動
 6) 外国の人との交流に関する活動
 7) その他 ()
 8) 特にやってみたい活動はない

問39 あなたは、武藏野市に対してどんな気持ちをもっていますか。(○は3つまで)

- 1) 武藏野市という名前が好き 2) 有名なところがあつて自慢できる
3) いろいろなことができる施設や場所がたくさんあつて楽しい
4) 緑や公園があつて過ごしやすい 5) 大人中心のまちだ
6) 駅から離れているので不便だ 7) 自動車が多すぎて危険だ
8) 他のところに住みたい 9) 好きなのでずっと住み続けたい
10) 地域の人たちがいろいろ教えてくれる
11) とくに思うことはない
12) その他 ()

以上で調査はおわりです。ご協力ありがとうございました。

平成25年度

武藏野市子ども生活実態調査 (保護者用)

平成15年3月、武藏野市教育委員会は、武藏野市の児童・生徒の意識と行動をとらえるため「武藏野市子ども生活実態調査」を実施し、学校教育や教育施策の検討資料としてきました。

調査後およそ10年が経過しましたが、その後も少子高齢化や、ICT機器をはじめとする情報化の進展、環境・防災意識の高まりなど、子どもたちを取り巻く環境は変容を続けており、児童・生徒の生活習慣や心理面などに影響を与えています。

教育委員会では、本市における教育の現状と課題を整理するとともに、武藏野市の目指す教育の方向性を示す「武藏野市学校教育計画(平成22年度～26年度)」の次期計画策定の資料とするため、改めて子ども生活実態調査を実施することいたしました。

「知性・感性を磨き 未来を切り拓く 武藏野市の教育」の基本理念のもと、社会情勢の変化や、子どもの学校や家庭、地域での生活を踏まえた教育施策の実現のため、本調査の実施についてご理解とご協力をお願ひいたします。

なお、今回、武藏野市で学んでいるすべての児童・生徒にとってよりよい教育活動の充実をめざし、その在り方を考えるために、私立小学校2校、私立中学校2校にご協力をいただくことになりました。

今回の調査にあたり、ご協力をいただきます小中学校の学校関係者、保護者の皆様に感謝申し上げます。

武藏野市教育委員会

お願い**一 調査紙の回収について**

- 1 回答は、すべてこの調査用紙にご記入いただき、教育委員会宛の封筒に入れて封をして、学校にご提出ください。
- 2 回答の仕方は、質問の下にある回答選択肢の該当する項目の番号を○で囲んでください。回答の○の数は、必ず指定数の範囲内にしてください。
- 3 回答が「その他」の場合は、番号を○で囲み()内に自由記述でお答えください。

問1 この調査用紙を持ってきたお子さんの学校は、どこですか。また、どの学年に在学していますか。下の学校の番号を○でかこんでください。

<1-1 学校について>

【市立小学校】

- 1) 第一小 2) 第二小 3) 第三小 4) 第四小 5) 第五小 6) 大野田小
7) 境南小 8) 本宿小 9) 千川小 10) 井之頭小 11) 関前南小 12) 桜野小

【私立小学校】

- 1) 成蹊小 2) 聖徳小

第3章 調査票 保護者用

【市立中学校】

- 1) 第一中 2) 第二中 3) 第三中 4) 第四中 5) 第五中 6) 第六中

【私立中学校】

- 1) 成蹊中 2) 聖徳中

<1-2 学年について>

- 1) 小学校4年 2) 小学校6年 3) 中学校2年

ご家族について

問2 あなたの継ぎ柄は、次のどれですか。

- 1) 父 2) 母 3) 祖父 4) 祖母
5) その他 ()

問3 あなたのお子さんは、何人ですか。

- 1) 未就学児 () 人 2) 小学生 () 人 3) 中学生 () 人
4) 高校生以上 () 人

問4 あなたの同居の家族は、あなたを含めて何人ですか。

- 1) 2人 2) 3人 3) 4人 4) 5人 5) 6人以上

問5 あなたご自身は、武藏野市に住んで何年になりますか。

- 1) 5年以下 2) 6~10年 3) 11~15年 4) 16年以上 5) 市外に在住

日常生活について

問6 通学日のお子さんの朝食のとり方は、次のどれに近いですか。 (○は1つ)

- 1) 家族とそろって食べる 2) 家を出る順に食べる 3) 一人で食べる
4) 朝は食欲がないので、食べないことが多い
5) 時間の余裕がないので、食べないことが多い

問7 あなたの家族の夕食のとり方は、次のどれに近いですか。 (○は1つ)

- 1) 家族全員がそろって家で食べる 2) 帰宅した順に準備してあるものを食べる
3) 帰宅した順に各自が作って食べる 4) 家族一緒に外食することが多い
5) その他 ()

**問8 あなたのお子さんの日常生活について、特に心配していることがありますか。
(○は3つまで)**

- 1) いじめ
- 2) 登校しぶりや不登校
- 3) 勉強をしないこと
- 4) 部活動に関するこ
- 5) 友達関係に関するこ
- 6) 异性との交遊
- 7) 朝なかなか起きないこと
- 8) 根気がないこと
- 9) 体力がないこと
- 10) 夜遊びすること
- 11) お金の使いすぎ
- 12) 言葉遣いが悪いこと
- 13) 直接体験が少ないと
- 14) 手足が不器用なこと
- 15) テレビゲームのやりすぎ
- 16) 携帯電話やスマートフォンのやりすぎ
- 17) パソコンのやりすぎ
- 18) 学校や先生に不信感をもっていること
- 19) その他 ()
- 20) 特にない

問9 あなたは、子どもの言葉の乱れについて、どのように思いますか。 (○は2つ以内)

- 1) マスコミやテレビの影響が大きい
- 2) 家庭での会話や言葉遣いも原因になっている
- 3) 友達の間で流行る一過性のもの
- 4) 子どもの文化として容認してもよい
- 5) 正しい日本語の指導を学校ですることが必要である
- 6) 自分の子については、心配していない

**問10 次にあげた家事のうち、あなたのお子さんが特によくやっている仕事はどれですか。
(○は3つ以内)**

- 1) 食事の準備やあとかたづけ
- 2) 買い物やおつかい
- 3) ペットの世話
- 4) 植木や草花の世話
- 5) 部屋のそうじ
- 6) おふろそうじ
- 7) 家の外のそうじ
- 8) ふとんやベッドの整理
- 9) 洗たくものたたみ
- 10) ゴミ出し
- 11) その他 ()
- 12) 家の仕事はしない

問11 あなたの家では、家族同士で「おはようございます」「いただきます」「お休みなさい」等のあいさつをどれ位しますか。 (○は1つ)

- 1) とてもよくする
- 2) することが多い
- 3) ときどきする
- 4) ほとんどしない

問12 あなたの家でよく使う機器は、どれですか (○はいくつでも)

- 1) 携帯電話やスマートフォン
- 2) パソコン
- 3) タブレット端末 (iPadなど)
- 4) デジタルカメラ (デジカメ)
- 5) ビデオカメラ
- 6) テレビを録画するビデオ機器
- 7) DVD・ブルーレイ プレイヤー
- 8) デジタル音楽プレーヤー
- 9) とくにない

学校への要望等について

問13 あなたが学校に特に望んでいることは、何ですか。（○は3つ以内）

- 1) 学校の情報公開や情報提供を進めてほしい
- 2) 理数系の学力をもっと高めてほしい
- 3) 英語を話せる力を持つてほしい
- 4) 国語力をつけてほしい
- 5) 進学指導を充実してほしい
- 6) 道徳教育を徹底してほしい
- 7) ボランティア活動を充実してほしい
- 8) 感性を豊かにする教育に力を入れてほしい
- 9) 少人数指導を推進してほしい
- 10) 学校生活の安全確保を万全にしてほしい
- 11) 防災教育を進めてほしい
- 12) 情報機器の正しい活用法など情報モラルについて指導してほしい
- 13) その他（ ）
- 14) 特にない

問14 あなたは教師の指導についてどのようなことを望みますか。（○は3つ以内）

- 1) 子どもをよく理解して指導をしてほしい
- 2) わかる授業、楽しい授業をしてほしい
- 3) 教科についての専門的な能力を身に付けてほしい
- 4) 他の先生との交流を深めてほしい
- 5) 地域行事にもっと参加してほしい
- 6) 地域活動に子どもたちを出すようにしてほしい
- 7) 保護者とのコミュニケーションを深めてほしい
- 8) 子どもに夢をもたせてほしい
- 9) その他（ ）
- 10) 特にない

問15 あなたは、学校週5日制についてどのように思っていますか。（○は3つ以内）

- 1) 土・日曜日に、文化・スポーツ活動などで過ごすことができる
- 2) 家族のふれあいの時間がが多くなる
- 3) 家庭学習の時間が増えて充実する
- 4) 子どもの生活にゆとりができる
- 5) 授業時数が減って学力の低下が心配
- 6) 毎週の連休で子どもの生活リズムが乱れる
- 7) 月～金に授業が集中し、学校の生活にゆとりがなくなる
- 8) 子どもの家にいる時間が長くなり、うつとおしい
- 9) 保護者が土曜勤務の場合、子どもの過しが方が気がかりである
- 10) その他（ ）

問16 学校を改善充実するため、次のような施策や学校等での取り組みが行われていますが、あなたはどれに関心をもちますか。（〇は4つ以内）

- 1) 一貫教育（小中学校・中高等学校）
- 2) 学校評議員などの学校運営参画
- 3) 小学校への教科担任制の導入
- 4) 入学する学校の選択の自由化
- 5) 学校とその他の公共施設の合築
- 6) 校長の民間人登用
- 7) 少人数指導の推進
- 8) 習熟度別学習の充実、外部評価による学校評価
- 9) 業績評価による教員の処遇
- 10) 児童・生徒の絶対評価
- 11) 授業や諸活動への保護者や地域人材の参加
- 12) 学校支援ボランティアの導入
- 13) 情報公開等による開かれた学校づくり
- 14) PTA活動の在り方や組織の見直し
- 15) 学校を中心とした地域コミュニティづくり
- 16) 特にない

子どもの成長について

問17 あなたは、子どもの体験活動について、どのようにお考えですか。
(近いもの2つ以内に〇)

- 1) 地方と連携して農山村留学を制度化する
- 2) 移動教室、宿泊学習、修学旅行などの現地での指導態勢を充実する
- 3) 市の宿泊施設を充実して気軽に行けるようにする
- 4) 市内の自然環境を保護し豊かにして、日常的に触れられるようにする
- 5) 身近で自然体験ができるように環境整備（ビオトープ、都市農園など）をする
- 6) その他（ ）

問18 あなたは、体験活動と子どもの心身の成長について、どのようにお考えですか。
(近いもの2つ以内に〇)

- 1) 直接体験から得られる感動や成就感は、子どもの心を豊かにする
- 2) 体験活動は、思いやりや助け合いの心を育む有効な場になる
- 3) 体験から得るものは個人ごとに違うので、それを大切にすることが必要だ
- 4) 直接体験のやり放しではいけない。体験後の補充指導が必要だ
- 5) これから科学・文化の高度な社会では、体系的な知識をしっかりと学習させることのほうが大切だ
- 6) 子どもには、個性・特性があるので、一律に直接体験をさせることは避けた方がよい
- 7) その他（ ）

地域活動への参加について

問19 あなたは、お住まいの町の地域活動に参加していますか。（○は1つ）

- 1) 参加している 2) 今は休止している 3) 参加したい活動が見当たらない
4) 参加したいが時間がとれない 5) 参加する気はない

問20 上の問19で「1 参加している」と答えた方にお尋ねします。
どのような地域活動に参加していますか。

- 1) 団体名 ()
2) 活動内容 ()

その他

問21 あなたは、お子さんを将来どのような進路に進ませたいですか。（○は1つ）

- 1) 中学を卒業して就職 2) 高校を卒業して就職 3) 専門学校
4) 短期大学 5) 大学 6) 大学院 7) 海外留学 8) 本人の意思に任せる

問22 あなたは武藏野市にどのような気持ちをもっていますか。（○は1つ）

- 1) 武藏野市という名前が好きだ 2) 文化的な雰囲気の豊かな街だ
3) 自然の豊かさがあってよい 4) スポーツ・文化施設などが充実している
5) 駅まで遠いので不便だ 6) 自動車の通行が多く安全に気を使う
7) 他のところに住みたい 8) 好きなのでずっと住み続けたい
9) 地域の人たちが教育に熱心だ 10) とくに思うことはない
11) その他 ()

以上で調査はおわりです。ご協力ありがとうございました。

この調査用紙を封筒に入れ、お子さんの学校へご提出ください。

「問い合わせ先」
武藏野市教育委員会
教育部 教育企画課
教育企画係
電話 0422(60)1894

平成 25 年度
武蔵野市子ども生活実態調査報告書

発行年月 平成 26 年 3 月

発 行 武蔵野市教育委員会

武蔵野市緑町 2 丁目 2 番 28 号

編 集 武蔵野市教育委員会教育企画課

電 話 (0422) 60-1894(直通)

